



RD-RX8108 [8ch / 4TB HDD]

RD-RX8109 [8ch / 8TB HDD]

RD-RX8116 [16ch / 4TB HDD]

RD-RX8117 [16ch / 8TB HDD]

文字入力検索対応ネットワークレコーダー

8ch

16ch

H.265+

音声入力
1

音声出力
1

遠隔
監視

RöHS

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、後々のために『保証書』とともに大切に保管してください。

ARUCOM
防犯カメラ・
監視カメラ専門店 株式会社アルコム

よくあるご質問

モニターに映像が映らない…



電源が入っているか、
正しく接続されているか確認する。

➡ 9~10 ページ

録画した映像の再生方法は？



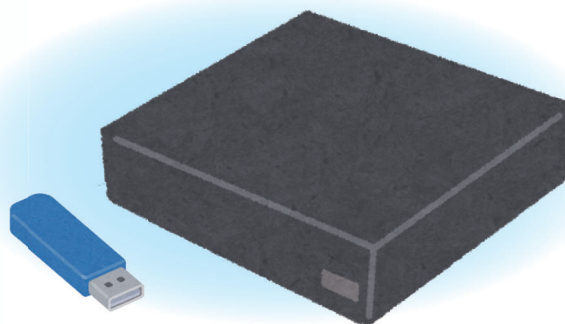
➡ 33~39 ページ

録画の設定方法は？



➡ 50~54 ページ

バックアップの方法は？



➡ 43~49 ページ

ネットワークに接続するには？
(PCやスマホから映像を見る)



➡ 57~61 ページ

ハードディスクのフォーマット方法？
(録画データをすべて消去する)



➡ 63 ページ

目次

はじめに

安全上のご注意	4
安全のため必ずお守りください	4
主な特徴	7
付属品	7
主要部品の交換時期	7
各部の名称とはたらき	8
防犯カメラ・監視モニターとの接続方法	9
電源のON・OFF	10
キーボード入力について	11
マウスでの操作方法	11
セットアップウィザード	12
ログインについて	18
メインメニュー画面	19
起動時画面(ライブ画面)、メニュー表示	20
ライブ映像の閲覧とアイコン	21
クイック設定ツールバーについて	21
ライブ画面アイコン表示について	21
デジタルズームの操作方法	22
PTZ / 電動ズーム操作	23

設定手順【カメラ追加など】

カメラ登録方法(プラグアンドプレイ)	24
カメラ登録方法(手動登録)	26
カメラ名称の変更	31
カメラパスワードの確認方法	32

設定手順【レコーダー操作】

録画映像の再生方法(通常再生)	33
録画映像の再生方法(スライス再生)	37
人物・車両検知設定	40
録画映像のバックアップ(エクスポート)	43
録画映像のバックアップ(クリップ)	46
エクスポート(バックアップ)映像の再生	47
録画設定方法について	50
常時・スケジュール録画	50
モーション録画(動体検知)	51
録画設定(パラメーター)	53
AcuSeek機能の設定	55
ネットワーク設定(NVR側)	57
ネットワーク設定(PC側)	58
プラグインのインストール	59
仮想ホスト(バーチャルホスト)機能	60
スマートフォンからの接続	61

メンテナンス

NVRのパスワード設定	61
HDDの初期化	63
時計の設定方法	64
モデル・ファームウェアバージョンの確認方法	65
ライブ表示画面の変更方法	66
プライバシーマスク設定	66
メインモニタ出力切替	67
ログの確認方法	68
電源オフ	10

その他

仕様・外形寸法図	70
故障かな?と思ったら	71
アフターサービスについて	72
よくあるご質問(FAQ)	2

初期パスワード

パスワード Ac797083



不正使用を防ぐため、変更してください。
パスワードの変更はP.61ページを参照ください。

電源の入れ方と切り方

電源コンセントに電源アダプタをさし、
本体背面にある電源スイッチで電源を入れます。
詳細はP.10を参照ください。



電源スイッチ

よくあるご質問 (FAQ)

下記のQRコードに、よくあるお問合せ等のQ&Aをまとめておりますので、あわせてご確認ください。
※アクセスに伴う通信料はお客様のご負担です。



安全上のご注意

安全のため必ずお守りください

この安全上のご注意は、安全な使いかたを理解していただくため、記号（絵表示）を使って、わかりやすくまとめています。

■ 記号の表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 記号の例



△ 記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は注意）が描かれています。



分解禁止

⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



電源プラグをコンセントから抜く

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容（左図の場合はACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

警告

■ 煙が出ている、変な音やにおいがするなどの異常状態のまま使用しない

異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。



電源プラグをコンセントから抜く



■ 内部に異物を入れない

● 通風孔などから、金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり落とし込んだりしないでください。火災、感電の原因となります。
● 万一異物が内部に入った場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。



禁止



電源プラグをコンセントから抜く

■ 接続する機器の上に、水などの入った容器を置かない

万一内部に水などが入った場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。



水ぬれ禁止



電源プラグをコンセントから抜く

■ 不安定な場所に設置しない

● 落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。
● 万一落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。



禁止



電源プラグをコンセントから抜く

■ 衝撃や振動を与えない

衝撃、振動が加わるとハードディスクが故障して、データが破損する恐れがあります。



禁止

安全上のご注意

警告

- 爆発の危険があるところでは使わない
可燃性ガスおよび爆発性ガスが、大気中に存在するおそれのある場所では、使用しないでください。引火、爆発の原因となります。



禁止

- 電源電圧100V以外の電圧で使わない
火災、感電の原因となります。



禁止

- 国外では使わない
使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。



禁止

注意

- お手入れの際、長期間使用しない場合
電源プラグをコンセントから抜いてください。接続したままお手入れすると、感電の原因となることがあります。



電源プラグを
コンセントから抜く

- 内部の掃除について
内部の掃除については、お買い上げ販売店または工事店にご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。



- 通風孔や放熱ファンをふさがない
 - 本体をラックに設置する場合は、本体と壁面間などに隙間を開けてください。
 - 上下間は1cm以上の隙間を開ける
 - 左右は5cm以上を開ける
 - ラック後面と壁面間は10cm以上開ける



禁止

- 急激な温度・湿度変化の場所に置かない
 - 急激な温度（毎時10℃以上）変化および湿度変化の激しい場所には置かないでください。



禁止

設置場所の注意

- 本体は精密な電子部品で構成しています。次の様な場所での設置は、動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。
- 直射日光が当たる場所
 - 水にぬれやすい場所
 - 冷暖房器具や加湿器に近い場所
 - エアコンなどの冷風が直接当たる場所
 - ほこりやちりの多い場所
 - 火気のある場所
 - 磁気を持っているものに近い場所
 - 揮発性物質のある場所
 - 常に振動のある場所や車や列車など



禁止

付属のACアダプターについて

危険

- 分解したり、改造しない
 - 内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。
 - 直流電源器として使用しないでください。



分解禁止

- 電源電圧100V以外の電圧で使わない
火災、感電の原因となります。



禁止

- ぬらさない
 - 水につけたり、ぬらしたりしないでください。火災、感電の原因となります。
 - 風呂場、シャワー室等では使用しないでください。
 - 万一内部に水などが入った場合は、コンセントから抜いて、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。



水ぬれ禁止



水場での
使用禁止

警告

- 付属のACアダプター以外は使わない
付属のACアダプターをご使用ください。他のACアダプターを使用するとコードの電流容量などの違いにより火災、感電の原因となります。



禁止

- 他の機器に接続しない
感電の原因となることがあります。



禁止

- 煙が出ている、変な音やにおいがするときは、すぐにACアダプターをコンセントから抜く

- 異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。
- 異常状態になった場合は、すぐにACアダプターをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げ販売店にご連絡ください。お客さまによる修理は危険ですから、絶対におやめください。



電源プラグを
コンセントから抜く

安全上のご注意

付属のACアダプターについて

警告

■ ACアダプターとコンセントの注意

- コンセントにゆるみやガタ付がある場合は接続しない
- ACアダプターはコンセントへ根元まで確実に接続する
- ACアダプターの差込み部が傷んでいる場合は使用しない
不完全な接続のまま使用すると、発熱などにより、火災や感電の原因になります。
- ACアダプターをコンセントから抜くときは、無理に引っ張らない
差込み部やコードが傷み、火災や感電の原因になります。
- ACアダプターをコンセントに差し込んだまま、本体のDC入力端子からDCプラグを抜いた状態にしない
ぬれた手で触ったり、口に入れたりすると感電の原因になります。
- ACアダプターとコンセントの接触部に、ほこりなどを付着させない
ほこりなどにより、ショートや発熱が起これば火災の原因になります。
特に、湿度の高い部屋や結露しやすいところ、台所やほこりの溜まりやすい場所でのコンセントは注意してください。
ほこりの清掃
ACアダプターをコンセントから抜いて、金属部に付着したほこり、汚れを乾いた布で取り除いてください。
- コンセント付き延長コードを使用する場合は、接続する機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えないこと
定格電力を超えると火災の原因になります。



禁止



ぬれ手禁止



警告

本製品に付属の「電源コード」は本製品専用のものです。他の製品に使用することはできません。
なお、他の製品への転用は保証できません。

内蔵ハードディスクについて

警告

ハードディスクは精密機器ですので、衝撃を与えないよう丁寧な取り扱いをお願いします。
放熱穴をふさいだりしないようにしてください。
機器内部の温度が上昇しますと、ハードディスクの寿命が短くなります。

■ 通電中は絶対に衝撃や振動を与えたり、移動させない

ラックなどの出し入れ時も必ず電源は切ってください。

■ 録画中、再生中にコンセントを抜くときは必ず“停止”してから抜いてください。

■ 電源を切ってから約30秒間は動かさない

電源を切っても、しばらくの間はハードディスクは回転しています。この間は通電中よりもさらに衝撃や振動に弱い状態ですので、絶対に動かさないようにしてください。

■ 衝撃や振動を与えない

本体を床などには置かないでください。

■ 搬送時は必ず購入時の梱包材を使用すること

本体ならびに単品のハードディスクなどを搬送する場合は、ご購入の際の梱包材料で梱包してください。また、搬送時はできるだけ振動の少ない方法で行なってください。

■ 録画内容は事前に確認してください

本体もしくは接続機器などの不具合などにより、録画や再生ができない場合がありますので、必ず事前に録画を行ない、正常に再生されることを確認してください。録画内容などについての保証はできません。
万一の故障や事故による映像の破損を防ぐためにも、定期的にバックアップをお勧めします。

■ 個人情報の保護について

カメラシステムを使用して撮影する人物・その他の映像で個人を特定できるものは個人情報となります。個人情報の取扱いはシステムを運用する方の責務となりますのでご注意ください。

ハードディスクの交換については、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 梱包していないハードディスクは、基板面を上にして柔らかい物の上に水平に置いてください。ハードディスクに衝撃や振動が加わると故障することがあります。
- ハードディスクの交換時には、ネジの締め付けや取り外しによる衝撃や振動を与えないようにしてください。

主な特徴

- H.265+圧縮方式による長時間記録
- プラグアンドプレイによる簡単接続
- 残しておきたい映像ファイルをロックしておく
- USBメモリへのデータバックアップ
- 本体をネットワーク経由でパソコンやスマートフォンから遠隔監視可能
- HDMI、VGA映像出力
- マウス付属

主要部品の交換時期

本体を周囲温度25℃以下の環境で連続してご使用の場合、通常より早く電子部品が消耗することがあります。本体の性能を維持させるために、下記部品の年数を目安に交換をお勧めします。交換年数は目安であり、部品の性能を保証するものではありません。

■ ハードディスク

使用環境により寿命は異なりますが、ヘッドやモーターが磨耗劣化する部品です。通電時間が2年を超えることより、書き込みエラーなどが発生しやすくなります。

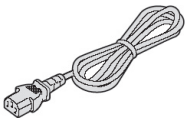
■ 電池（バックアップリチウムバッテリー）

2年（周囲温度25℃）

付属品

次の部品が入っているかをご確認ください。

- ①電源ケーブル(本製品専用)
- ②マウス
- ③HDMIケーブル
- ④取扱説明書（本書）
- ⑤LANケーブル

①  電源ケーブル(本製品専用)	②  ※形状は異なります
③  ※形状は異なります	④  取扱説明書（本書）
⑤  ※形状は異なります	

各部の名称とはたらき

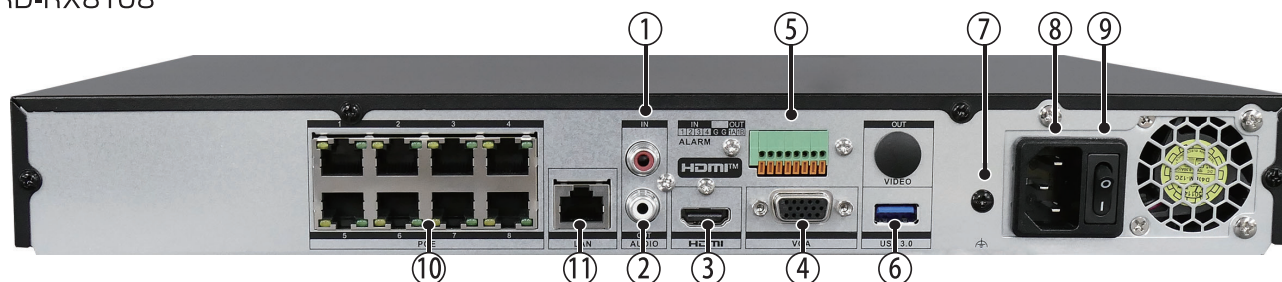
前面パネル



①	HDD	HDDが問題なく書き込めている間は白く点灯します。
②	Tx/Rx	ネットワーク接続が正常に機能していると、白色に点滅します。
③	USBインターフェイス	USBマウスやUSBメモリなどの追加デバイス用のUSBポートです。

背面パネル

■RD-RX8108



①	音声入力端子(RCA)	⑤	アラーム入力用・出力用コネクタ	⑨	電源スイッチ
②	音声出力端子(RCA)	⑥	USBインターフェイス	⑩	PoE機能付ネットワークインターフェイス
③	HDMIインターフェイス(映像出力)	⑦	アース接続(設置時に要接続)	⑪	LANネットワークインターフェイス
④	VGAインターフェイス(映像出力)	⑧	ACコード差込口		



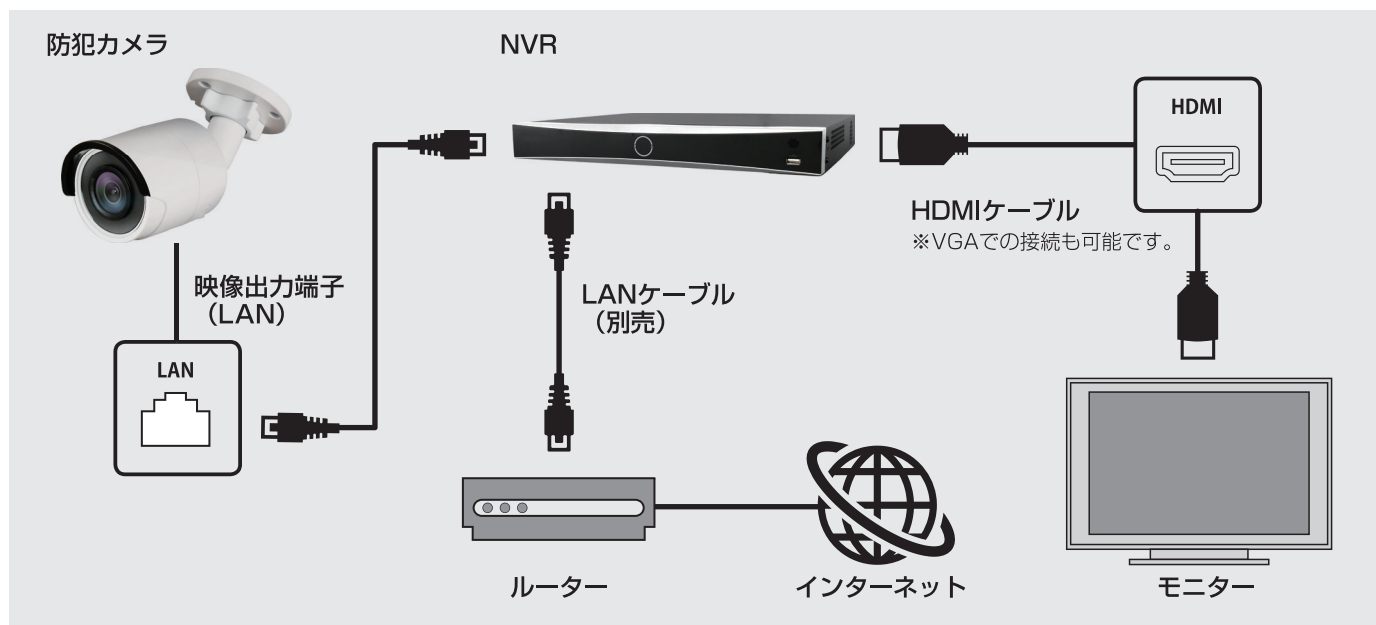
- すべての接続が完了するまで電源は入れないでください。
- 接続を誤ると発煙したり、故障の原因になることがありますので注意してください。
- 電源ケーブルは抜けやすい構造となっております。本体を移動する場合は、電源ケーブルの抜けに注意してください。

防犯カメラ・監視モニターとの接続方法

下記の図を参考に防犯カメラ・監視モニターと本体を接続して使用します。

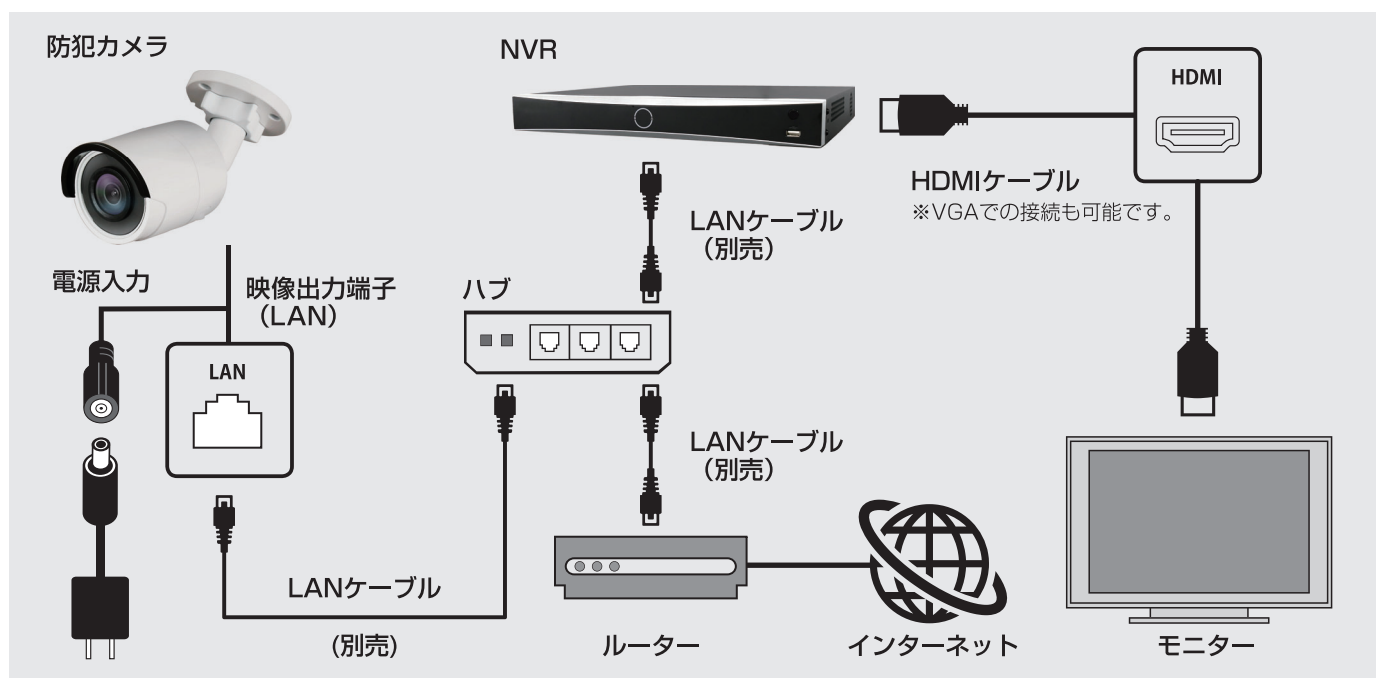
■カメラとNVRを直接LANケーブルで接続する場合

※レコーダーはPoE機能を搭載しておりますので、カメラとレコーダーを直接接続する場合は電源アダプタでの電源供給は必要ございません。



■カメラとNVRの間にHUBなどを経由する場合

※カメラに電源アダプタを使って電源供給が必要です。
※カメラ登録方法はP.24をご覧ください。



●カメラの接続、入れ替えなど行った場合は必ずレコーダーの電源を入れ直してください。

電源のON/OFF

■ 電源をONにする前に

本体にUSBマウスを接続します。USBポートは前面パネルと背面パネルにあります。
モニターを本体に接続します。モニターに適合したケーブル（VGA／HDMI／BNC）を背面パネルの各端子に接続します。モニターの電源ケーブル等をコンセントに接続し、モニター電源を入れてください。

■ 電源のON／起動について

録画レコーダー本体の起動方法は、付属の電源ケーブル（ACコード）を接続した後、本体背面にあるスイッチをONすることにより起動します。



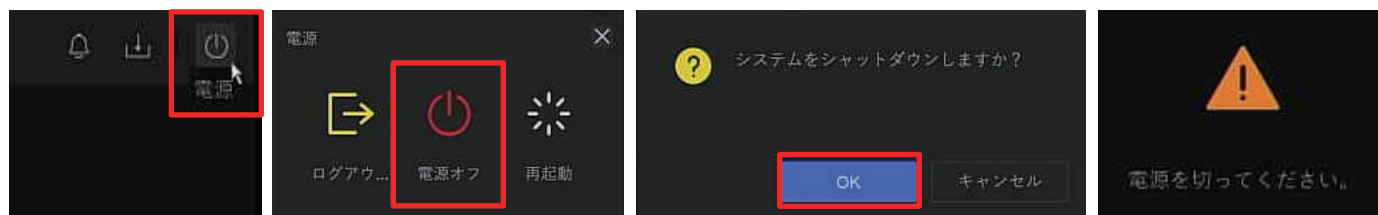
※「I」（縦棒）を押し電源ONします。



ACアダプタ・電源ケーブルは必ず同梱品をご使用ください。

■ 電源をOFFにする時

メニュー右端の「電源」アイコンを選択し、表示された画面の中央「電源オフ」を選択します。システムをシャットダウンしますか？の画面で、「はい」を選択します。画面に「電源を切ってください。」と表示されたら本体背面のスイッチをOFFにします。



■ 計画停電の前に

- (1) 計画停電の前に前述の手順で電源スイッチをOFFにします。
- (2) 電源ケーブルをコンセントから抜いておきます。



手順を踏まずに電源を消すと、故障につながる可能性があります。

キーボード入力について

文字や数字を入力する際に表示されます。



0 ... 9	数字
⇧	小文字/大文字
/, .	キーボードの切替
a ... z	アルファベット
⌫	バックスペース
␣	スペース
↵	エンターマーク / 退出
⊕	※使用しません

マウスでの操作方法

付属のマウスを録画機背面にあるUSBコネクタに接続して使用します。



【左クリック】 シングルクリック	ライブビュー：チャンネルを選択してクリック設定メニューを表示します。 メニュー：選択して開きます。
【左クリック】 ダブルクリック	ライブビュー：シングルスクリーンとマルチスクリーンを切り替えます。
【左クリック】 ドラッグ	プライバシーマスク・動体検知：ターゲットエリアを選択します。 デジタルズームイン：ドラッグしてターゲットエリアを選択します。 ライブビュー：チャンネル/時間バーをドラッグします。
【右クリック】 シングルクリック	ライブビュー：メニューを表示します。 メニュー：前のメニューに戻ります。
【ホイール】 上にスクロール	ライブビュー：画面を切り替えます。
【ホイール】 下にスクロール	プライバシーマスクおよび動体検知：ターゲットエリアを選択します。 デジタルズームイン：ドラッグしてターゲットエリアを選択します。 ライブビュー：チャンネル/時間バーをドラッグします。
【ホイール】 ダブルクリック	メインモニターの出力切替を行います。

セットアップウィザード

■ セットアップウィザード

ここではセットアップウィザードを使い、さまざまな初期設定を行います。

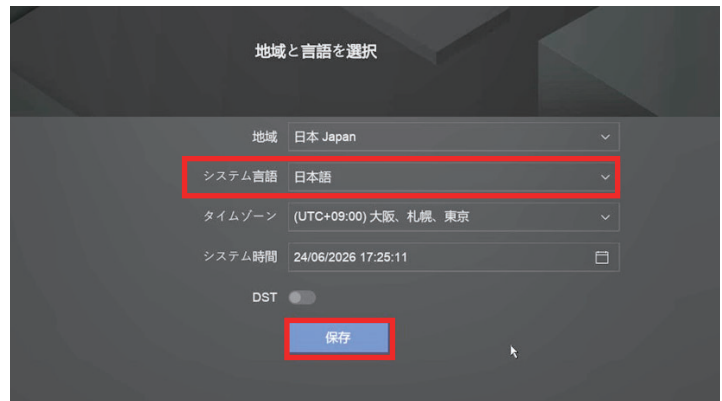
※ウィザードがONの状態では起動する必要があります。

設定場所：ライブビュー画面→「システム設定」⇒「ウィザード」ON/OFF（初期値はOFF）



（１）言語設定

システム言語から「日本語」を選択し、「保存」ボタンを左クリックします。



（２）解除パターンの入力

L字を描くように 左上→左下→右下の順で「○」を繋いでください。
（P18を参考にしてください）



セットアップウィザード

(3) ①日付・時間の設定

タイムゾーン、日付の表示形式、システム（本体）の日付、システム時間、NTP時刻同期を設定し、「次」ボタンを左クリックします。

ウィザード

1 時間 2 ネットワーク設定 3 HDD 4 デバイスアクセス 5 Guarding Vision

タイムゾーン (GMT+09:00) ソウル, 東京, 大阪, 札幌

日付の表示形式 DD-MM-YYYY

システム時間 15/04/2024 16:40:39

DST ☐

各項目の設定は下記を推奨しています。

タイムゾーン	(GMT+09:00) 東京,大阪,札幌,ソウル	システム日付	現在の日付
日付表示形式	YYYY-MM-DD (年-月-日)	日付表示形式	現在の時間

(3) ②ネットワーク設定

遠隔監視やPCを使用した監視を行わない場合は「次」ボタンを左クリックします。本体にIPアドレスを設定する必要がある場合は、各項目を設定し「次」ボタンを左クリックします。

ウィザード

1 時間 2 ネットワーク設定 3 HDD 4 デバイスアクセス 5 Guarding Vision

DHCP ☒

IPv4アドレス 192.168.0.50

IPv4 Subnetマスク 255.255.255.0

IPv4デフォルトゲートウェイ 192.168.0.254

DNSサーバーの自動取得 ☒

優先DNSサーバ 192.168.0.251

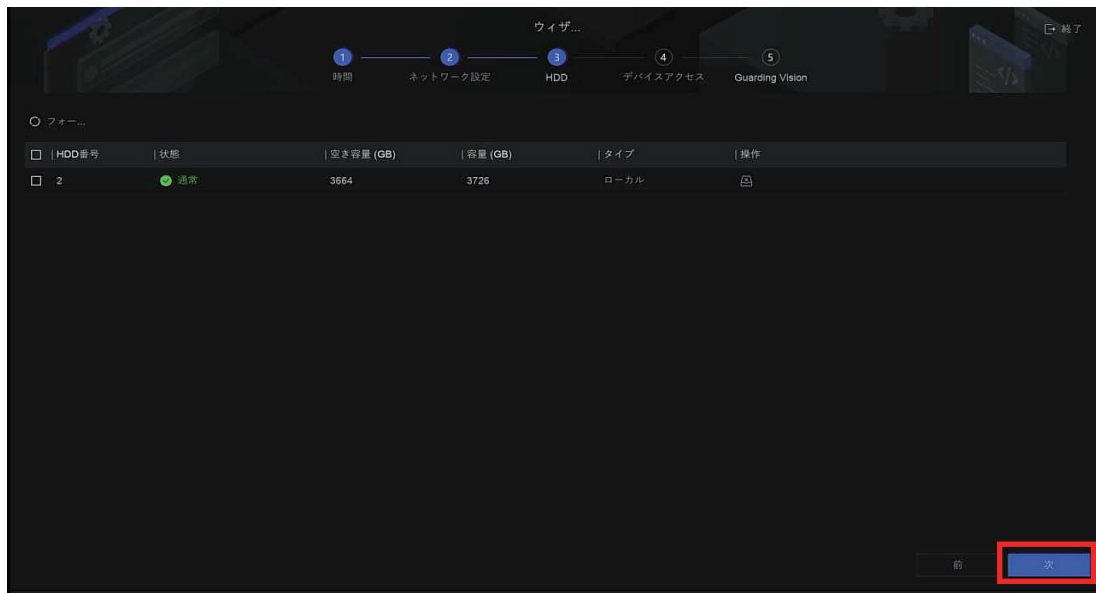
代替DNSサーバ

セットアップウィザード

(3) ③HDD初期化設定

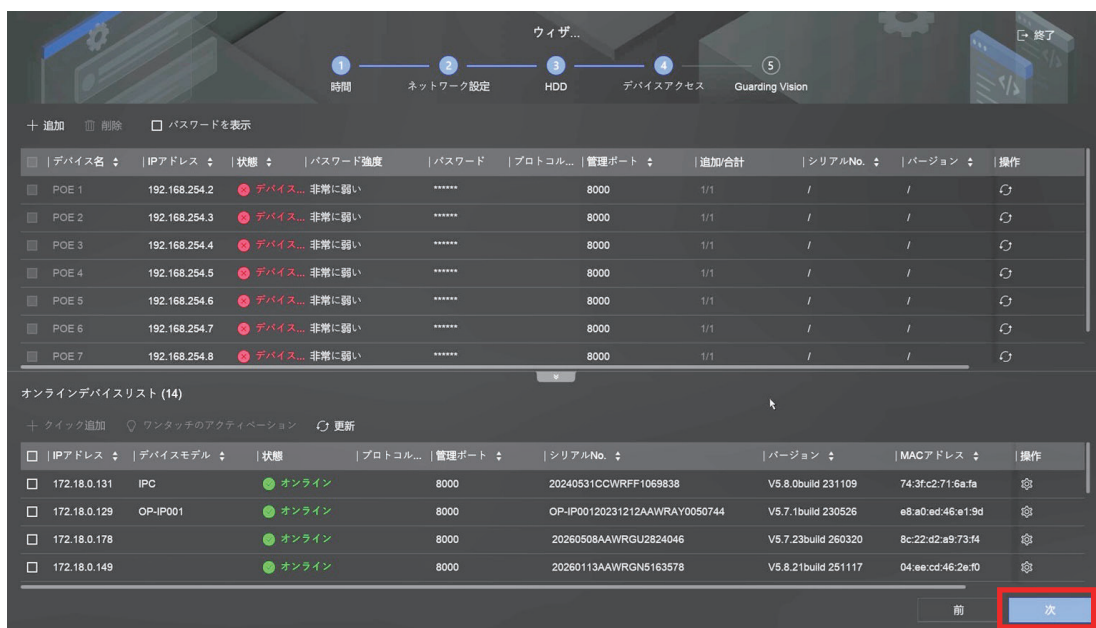
本体に内蔵されているハードディスクの初期化画面です。「次」ボタンを左クリックします。初期化を行うと録画された映像がすべて消去されます。

※復旧はできませんのでご注意ください。



(3) ④デバイスアクセス (IPカメラ追加) 設定

「次」ボタンを左クリックします。



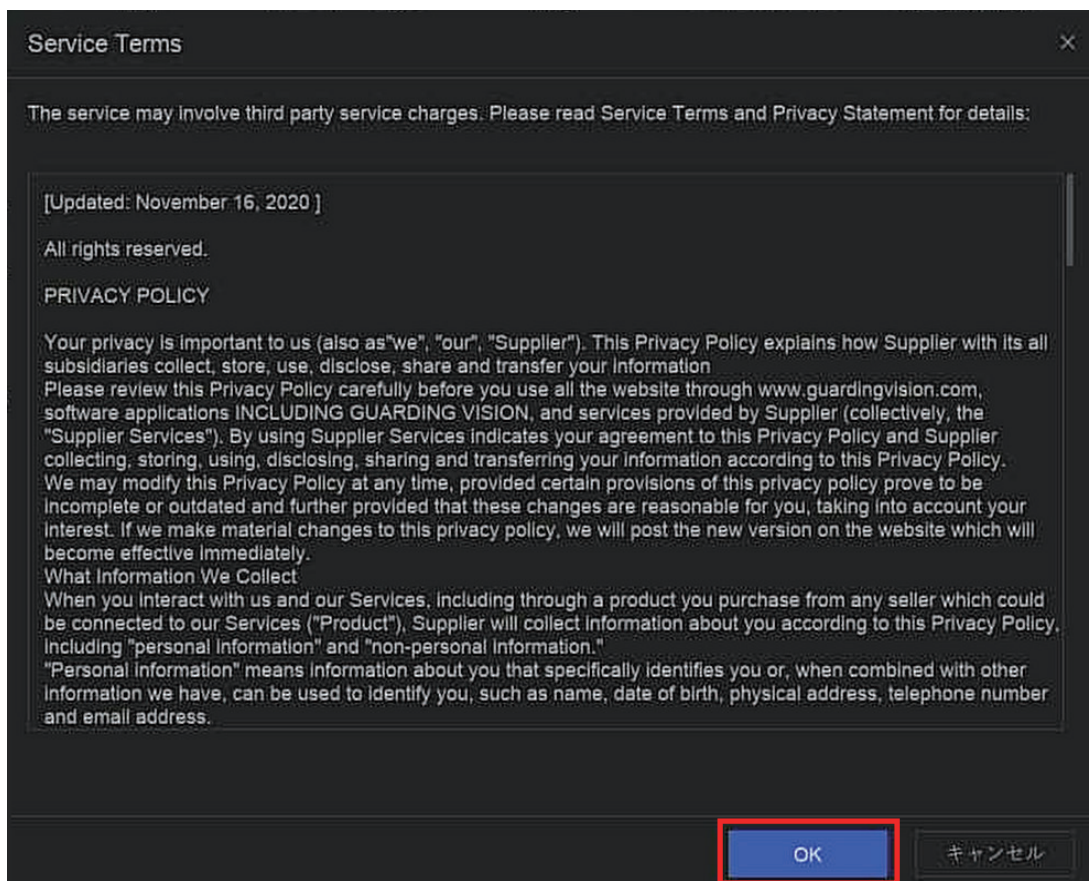
セットアップウィザード

(3) ⑤Guarding Vision 設定

Guarding Vision (P2Pによる遠隔接続)を使用する場合は「有効化」を選択します。
使用しない場合はそのまま「終了」ボタンを押しセットアップ完了です。



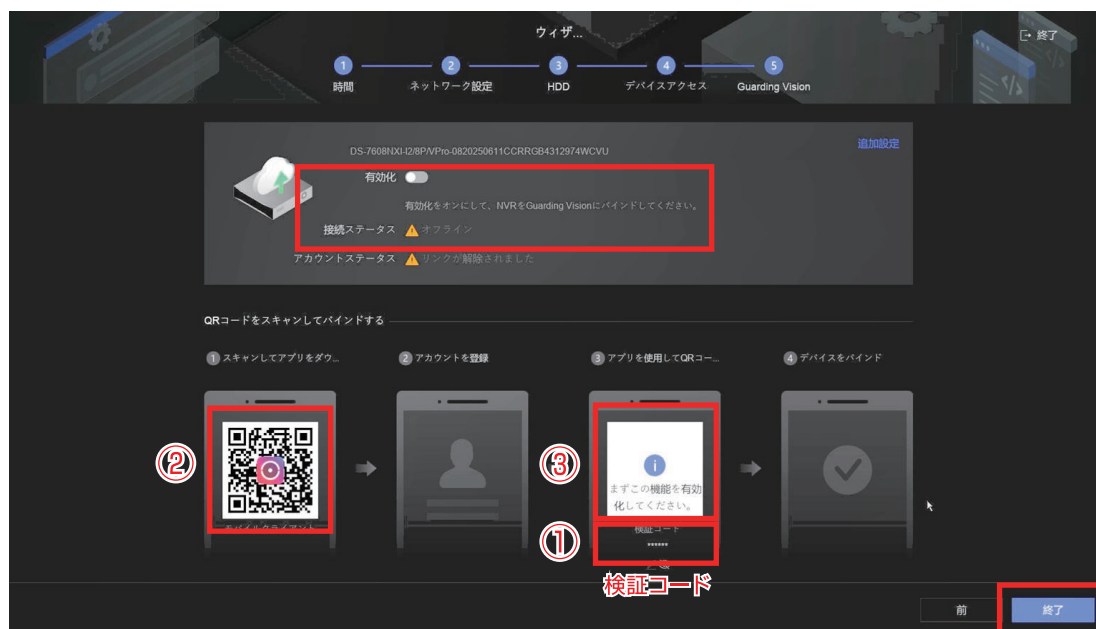
「サービス利用規約」内容を確認し「OK」ボタンを押します。



セットアップウィザード

Guarding Vision「有効化」がONになっていること（緑表示）を確認します。
また、接続ステータスが「オンライン」となっていることを確認してください。
オンラインの表示確認が出来ましたら、遠隔地からの接続が可能になります。

※事前にLANケーブルの接続、IPアドレスの設定を行う必要があります。



①検証コードの設定

「ストリーム暗号化」をオンに設定することで
暗号化キー（検証コード）を設定できます。



②Guarding Visionアプリのダウンロードを行えます。

- ・ Android <Google Play>より
- ・ iPhone <AppStore>より

③デバイス登録用、QRコード

スマホアプリ（Guarding Vision）へ設定情報を自動で入力します。

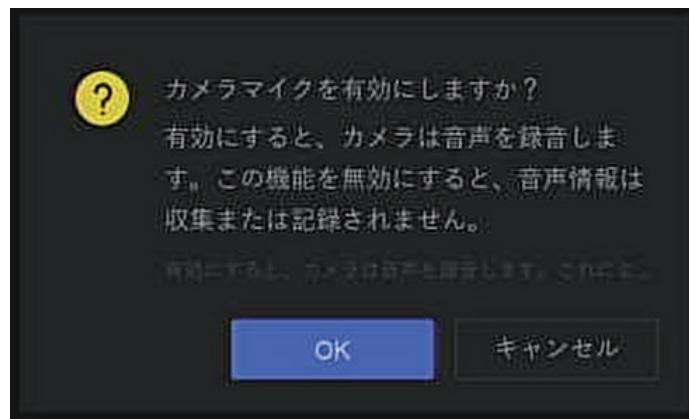
上記の設定が完了したら、「終了」ボタンを押してください。

セットアップウィザード

設定完了画面が表示されたら、「開始」ボタンを押します。



接続するカメラのマイクを有効化するか設定を行います。



設定ウィザード終了し、メインメニューが表示されます。



ログインについて

本体の操作には、ログイン（パスワードの解除）が必要です。

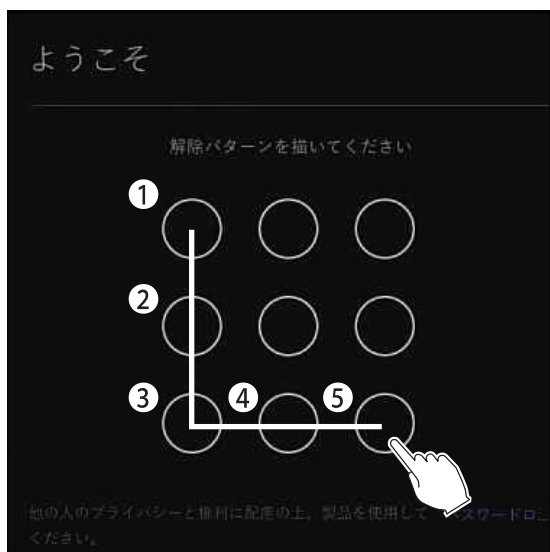
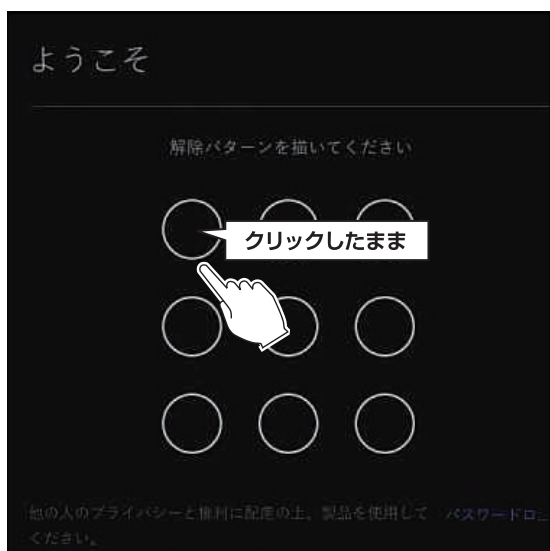
■ 解除パターンを入力する場合

（１）右クリックで「フルスクリーンを終了」を選択しログイン画面を表示します。

（２）左上の○部分で左クリックし、クリックしたまま

②→③→④→⑤と○を通るように線を引っ張ることで解除します。

※パターンが不明の場合右クリックをすることで、暗証番号での解除も可能です。



初期解除パターン：上記パターン

※セキュリティのため変更することを推奨します。
変更方法はP62をご参照ください。

■ 暗証番号を入力する場合

（１）解除画面で右クリックをしてログイン画面を表示します。

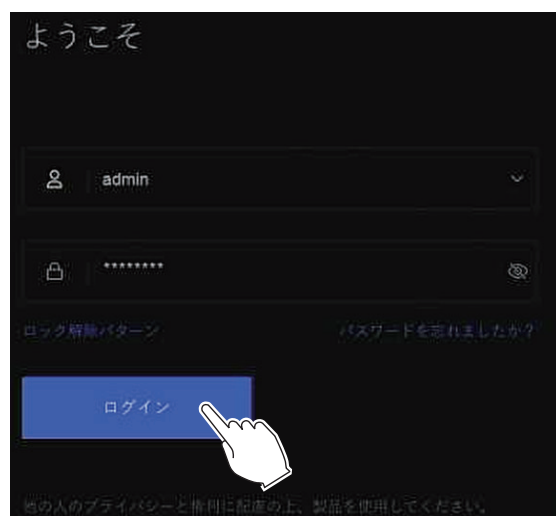
（２）パスワード入力欄を左クリックし、表示されたキーボードでパスワードを入力します。文字を左クリックし、最後に【エンターマーク】を左クリックします。

初期パスワード：Ac797083

※セキュリティのため変更することを推奨します。
変更方法はP61をご参照ください。



（３）【ログイン】を左クリックするとログインが完了し、操作が可能になります。



メインメニュー画面

■ メインメニュー

アプリケーションリスト、ナビゲーションリストから必要な機能を起動し、操作・設定を行うことができます。

※各画面の左上にある「メインメニュー」アイコン、もしくは待機画面からはマウス右クリック「フルスクリーンを終了」で表示します。



<タスクバー>

「アプリケーションリスト」「ナビゲーションリスト」から起動したアプリケーションがタスクバーへ追加されアイコン表示されます。

アプリケーションの切替えができるようになります。

※タブの右上「×（クローズ）」ボタンを押すことでタスクバーから削除ができます。



メインメニュー



アラーム表示



ダウンロードタスク
(バックアップデータ表示)



電源

<アプリケーションリスト>

ライブビュー	ライブ映像を表示します
再生	録画映像の再生します
AI Search	文字による録画検索を行います (※1)
ファイル管理	録画データのバックアップを行います
イベントセンター	イベント検索・設定を行います
人員のチェックイン	使用しません
統計レポート	レポートやヒートマップを見ることが出来ます (※1)

<ナビゲーションリスト>

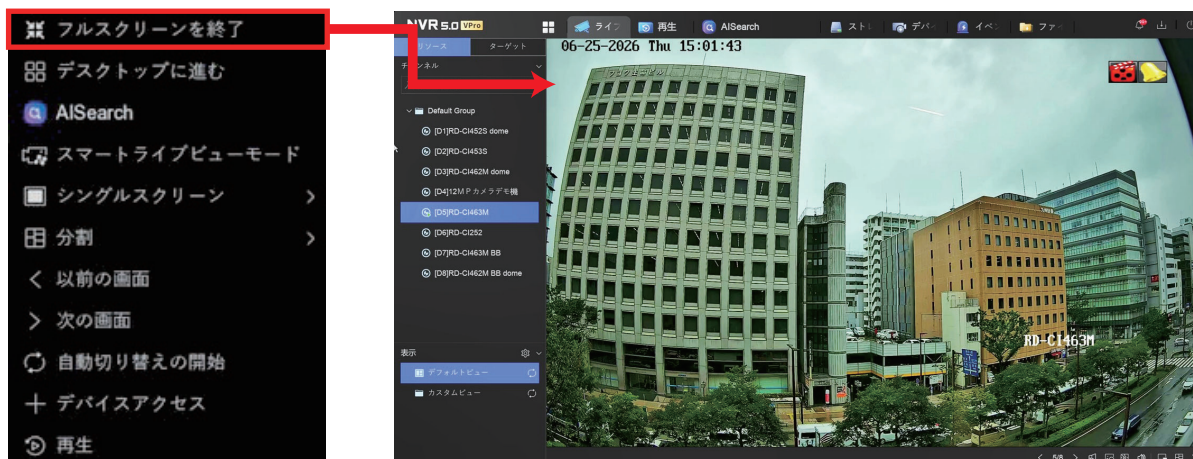
ストレージ管理	録画設定を行います
デバイスアクセス	デバイスの登録・設定を行います
システム設定	ユーザー管理・ネットワークなど基本設定
システムメンテナンス	システム情報、FW更新、設定初期化など
イベント設定	イベントの登録・設定を行います

※1 サポートされているカメラ接続時のみ。

起動時画面（ライブ画面）、メニュー表示

■ 起動時画面

本機の電源を入れるとフルスクリーンモードで画面表示されます。
マウス右クリックし「フルスクリーンを終了」を選択してください。
ログイン後、「ライブビュー」画面が表示されます。



■ ライブ画面 簡易メニュー

ライブ画面上で右クリックをすると簡易メニューが表示されます。



フルスクリーン	全画面表示
デスクトップに進む	メインメニューの表示
AI Search	文字による録画検索（※対応カメラ接続時のみ）
スマートライブビューモード	スマートビュー画面表示
シングルスクリーン	カメラを選択してその画面だけを表示
分割	分割画面の選択と表示
以前の画面	表示画面を1つ前のカメラへ移動
次の画面	表示画面を1つ次のカメラへ移動
自動切替の開始	表示画面の自動切り替え設定
デバイスアクセス	デバイスアクセス画面の表示
再生	再生画面の表示

ライブ映像の閲覧とアイコン

ログインするとライブ画面が表示されます。運用開始前・運用中の各種設定の変更は、ライブ画面にカーソルを移動すると表示される「クイック設定ツールバー」や「システム設定」から行います。

■ クイック設定ツールバー

ライブ画面で表示されるカメラ映像の下にクイック設定ツールバーが表示されます。クイック設定ツールバーは、よく使う機能をライブ画面上で操作することができます。

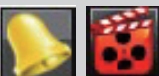


クイック設定の動作は次の通りです。

① 双方向音声	マイクのON/OFF切替	⑥ ストリーム切替	メイン／サブストリームを切替
② キャプチャー	キャプチャを行います。	⑦ 音声操作	マイク付きカメラのみ操作可能
③ 簡易再生	5分以内の録画データ再生	⑧ 詳細	メイン／サブストリームを切替
④ ズーム	デジタルズームの操作		
⑤ ストリーム情報	フレームレートや解像度の情報表示		

■ ライブ画面アイコン表示について

ライブビューモードでは、各チャンネルの画面右上にアイコンがあり、そのチャンネルの録画状態とアラームを示します。そのチャンネルが録画されているか、またはアラーム発生があるかを確認できます。

	アラーム (ビデオロス、ビデオ干渉、動体検知、センサアラーム)
	録画 (マニュアル録画、スケジュール録画、動体検知、アラーム起動録画)
	アラームおよび録画
	イベント/異常 (動体検知、センサアラーム、異常情報が画面右上に表示されます)

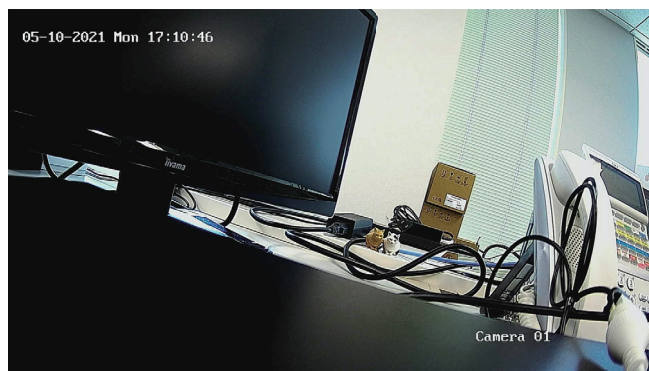
ライブ映像の閲覧とアイコン

■ デジタルズームの操作

デジタルズームは、カメラの画面の一部領域を拡大して表示させる機能です。
クイック設定ツールバーからデジタルズームを選択すると、選択されたカメラが全画面に拡大され、左上隅にデジタルズーム操作画面が表示されます。
この時点でマウスのホイールを回すと拡大縮小が可能です。
デジタルズームを終了する場合は、カメラ画面上で右クリックします。



(1) クイック設定ツールバーからデジタルズームをクリックしてください。右画像のような画面へ変更されます。



(2) デジタルズームをしたい場所にカーソル（操作する矢印）を移動し、マウスホイールを回すとズームします。

上に回す-----拡大表示（ズーム）
下に回す-----元の倍率に戻す



(3) ズームした後で画面の表示位置を移動する場合は、ドラッグ（左クリックで画面を押した状態）で操作すると移動します。

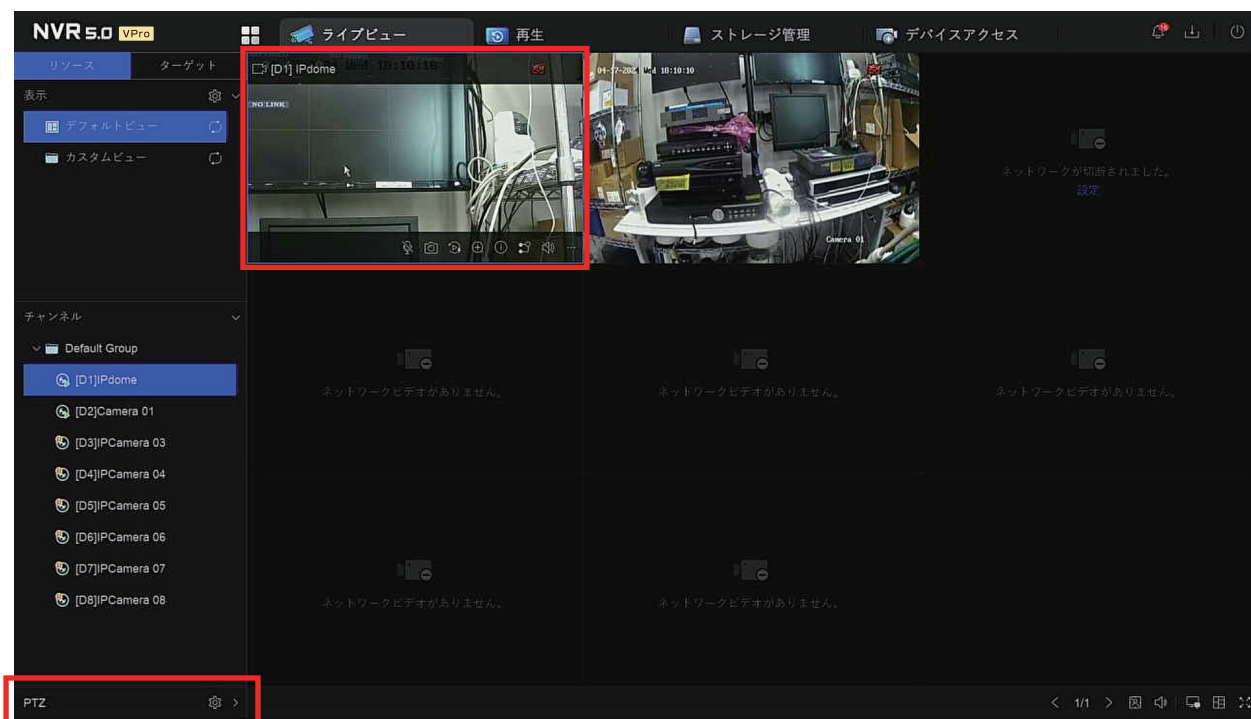


PTZ / 電動ズーム操作

■ カメラのPTZまたは電動ズーム操作方法

(1) メインメニュー > ライブビュー > リソースをクリックし、ライブ画面を表示します。操作したいカメラをクリックし選択すると、画面左下へ「PTZ」（アイコン）が表示されます。▶ アイコンをクリックするとPTZコントローラを表示します。

※PTZまたは電動ズーム対応カメラ以外では、表示されません。



PTZパラメータ設定（※通常は使用しません）



PTZコントローラ表示

(2) 「ズーム」「フォーカス」「方向」ボタンで画角およびピント調整を行います。



方向ボタン

※レンズ向きを調整します

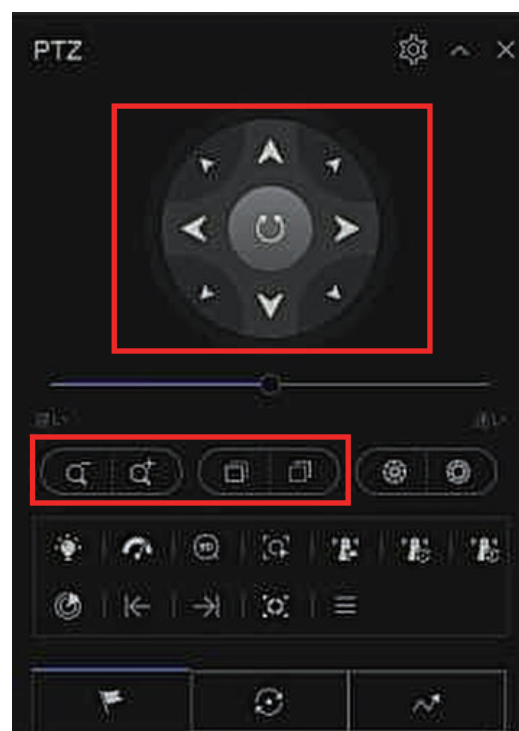


ズーム（拡大・縮小）



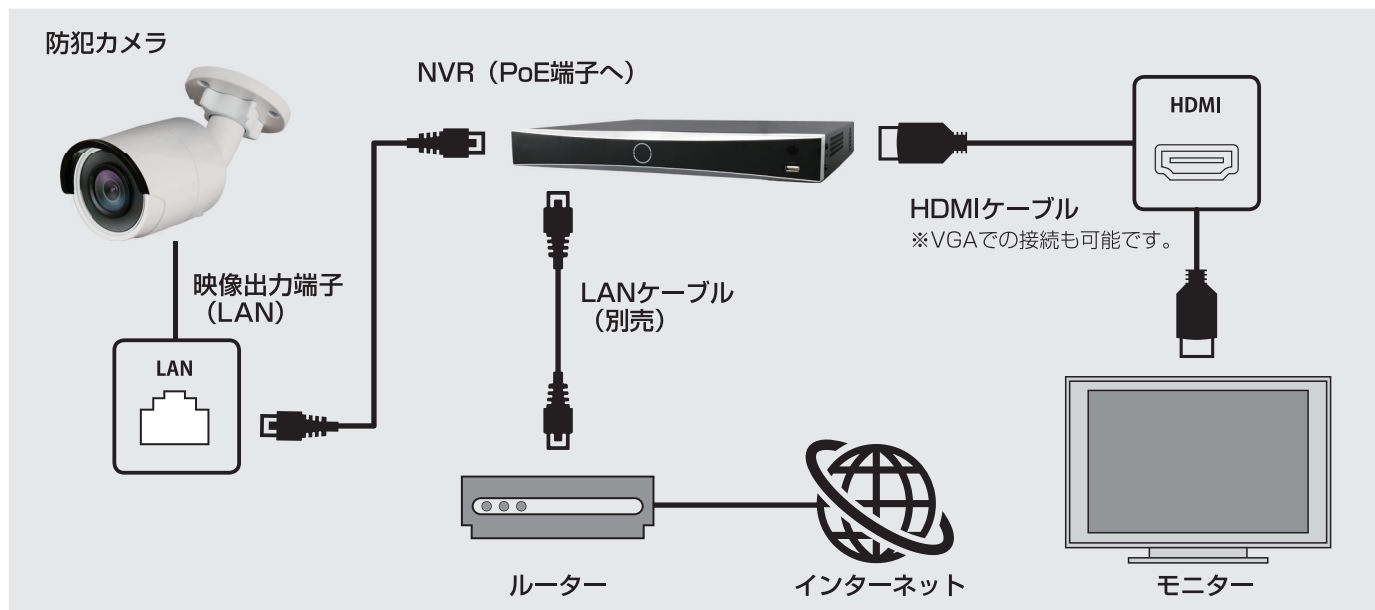
フォーカス調整

※ズーム操作時に自動でフォーカス調整を行います。
（オートフォーカス設定時）



カメラ登録方法① プラグアンドプレイの場合

■ カメラとレコーダーを、LANケーブルで直接接続する場合

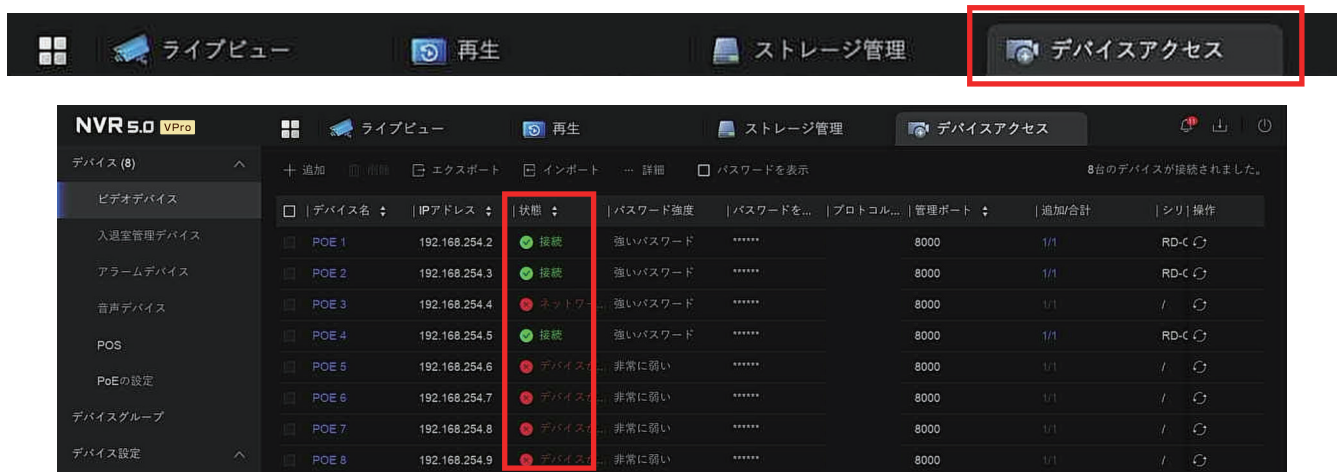


(1) 機器の接続

上記の図を参考に、カメラ・レコーダーを接続してください。
※すべての機器に電源がはいっていることを確認してください。

(2) 接続状態の確認

メインメニュー、もしくはタスクバーより「デバイスアクセス」アイコンをクリックします。



※プラグアンドプレイ接続の場合、基本的に自動で映像が表示されますが
映像が出力されない場合は、後述のページをご確認ください。

<既存のカメラ接続時（プラグアンドプレイ）の注意点>

自動で映像表示されない場合は「カメラへ設定しているパスワード」をお試してください。

（※初期パスワード、もしくは変更したパスワード）

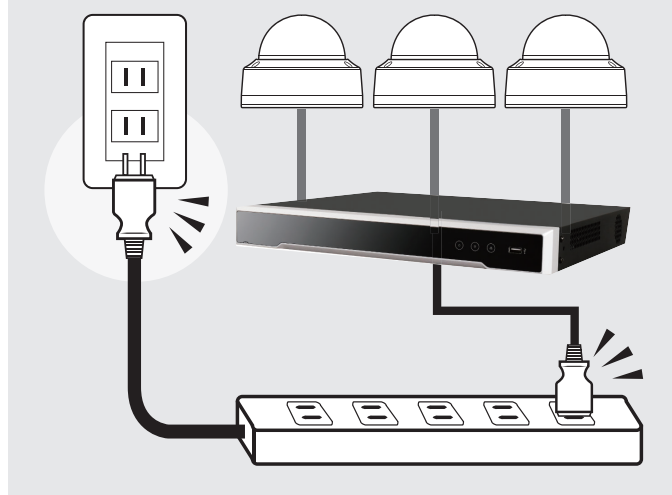
上手く認識（登録）が出来ない場合は、アクティベーション時のパスワードが合っていない可能性があります。その場合はカメラのパスワードを再設定、もしくはリセットしていただくことをお勧めします。

（※パスワード再設定の際は、P63記載の条件を満たすパスワードを設定してください。）

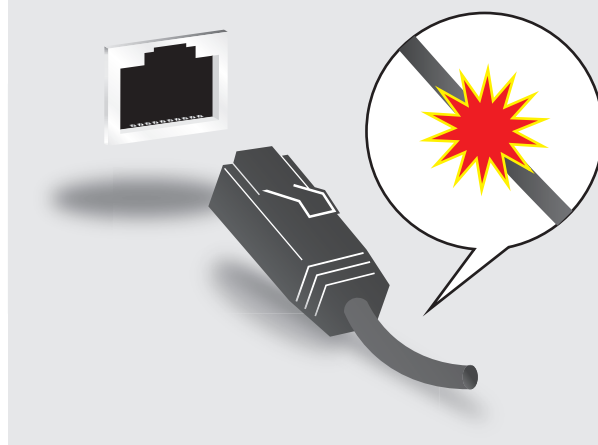
カメラ登録方法① プラグアンドプレイの場合

■ カメラの映像がでないときの考えられる要因

(A) レコーダーに電源が入っていない

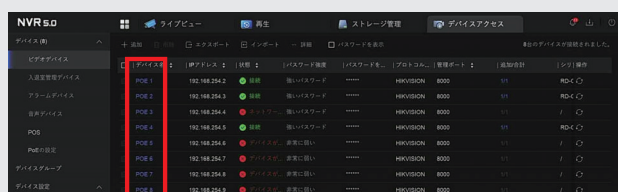


(B) LANケーブルが正常ではない
(接触不良・断線など)



(C) PoE給電の設定がされていない

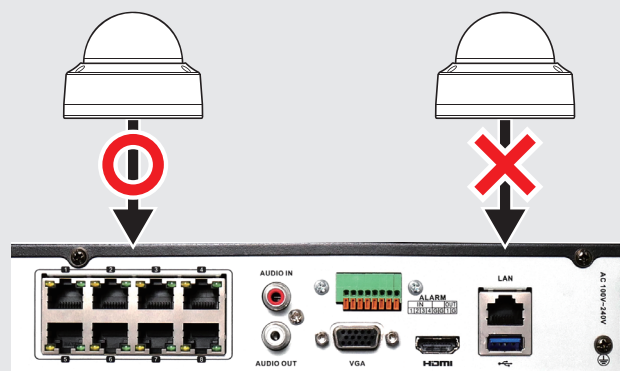
レコーダーの画面



①デバイス名の表示が「PoE(1～8)」以外はPoE給電されません。P24参照の上、設定をONにしてください。

②「デバイス名」をクリックすると、「デバイス編集画面」が表示されます。
カメラの「パスワード」を再入力を行ってください。

(D) 違うポートに機器がつながっている



プラグアンドプレイの場合は、LANポートではなく「チャンネルポート」にカメラを接続してください。

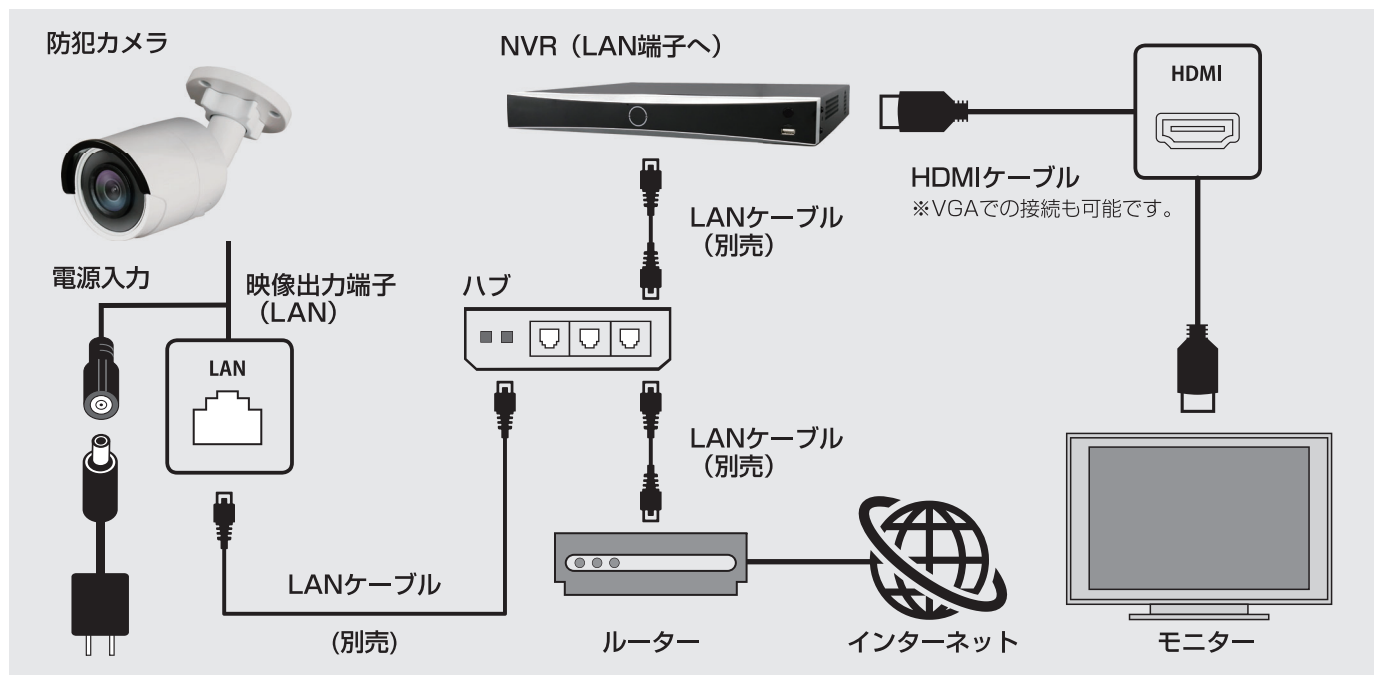
(E) カメラを再設定・リセットしてみる。

- ①DHCP設定にしてみる。
- ②PWを再設定してみる。(※使用可能なPWはP62を参照)
- ③カメラ本体のLANケーブル接続と同時に、リセットボタンを長押し（5秒以上）する。
(再アクティベート)

どうしてもうまくいかない場合は、サポートダイヤルまでお問合せください。

カメラ登録方法② HUB経由の場合(手動登録)

■ カメラとレコーダーを直接ではなく、HUBを経由して接続する場合



※ 接続イメージは参考例なので、環境に合わせる必要があります。

※ 参考例は、設置環境にルータがある場合を想定しています。

※ PoEハブを使用しない場合は、別途、カメラ用電源アダプタが必要です。

■ 登録までの手順

- ①機器を接続する
- ②SADPツールをインストール
- ③カメラのIPアドレス、およびレコーダーのIPアドレスを設定する
- ④レコーダーにカメラの登録をする

(1) 機器の接続

上記の図を参考に、カメラ・レコーダー・PoEHubなどを接続してください。

※すべての機器に電源がはいっていることを確認してください。

(2) SADPツールの準備

下記URLからダウンロードし、ご使用のPCにインストールしてください。

https://www.arucom.ne.jp/all_support/model.html

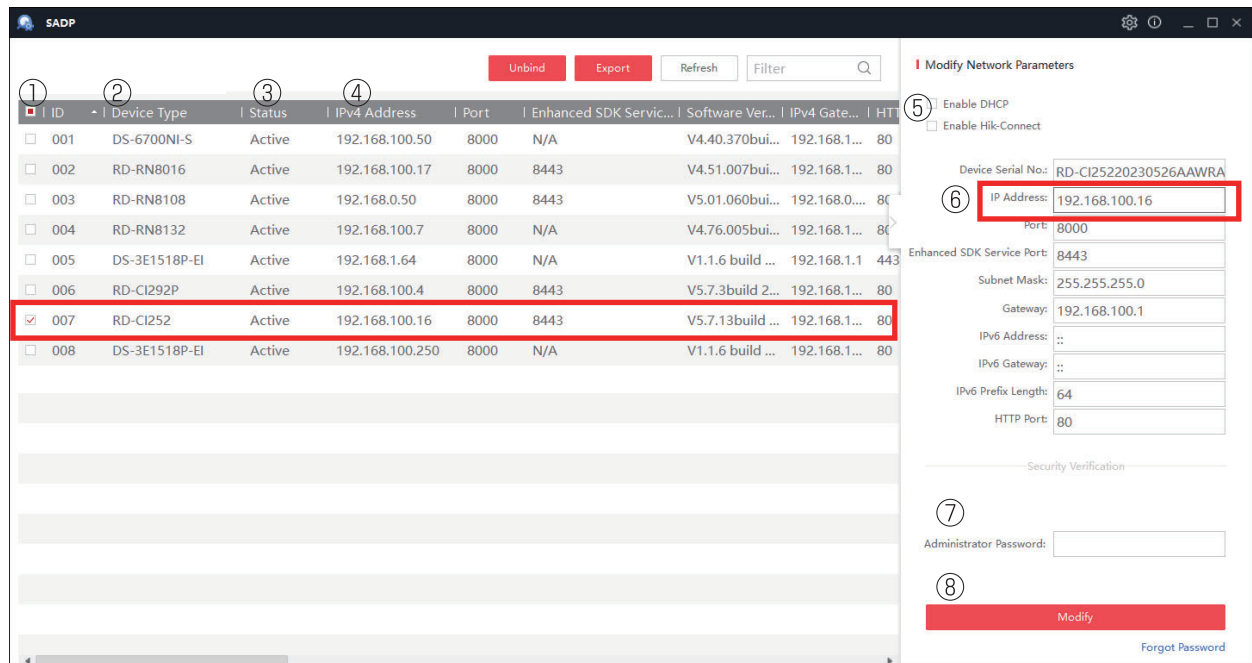


カメラ登録方法② HUB経由の場合(手動登録)

(3) カメラのIPアドレスの設定

SADPツールをインストール後、起動してください。カメラの設定を行います。

※追加したいカメラIPアドレス<例 192.168.100.16>



①選択用チェックボックス

②検出したカメラの型番

③検出したカメラの状態 (Activeだと稼働中)

④検出したカメラのIPアドレス

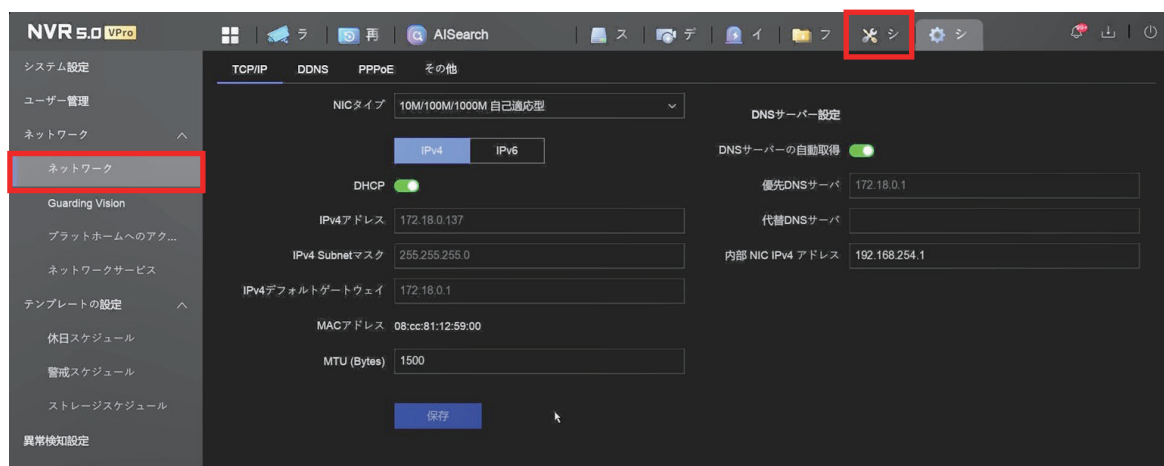
⑤DHCP有効のチェックボックス

⑥IPアドレス等変更箇所

⑦パスワード入力欄

⑧編集ボタン

(4) レコーダーのIPアドレスの設定



メインメニュー (もしくはタスクバー) > システム設定 > ネットワーク にて、LANポートに固定IPアドレスを割り当てる場合は設定を行い、DHCPで使用する場合は自動で割り当てられるIPアドレスを確認します。

(例ではNVRのIPアドレスは「172.18.0.137」に設定しています)

カメラ登録方法② HUB経由の場合(手動登録)

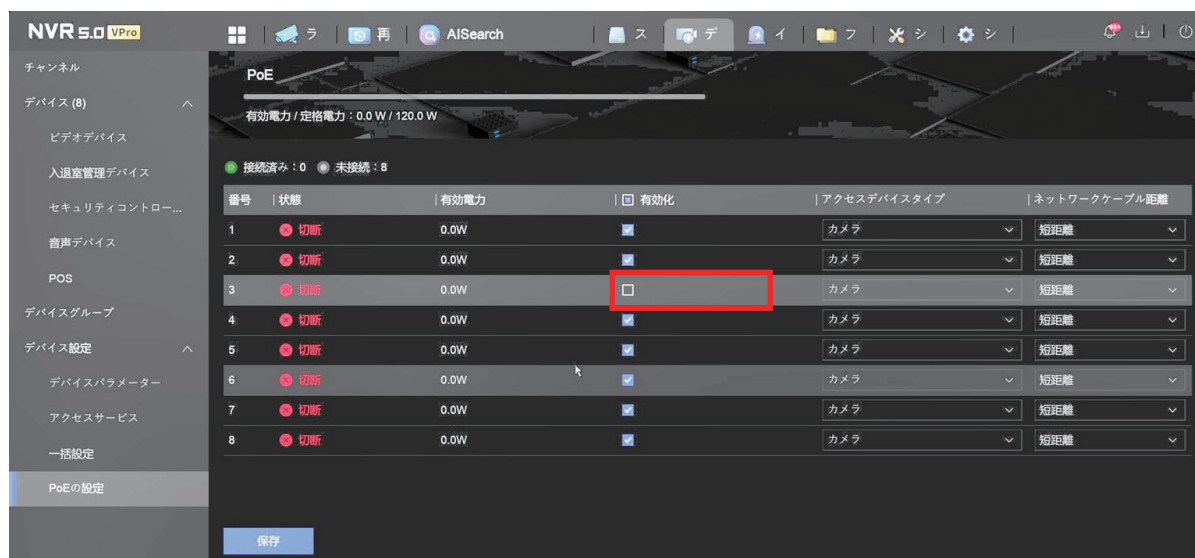
(5) カメラとNVRを同じネットワークに接続し、NVRのメインメニュー（もしくはタスクバー）
＞ デバイスアクセス＞ ビデオデバイス の順番で左クリックします。



手動でカメラ登録を行う場合は、「PoEの設定（給電）」設定をOFFにする必要があります。（※初期設定は全チャンネルPoE設定がON）
下記の手順で、PoE設定をOFFにしてください。

(6) 左メニューにある「PoE設定」をクリックします。＜例＞ ch3へ手動登録＞

「ネットワークカメラプラグアンドプレイ」項目の有効化をOFF（チェックを外す）にし、「保存」ボタンをクリックします。
※例）ch3のPoE給電を設定OFFにします。
※手動登録したいチャンネルの設定をOFFにします。



カメラ登録方法② HUB経由の場合(手動登録)

(7) レコーダーにカメラの登録をします。

NVRのメインメニュー（もしくはタスクバー）> デバイスアクセス> ビデオデバイスの順番で左クリックし表示された画面で、「追加」ボタンをクリックすると編集画面が表示されます。

オンラインデバイスリストから、追加したいカメラを選択すると、IPアドレス情報が自動で入力されます。IPアドレスに間違いが無いことを確認し、「+クイック追加」ボタンを押してください。

The screenshot shows the NVR 5.0 VPro interface. On the left sidebar, the 'デバイス (7)' (Devices 7) menu is selected. The main area displays a table of devices. The '追加' (Add) button is highlighted in the top left. Below the table, the 'オンラインデバイスリスト (10)' (Online Device List 10) is shown. The '+ クイック追加' (Quick Add) button is highlighted. The table lists 10 devices, with the 5th device (IP: 172.18.0.162) selected.

デバイス名	IPアドレス	状態	追加されたチ...	チャンネル数	パスワード強度	パスワード	プロトコル...	管理ポート	操作
Camera 01	172.18.0.178	オンライン	D1	1	強いパスワード	*****	HIKVISION	8000	
Camera 02	172.18.0.177	オンライン	D2	1	強いパスワード	*****	HIKVISION	8000	
Camera 03	172.18.0.135	オンライン	D3	1	強いパスワード	*****	HIKVISION	8000	
Camera 04	172.18.0.133	オンライン	D4	1	強いパスワード	*****	HIKVISION	8000	
Camera 05	172.18.0.149	オンライン	D5	1	強いパスワード	*****	HIKVISION	8000	
Camera 06	172.18.0.116	オンライン	D6	1	強いパスワード	*****	HIKVISION	8000	
Camera 07	172.18.0.154	オンライン	D7	1	強いパスワード	*****	HIKVISION	8000	

IPアドレス	デバイスモデル	状態	プロトコル...	管理ポート	シリアルNo.	バージョン	操作
172.18.0.131	IPC	オンライン	HIKVISION	8000	20240531CCWRFF1069838	V5.8.0build 2	
172.18.0.211	RD-CI302SVK	オンライン	HIKVISION	8000	RD-CI302SVK20241217AAWRFU4053172	V5.8.60build	
172.18.0.2	IPC	オンライン	HIKVISION	8000	20260402AAWRGS7172339	V5.8.1build 2	
172.18.0.162	DS-2CD2147G3-LIS2UY	オンライン	HIKVISION	8000	DS-2CD2147G3-LIS2UY20260423AAWRGT...	V5.8.32build	
172.18.0.4	IPC	オンライン	ONVIF	2020	/	/	
172.18.0.5	IPC	オンライン	ONVIF	80	/	/	

カメラが接続された事を確認して登録完了です。

※「状態」がオンラインにならない場合は、NVRの再起動を行ってください。

The screenshot shows the NVR 5.0 VPro interface after adding a new camera. The 'デバイス (8)' (Devices 8) menu is selected. The main area displays a table of devices. The '追加' (Add) button is highlighted in the top left. Below the table, the 'オンラインデバイスリスト (9)' (Online Device List 9) is shown. The '+ クイック追加' (Quick Add) button is highlighted. The table lists 9 devices, with the 8th device (IP: 172.18.0.162) selected.

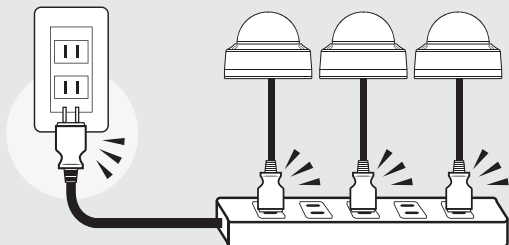
デバイス名	IPアドレス	状態	追加されたチ...	チャンネル数	パスワード強度	パスワード	プロトコル...	管理ポート	操作
Camera 01	172.18.0.178	オンライン	D1	1	強いパスワード	*****	HIKVISION	8000	
Camera 02	172.18.0.177	オンライン	D2	1	強いパスワード	*****	HIKVISION	8000	
Camera 03	172.18.0.135	オンライン	D3	1	強いパスワード	*****	HIKVISION	8000	
Camera 04	172.18.0.133	オンライン	D4	1	強いパスワード	*****	HIKVISION	8000	
Camera 05	172.18.0.149	オンライン	D5	1	強いパスワード	*****	HIKVISION	8000	
Camera 06	172.18.0.116	オンライン	D6	1	強いパスワード	*****	HIKVISION	8000	
Camera 07	172.18.0.154	オンライン	D7	1	強いパスワード	*****	HIKVISION	8000	
Camera 08	172.18.0.162	オンライン	D8	1	強いパスワード	*****	HIKVISION	8000	

IPアドレス	デバイスモデル	状態	プロトコル...	管理ポート	シリアルNo.	バージョン	操作
172.18.0.131	IPC	オンライン	HIKVISION	8000	20240531CCWRFF1069838	V5.8.0build 2	
172.18.0.211	RD-CI302SVK	オンライン	HIKVISION	8000	RD-CI302SVK20241217AAWRFU4053172	V5.8.60build	
172.18.0.2	IPC	オンライン	HIKVISION	8000	20260402AAWRGS7172339	V5.8.1build 2	
172.18.0.4	IPC	オンライン	ONVIF	2020	/	/	
172.18.0.5	IPC	オンライン	ONVIF	80	/	/	
172.18.0.3	IPC	オンライン	ONVIF	80	/	/	

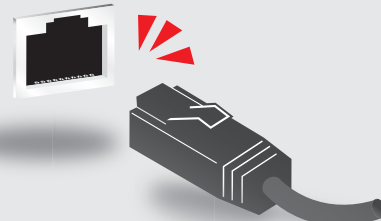
カメラ登録方法② HUB経由の場合(手動登録)

■ カメラの映像がでないときの考えられる要因

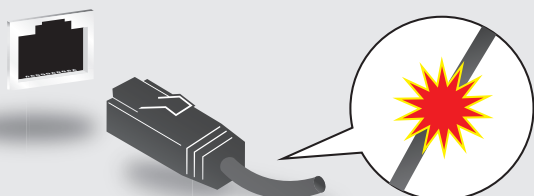
(A) カメラの電源がはいっていない



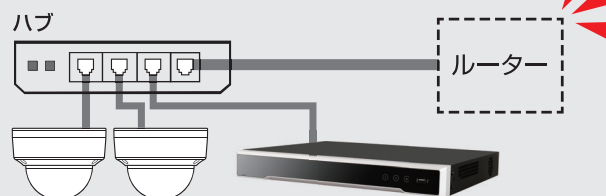
(B) LANケーブルが抜けている



(C) LANケーブルが正常ではない
(接触不良・断線など)



(D) カメラはDHCP設定なのに、
ルーターがない



(E) カメラのアドレスと、NVR側のカメラ
登録IPが違う



※確認・修正方法はP30～32へ

(F) カメラのパスワードと、NVR側のカメラ
パスワードが違う

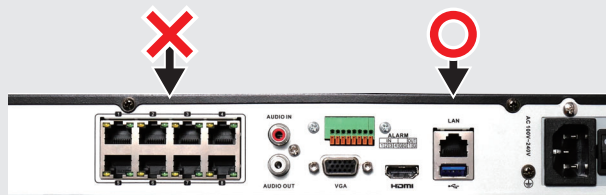


※確認・修正方法はP30～32へ

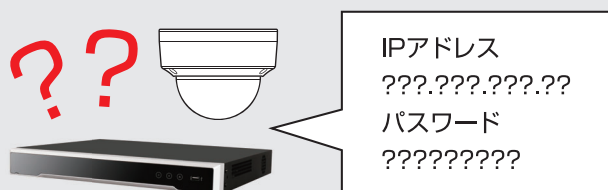
(G) 同一セグメントになっていない



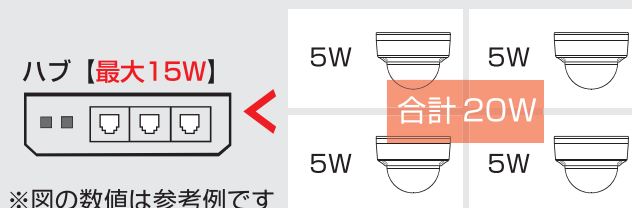
(H) NVRのCHポートにハブからの
LANケーブルを挿している



(I) カメラリセットした場合、
再設定(初期設定)が行われていない



(J) POEハブの電源キャパ不足(対応電力
量よりも多くカメラを接続している)



※図の数値は参考例です

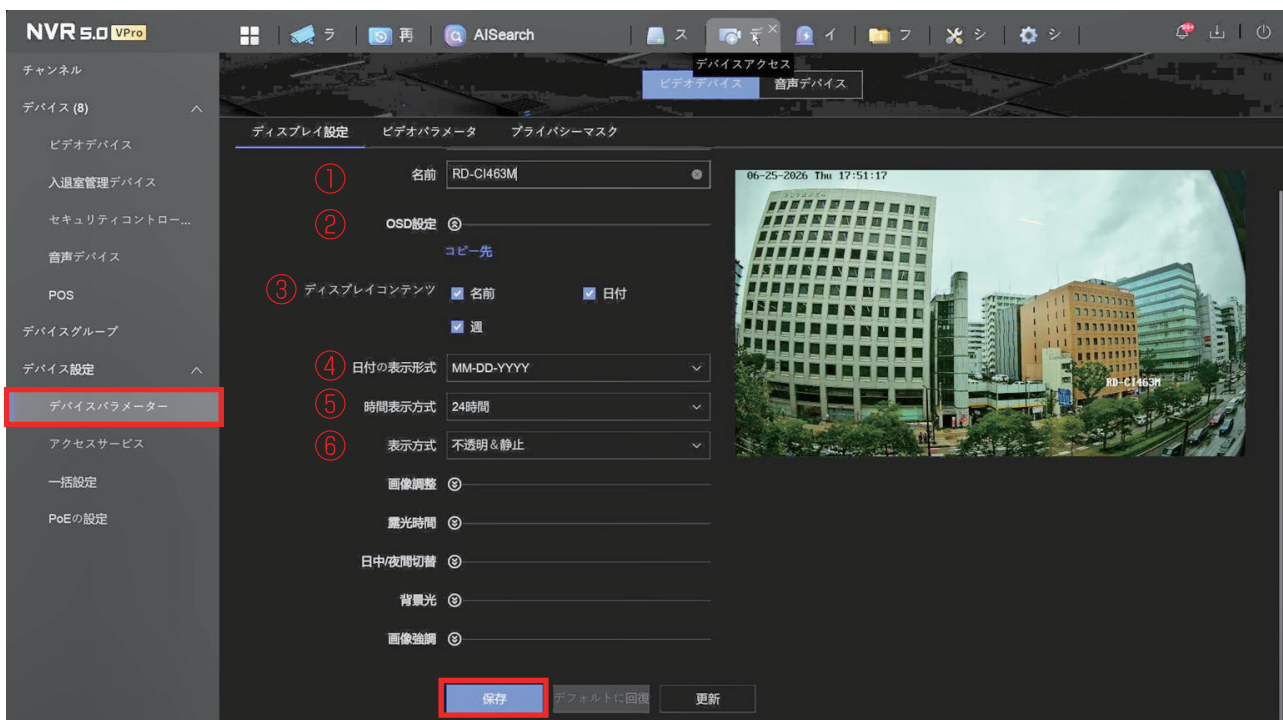
カメラ名称の変更

■ カメラの名称または表示内容の変更方法

(1) メインメニュー、もしくはタスクバーより「デバイスアクセス」のアイコンをクリックします。



(2) 画面左側の「デバイスパラメータ」をクリックします。



- ① 設定したいカメラを選択します。
- ② カメラの名称を入力します。(英数字のみ、32文字まで)
- ③ 日付、時刻、曜日、名称の表示のON/OFFを選択できます。
- ④ 年月日と時刻の記載方法を選択できます。
- ⑤ 時刻の表示方式(24時間/12時間)を選択します。
- ⑥ 文字の透明・不透明、点滅・点灯を選択できます。

これは画面上の文字を表示する際、見やすくするために色を自動的に変える機能です。

(3) 「保存」を左クリックすると設定の変更が完了です。

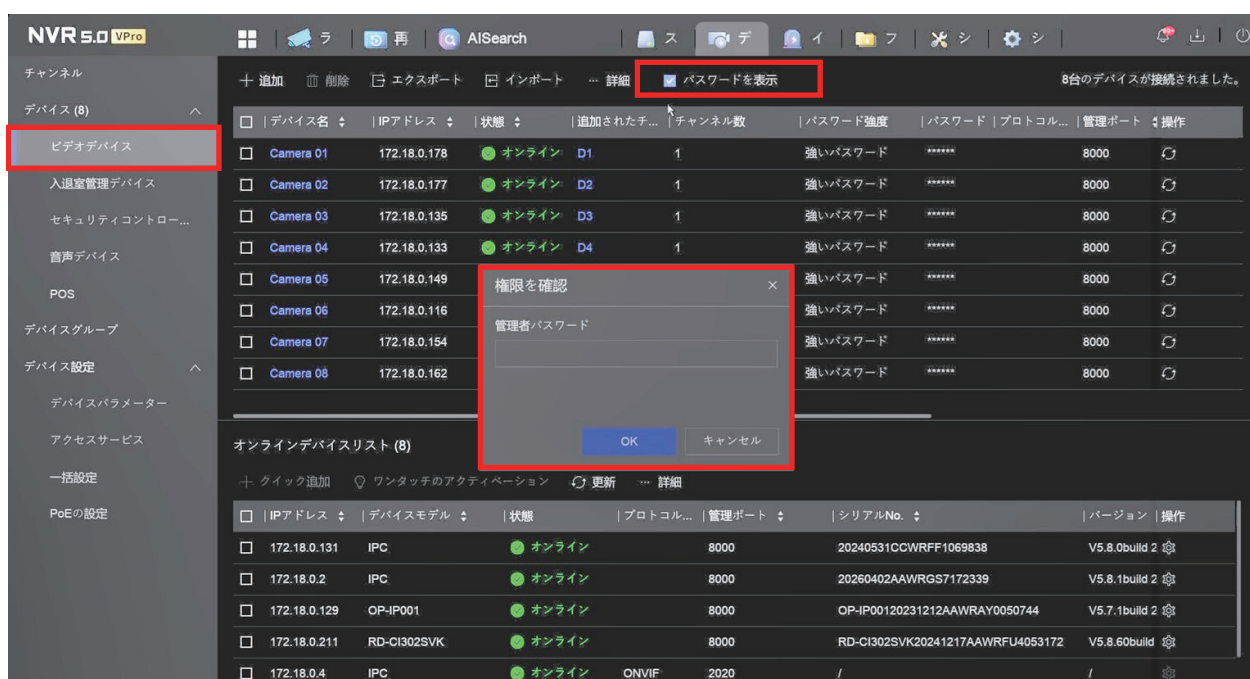
カメラパスワードの確認方法

■ カメラのパスワード確認方法

(1) メインメニュー、もしくはタスクバーより「デバイスアクセス」のアイコンをクリックします。



(2) 左メニュー「ビデオデバイス」を選択し、上部の「パスワードを表示」のチェックボックスにチェックを入れると、権限確認画面が表示されてadminユーザーのパスワードの入力を求められます。(※初期パスワード: Ac797083)



(3) パスワードを入力すると「パスワードを表示」項目に非表示となっていたパスワードを表示・確認する事ができます。

(プラグアンドプレイで接続しているカメラは、基本的にNVRと同じパスワードが設定されています)



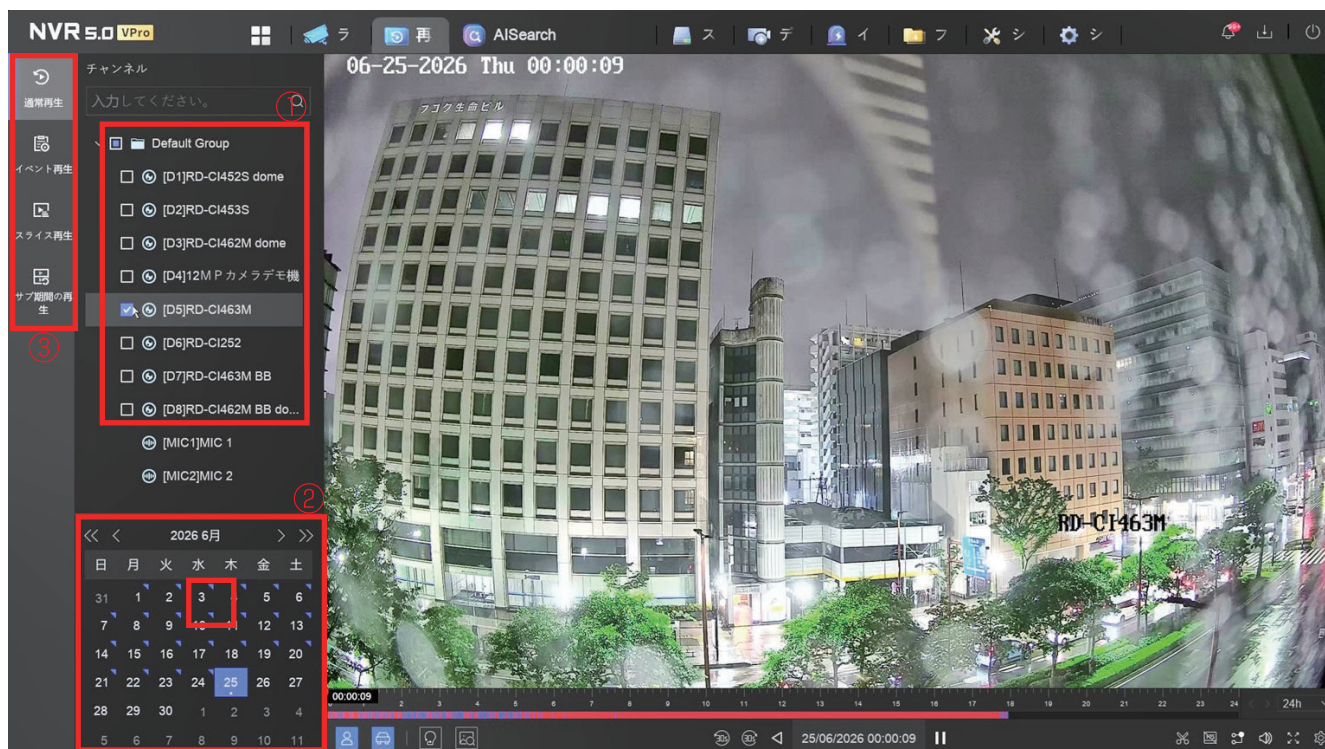
録画映像の再生方法（通常再生）

■ 録画した映像の再生

（１）メインメニュー、もしくはタスクバーより「再生」のアイコンをクリックします。



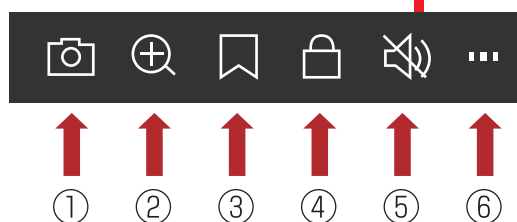
（２）再生画面が表示されます。



項目	
① 再生カメラの選択	リストから、再生するカメラにチェックを入れます。 複数選択した場合は分割表示されます。 ※機種により同時再生可能な台数は変わります。
② 録画映像の日付検索	カレンダーを使って記録映像の検索ができます。 録画データがある場合は、日付の右上に青いマークが表示されます。
③ 再生方法の切替	通常再生/イベント再生/スライス再生/サブ期間の再生を切り替えます。

録画映像の再生方法（通常再生）

（3）再生画面の下部にある再生パネルについて



① キャプチャ	キャプチャを撮ります。
② デジタルズーム	再生映像でデジタルズームを行う際に使用します。
③ タグ追加	タグを追加します。
④ ロック※1	再生している内部ファイルをロックします。
⑤ 音声操作	録音しているカメラがある場合の音声ON・OFFと調整を行います。
⑥ 詳細	VCA情報表示、魚眼表示モードの切替

（※1）ロック機能

ロックしたい時間に再生ヘッドを合わせ、ロックアイコンを押すと指定した時間から1GB分（連続録画時）ファイルを保存します。ロックした内部ファイルは上書きされません。
 ロックしたファイルをUSBへバックアップしたい場合は、P46（録画映像をバックアップ①（エクスポート））をご参照ください。項目（4）画面で、画面左上にある「ロック別」タブをクリックし、（4）～（7）同様の手順を行うと、ロックしたファイルの検索、映像確認およびUSBバックアップを行うことができます。

録画映像の再生方法（通常再生）



① スキップ(ー)	30秒戻ります。
② スキップ(+)	30秒戻ります。
③ 逆再生／一時停止	録画映像の逆再生をします。再生中に一時停止をします。
④ 再生位置	現在再生している位置です。
⑤ 再生／一時停止	録画映像の再生をします。再生中に一時停止をします。
⑥ 遅く※3	再生速度を遅くします。(×1/2、1/4、1/8)
⑦ 再生速度※3	現在の再生速度の倍率を表示します。
⑧ 速く※3	再生速度を早くします。(×2、4、8、16、32、64、128)
⑨ タイムバー範囲	タイムバーの端から端まで範囲を設定します。(10分～24時間)
⑩ 人物※1	人物が映った部分を抽出表示～再生します。
⑪ 車両※1	車両が映った部分を抽出表示～再生します。
⑫ スマート検索※1	抽出エリアの設定を行います。
⑬ AcuSearch	AIを使い画面上の人物のみを、録画映像から検索出来ます。
⑭ クリップ	再生映像を任意の時間でカットしてUSBメモリにエクスポートします。
⑮ テキストオーバーレイ	有効/無効か設定します。(※本機では使用しません)
⑯ メイン／サブ	メイン／サブストリームの切替をします。(通常はメインのみ録画)
⑰ オーディオ	音量の調整を行います。
⑱ フルスクリーン	フルスクリーンで再生します。
⑲ 再生ストラテジー※2	スマート・カスタム再生時の再生方法を設定します(表示スキップなど)

(※1) HITOCAシリーズカメラ接続時に操作が可能です。

(※2) イベント/人物/車両/VCAの各再生タイプに有効です。

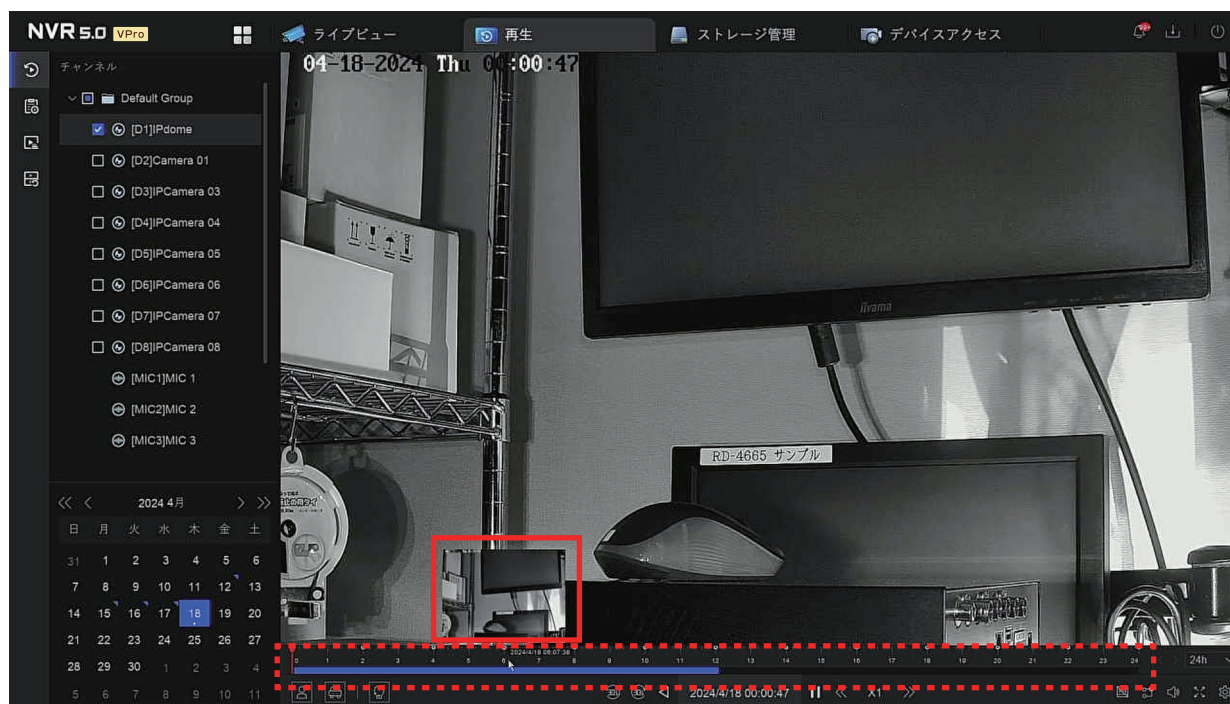
(※3) 人物・車両検出時は表示されません。

録画映像の再生方法（通常再生）

（４）１画面再生中に、タイムバーの時刻表示にカーソルを合せると、サムネイルが表示されます。サムネイルをクリックするとその時間にジャンプします。

※サムネイルが表示できる時刻の上に○印が表示されます。

またタイムバーの表示範囲設定によって、サムネイル表示される間隔は異なります。



■タイムバーは24時間表示の場合。

この範囲設定では2時間間隔でサムネイル表示ができます。時刻表示の上に○印が表示されます。

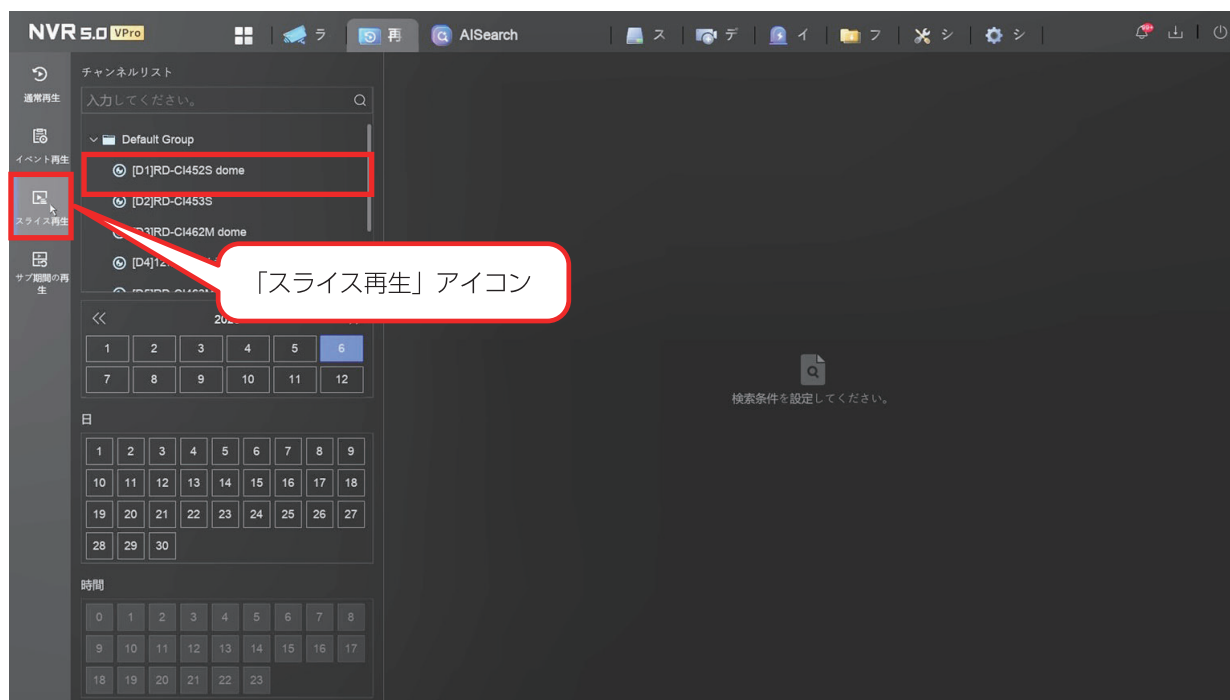
録画映像の再生方法（スライス再生）

■ スライス再生

(1) メインメニュー、もしくはタスクバーより「再生」のアイコンをクリックします。

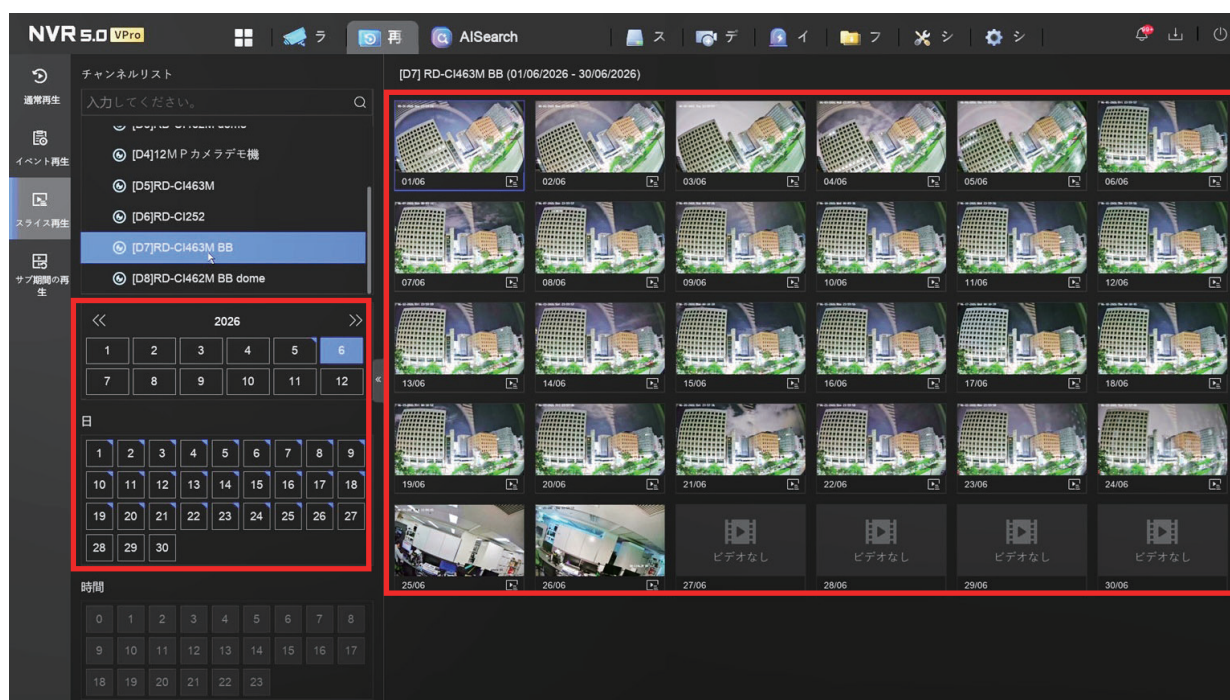


(2) 「スライス再生」を選択し、映像確認したいカメラチャンネルをクリックします。



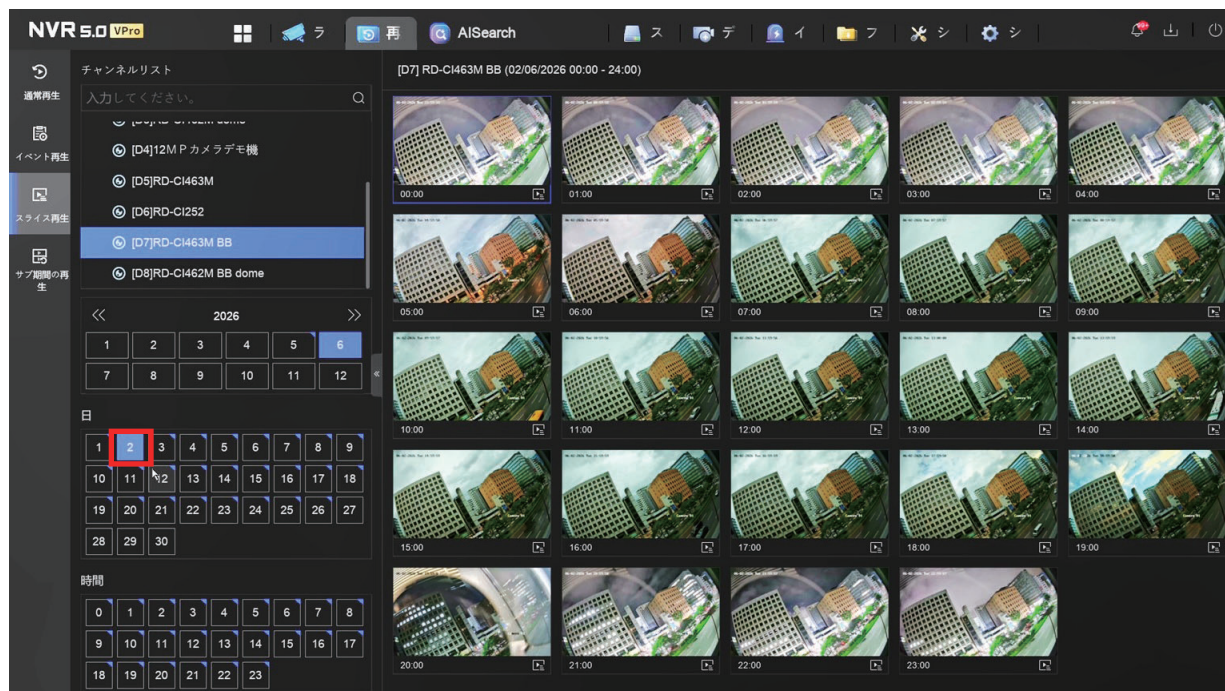
(3) カレンダーが表示され、録画データのある日付の画像リストが表示されます。

(※カレンダー上では日付の右上に「青い三角マーク」が表示されます。)



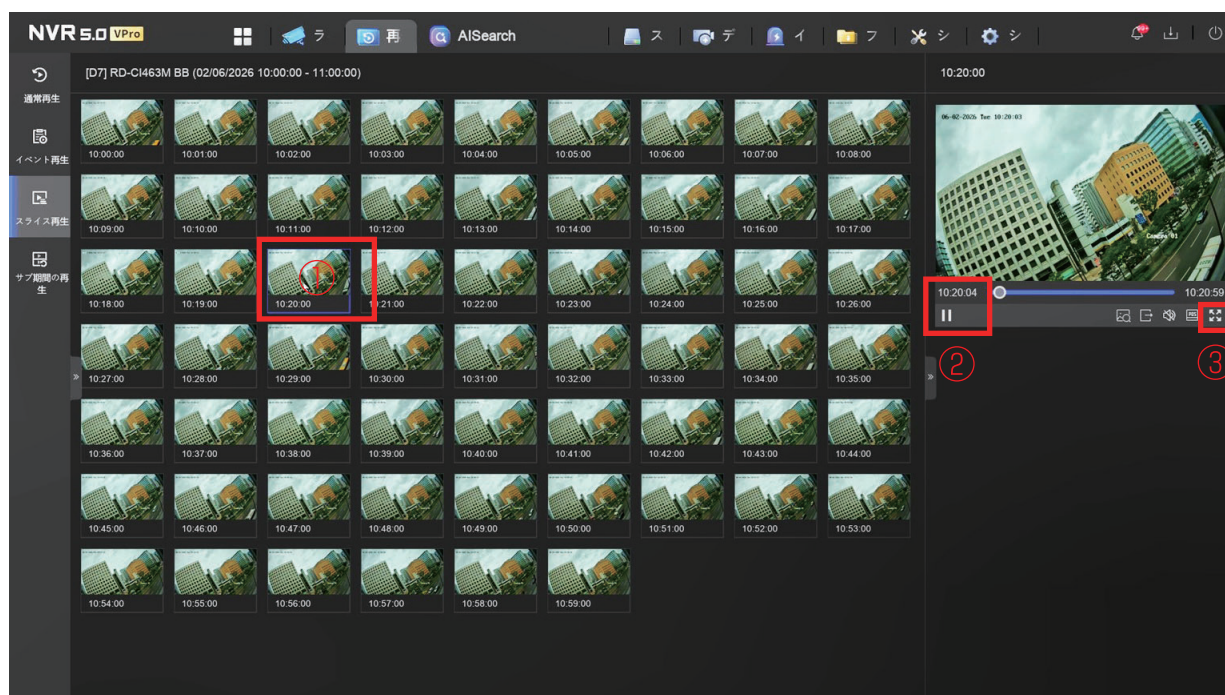
録画映像の再生方法（スライス再生）

(4) 映像確認したい日付(1～31日)を選択すると、1時間単位の画像リストを表示します。



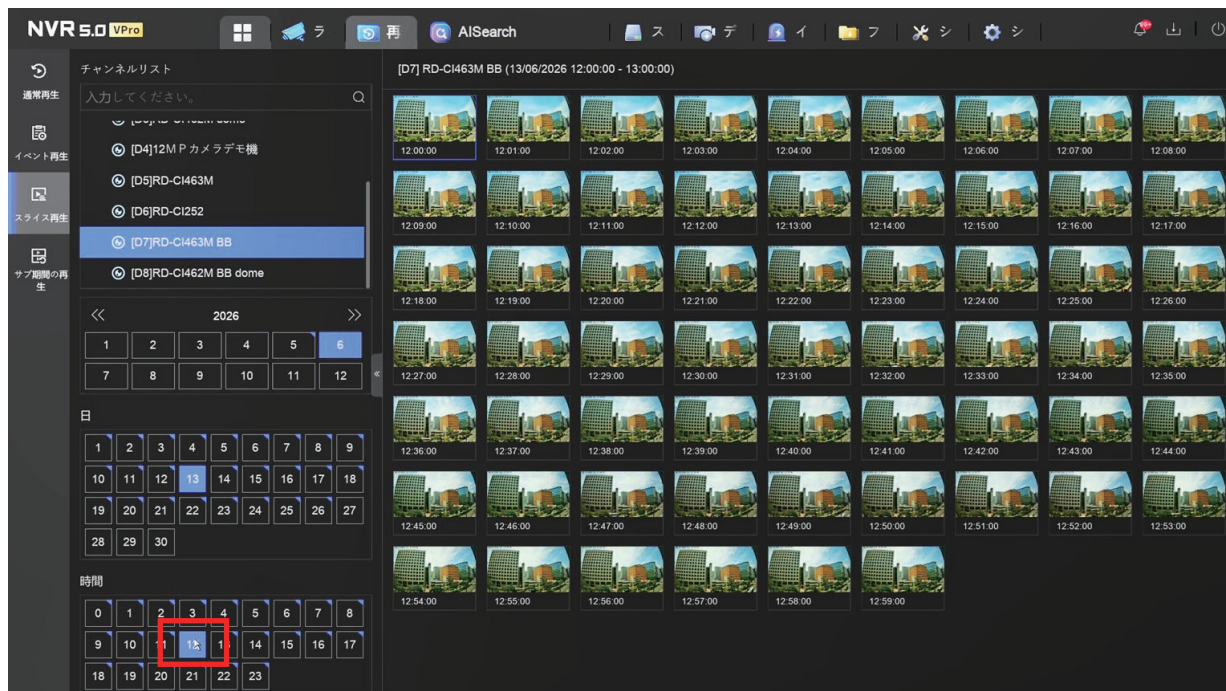
(5) 映像確認したい時間帯(0～23時)の画像を選択すると、再生画面が表示されます。

- ① 見たい時間帯の画像を選択します。(1時間単位で表示)
- ② 再生ボタンで映像確認を行うことができます。
- ③ フルスクリーン表示切替ができます。



録画映像の再生方法（スライス再生）

(6) 映像確認したい時間帯(0～23時)を選択すると、1分単位の画像リストを表示します。



見たい時間帯の画像リストをクリックすると、1分単位で映像確認ができます。
※確認方法については、P41（5）をご参照ください。

■「別の日付」もしくは「別の時間帯」の映像確認をしたい場合。

モニタ画面上で「マウス右クリック」を行っていただくと、直前のカレンダー選択画面へ戻ることができます。あらためて日付・時間を指定し映像確認を行なってください。

人物・車両検知設定①

人物と車両に特化したターゲット検知が可能です。

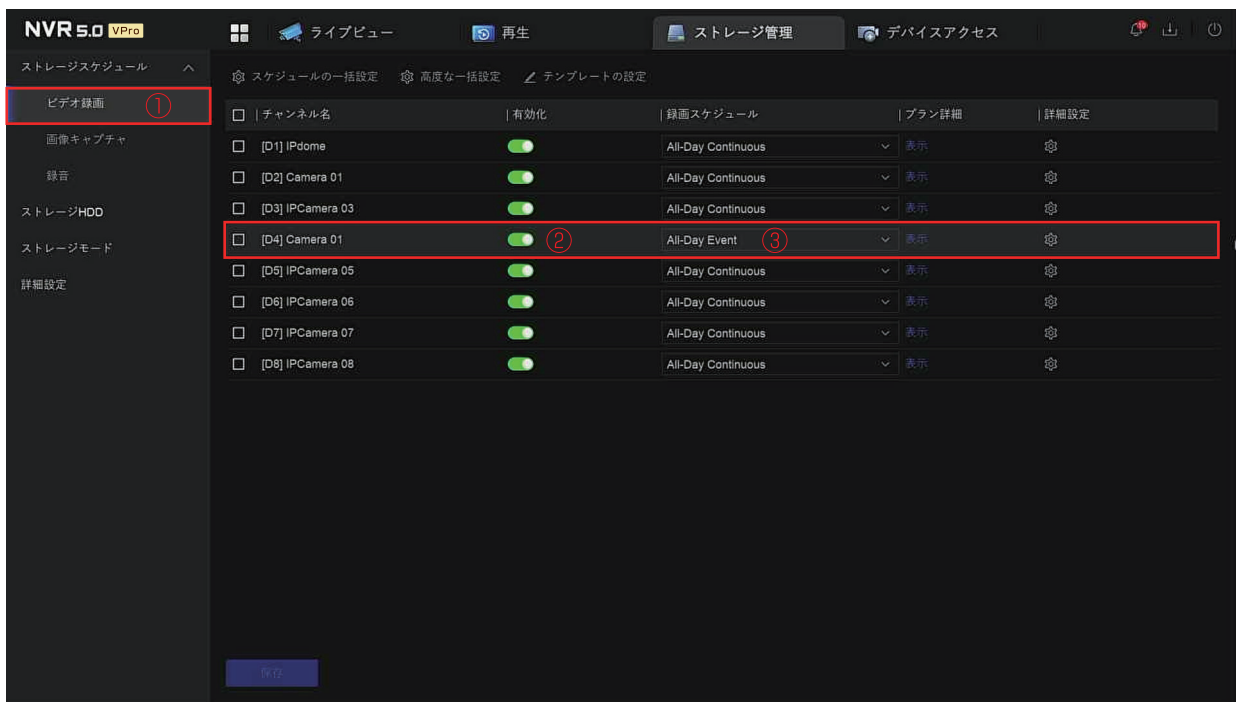
<条件・特徴>

- ・ HITOCAシリーズカメラに限ります。
- ・ 録画モードを「イベント録画（動体検知録画）」への設定が必要です。
- ・ 人物および車両検知時のみの発報が可能です。
- ・ リンククロスや侵入検知も対応しています。

（１）メインメニュー、もしくはタスクバーより「ストレージ管理」のアイコンをクリックします。



（２）イベント（動体検知録画）録画設定
左メニューより「ビデオ録画」を選択します。



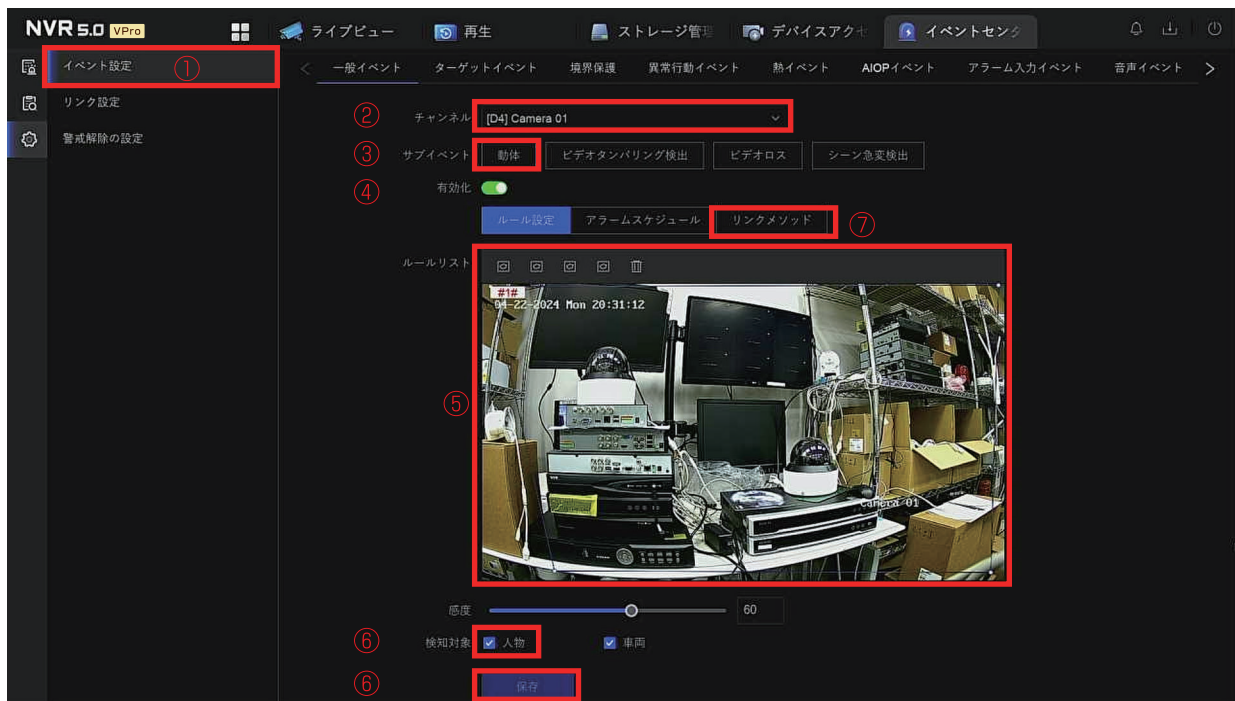
- ①左メニューより「ビデオ録画」を選択。
- ②「有効化」設定をONにします。
※ボタンを右にセットすると（緑表示）します
- ③録画スケジュールを「All-Day Event」へ設定します。
- ④「保存」ボタンを押し、動体検知録画の設定完了です。

人物・車両検知設定②

(3) メインメニューより「イベントセンター」のアイコンを左クリックします。



(4) 画面左上の  「イベント設定アイコン」をクリックします。



①左メニューより「通常イベント」を選択。

②検知対象のカメラ番号を選択します。

③サブイベントにて「動体」を選択します。（※青枠表示されます）

④有効化にチェックを入れます。（※設定ONで緑表示）

⑤「エリア描画」ボタンを押し、カメラ画像上で範囲指定を行います。

※初期設定で既に検知範囲が青枠で（#1#）設定されています。

必要に応じて消去のうえ新規で検知範囲の設定を行ってください。

（注意：右クリックで範囲の確定操作ができます。）

⑥検知対象「人物」にチェックを入れます。

⑦「リンクメソッド」にて、検知時にブザーを鳴らすなどの設定が出来ます。

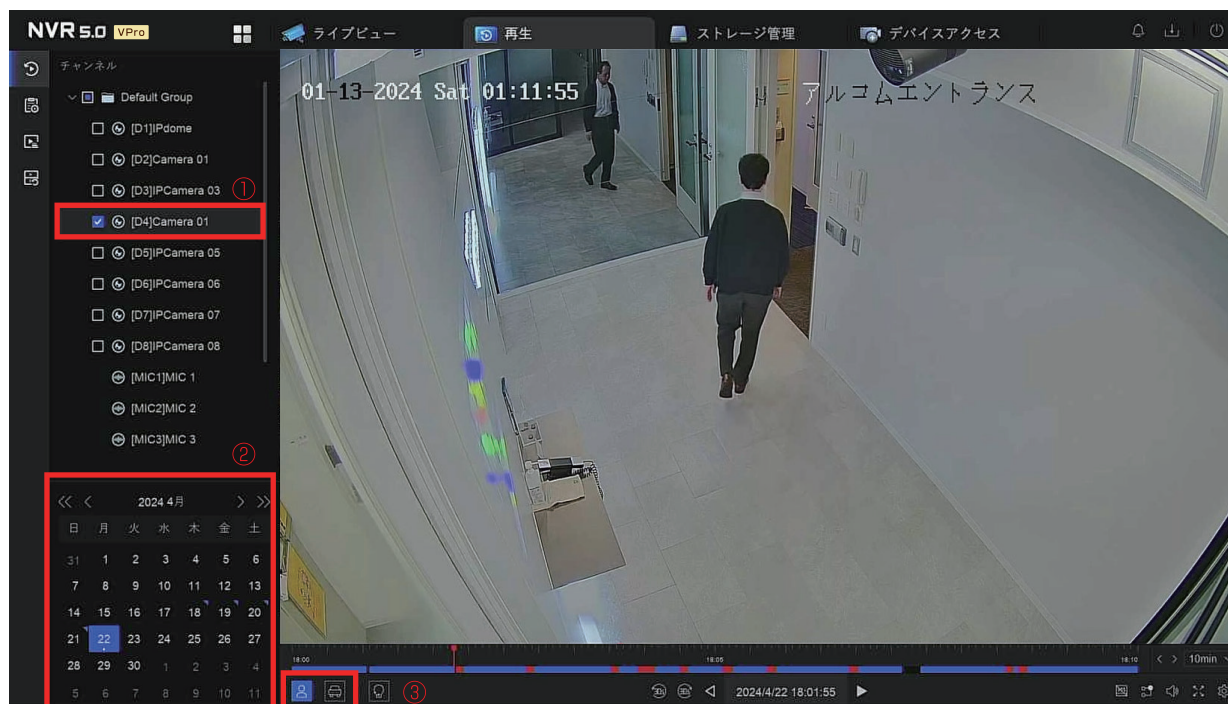
⑧「保存」ボタンを押し、検知範囲の設定完了です。

人物・車両検知設定③

(5) スマート検索

人物検知、もしくは車両検知録画した箇所のみを抽出して再生することができます。

メインメニュー、もしくはタスクバーより「再生」のアイコンをクリックします。



- ①スマート検索したいchにチェックを入れます。
- ②カレンダーより再生したい日付を指定します。
- ③「人物」もしくは「車両」アイコンをONにすると指定したターゲットで検知した録画箇所のみ赤帯で表示されるようになります。

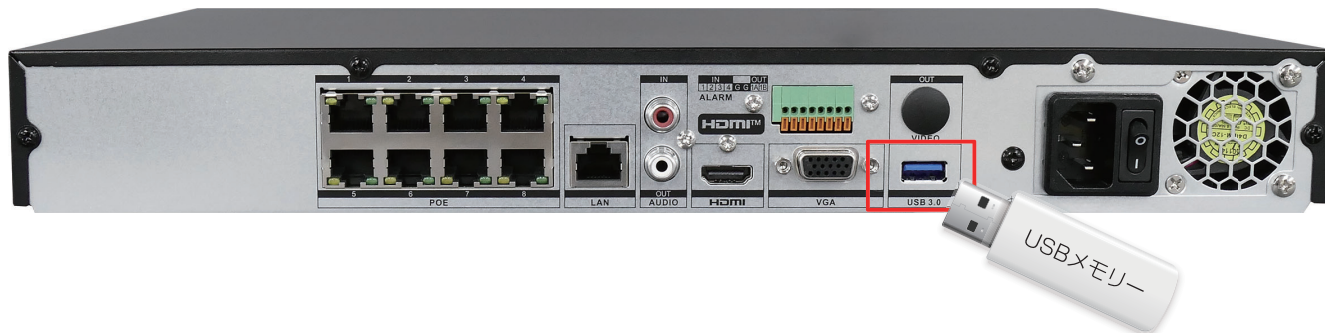
録画映像のバックアップ①（エクスポート）

■ 記録した映像の出力

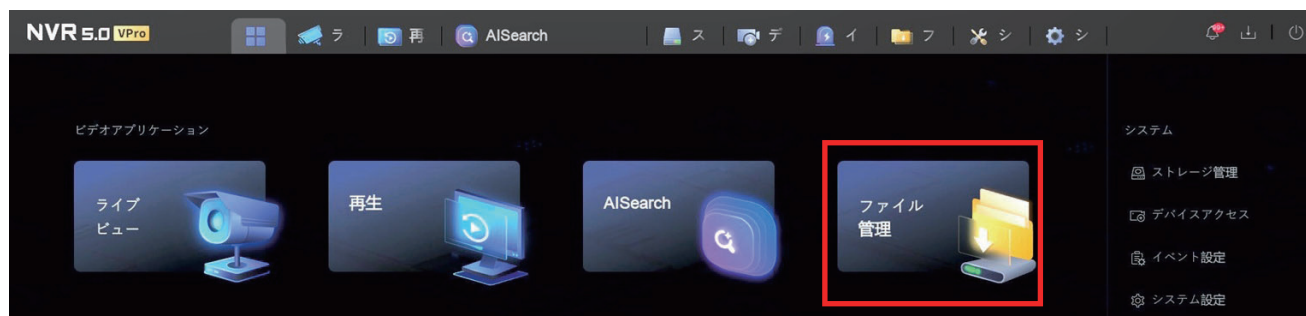
本体に録画した映像をエクスポート（バックアップ）する場合は、次の操作を行います。

- （１）USBメモリ等の外部記録媒体を用意します。
- （２）本体のUSB端子にUSBメモリ等を差し込みます。

※USB機器の対応フォーマットは、FAT32のみです。exFATは未対応です。



- （３）メインメニューより「ファイル管理」のアイコンを左クリックします。



- （４）エクスポートするカメラにチェックを入れ、エクスポートする期間（開始時間と終了時間）を指定し、「検索」を左クリックします。



録画映像のバックアップ①（エクスポート）

（５）検索結果が表示されます。右上のボタンで表示方法を２種類から選べます。

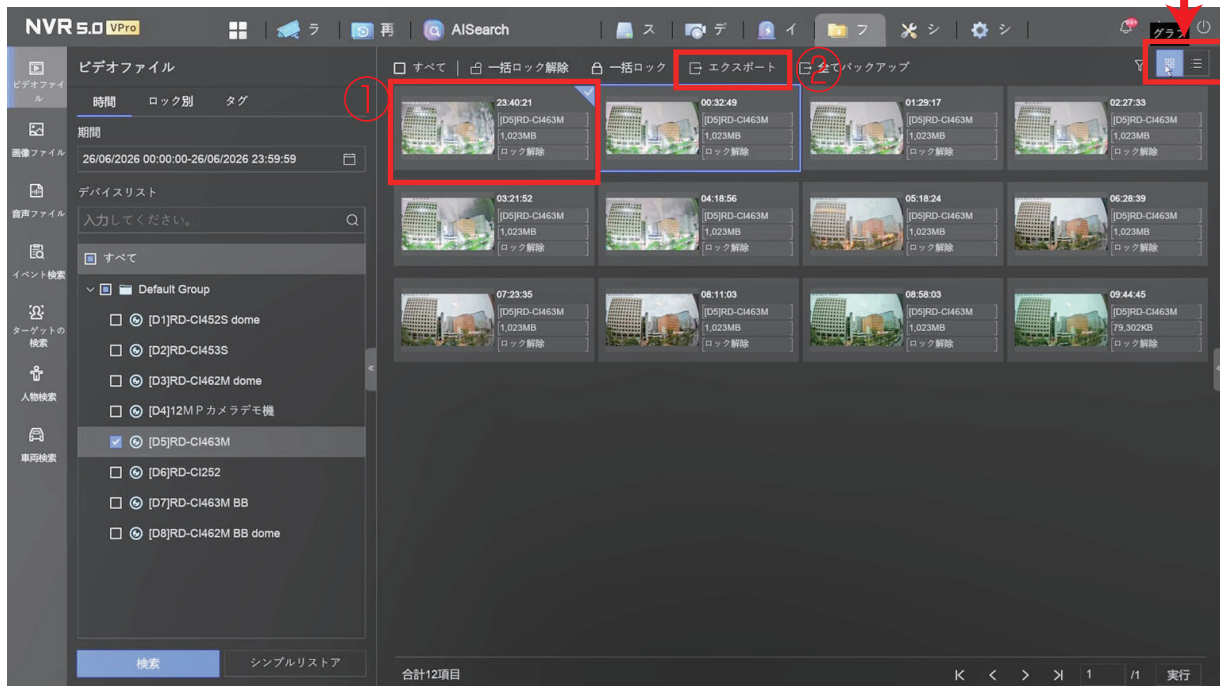
図：映像ファイルごとのサムネイル（画像）表示

リスト：映像ファイルごとのリスト（文字）表示

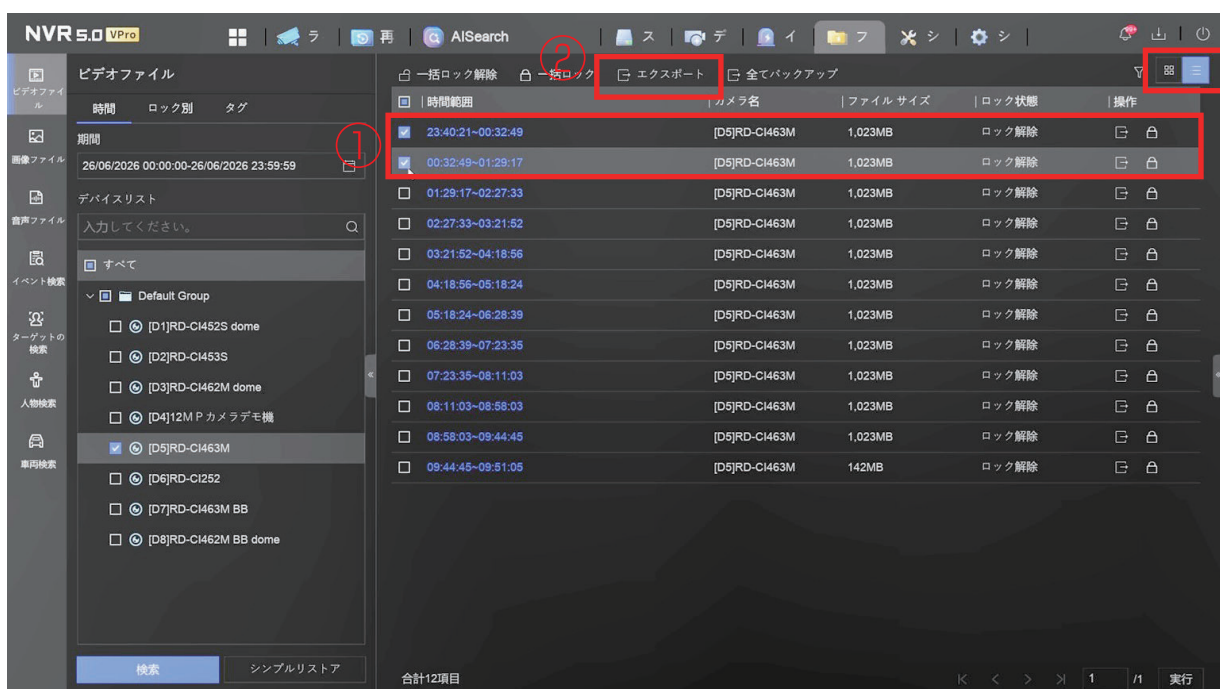
①エクスポートしたい映像ファイル（右上箇所）にチェックを入れます。

②右上の「エクスポート」を左クリックします。

■ 図表示の例



■ リスト表示の例



録画映像のバックアップ①（エクスポート）

（６）画面右側に表示される設定にて「エクスポート形式」「保存先」「VSプレーヤーのエクスポート」を設定し、「OK」ボタンを押すとエクスポートが始まります。

①ビデオエクスポート形式

デフォルト/MP4/AVI から選択します。

※デフォルト選択時は、MP4形式で出力します。

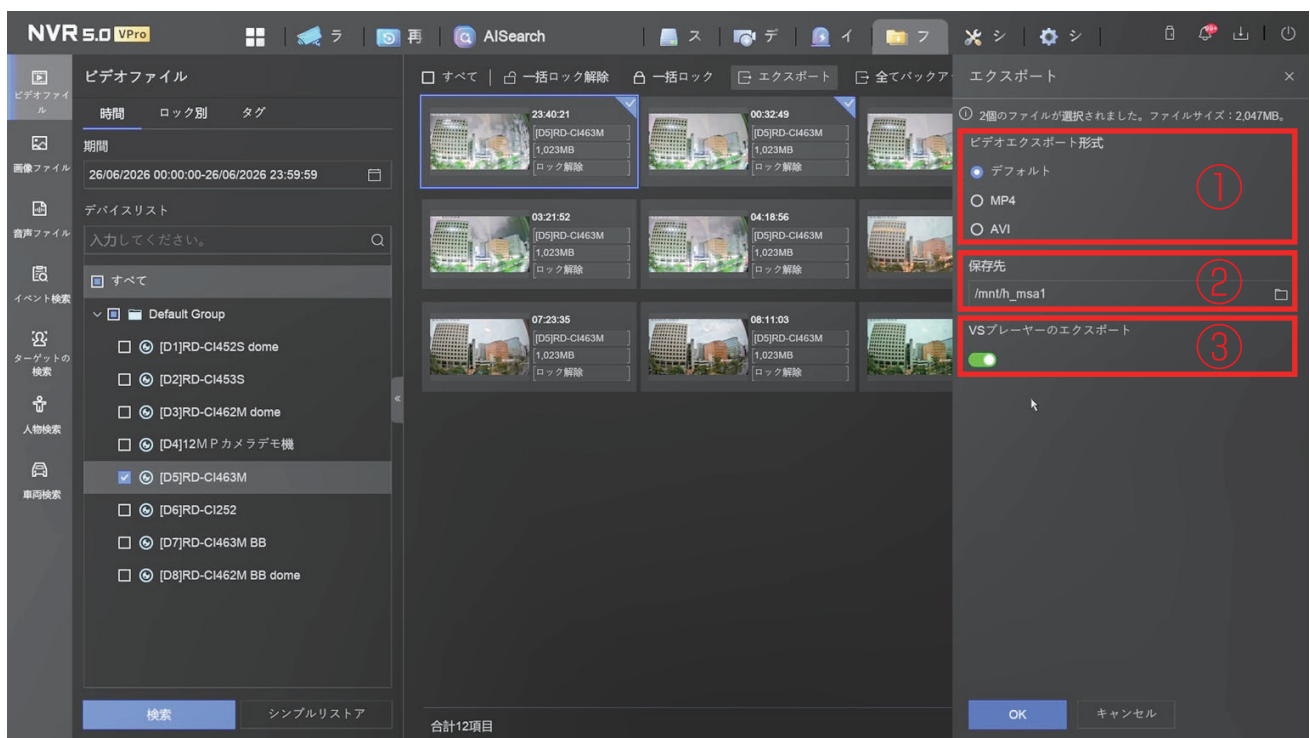
②保存先

フォルダアイコンをクリックしUSBメモリを指定します。

※指定が完了するとパスが表示されます。

③VSプレーヤー（再生ソフト）の保存

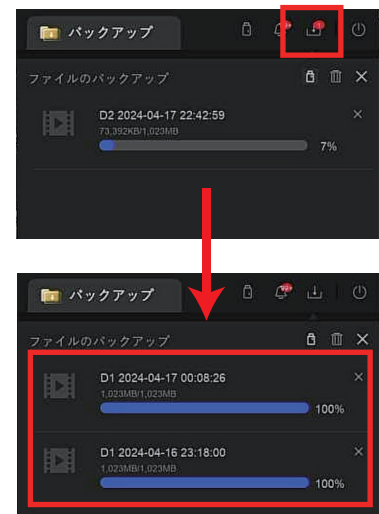
ボタンを右に設定（緑表示）すると一緒にUSBメモリへ保存します。



（７）エクスポート（バックアップ）の進捗確認。

右上にある「ダウンロードタスク」をクリックすると、エクスポートの進捗を確認できます。

進捗「100%」表示を確認出来たら、エクスポート完了です。

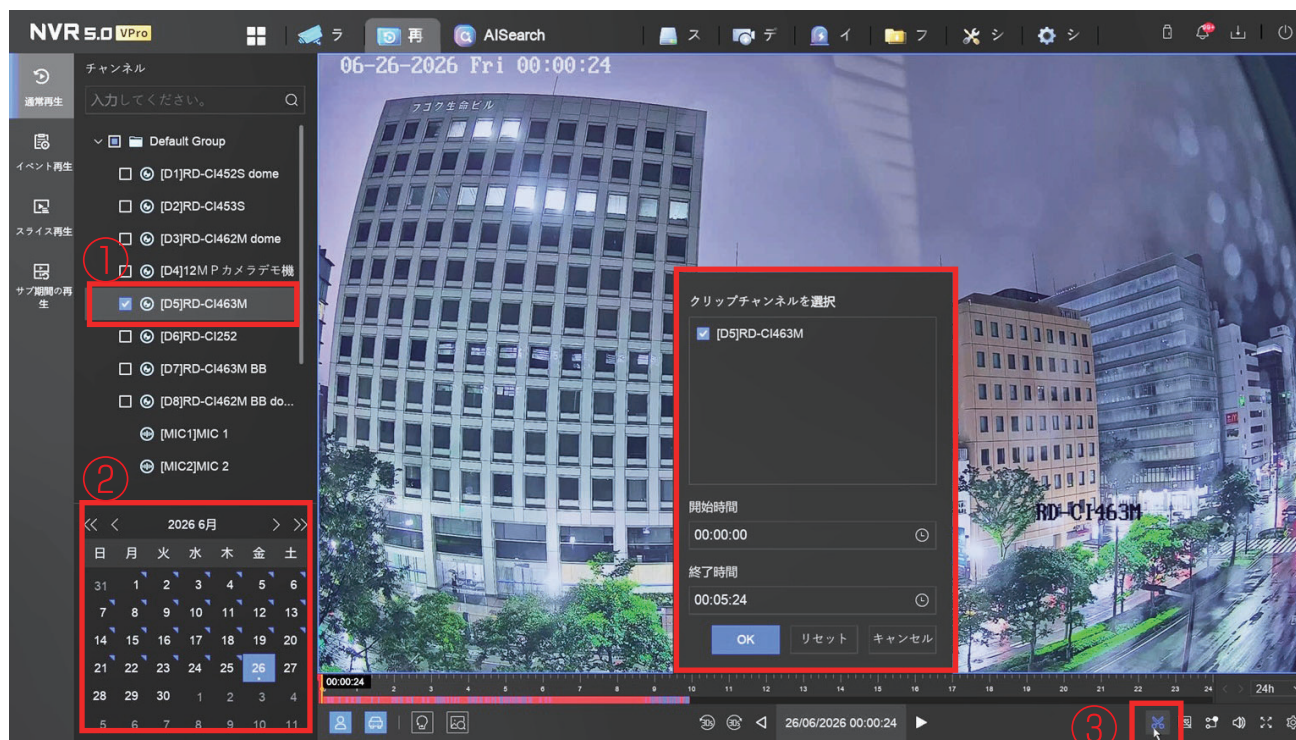


録画映像のバックアップ②（クリップ）

（1）メインメニュー、もしくはタスクバーより「再生」のアイコンをクリックします。



（2）下記の手順にて、エクスポート（バックアップ）を行います。



①バックアップ（エクスポート）したいカメラchに、チェックを入れます。

②カレンダーより、バックアップする日付を選択します。

③画面右下の  クリップアイコンを左クリックします。

④バックアップしたい時間（開始時間）と（終了時間）を指定します。

※最大24時間、日をまたいでの指定はできません。

上記の設定を行ない「OK」ボタンを押します。

（3）ファイル保存形式の指定。

画面右側へ設定ウィンドウが表示されます。

詳細は、前ページの（6）項目をご参照ください。

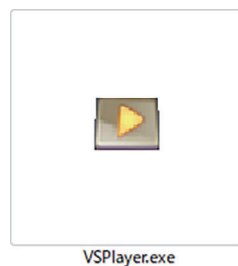
（4）エクスポート（バックアップ）の進捗確認。

詳細は、前ページの（7）項目をご参照ください。

エクスポート(バックアップ)映像の再生方法

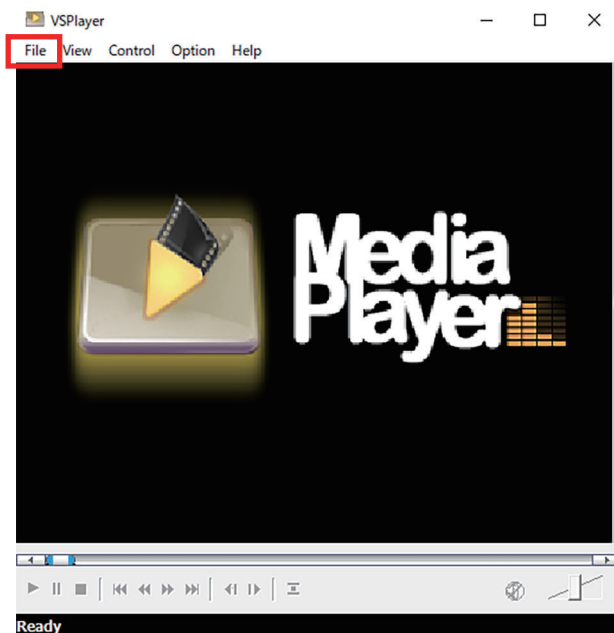
■ エクスポートした映像の再生

(1) パソコンにエクスポート映像を保存したUSBメモリなどを接続して、映像とともにエクスポートした再生プレイヤー (VSPlayer) を起動してください。



※映像ファイルは「mp4」形式でエクスポートされていますが、上記のプレイヤー以外では再生できない場合がございます。

(2) プレイヤーの起動後、左上のFileメニューよりOpenをクリックします。



エクスポート(バックアップ)映像の再生方法

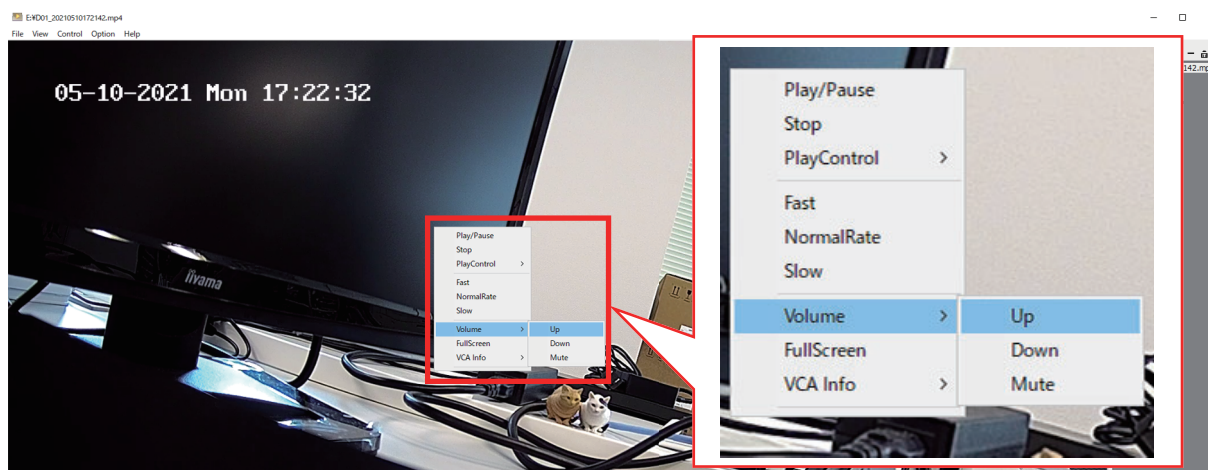
(3) 保存したフォルダを開き、エクスポートした映像ファイルの選択後、「開く」を左クリックします。



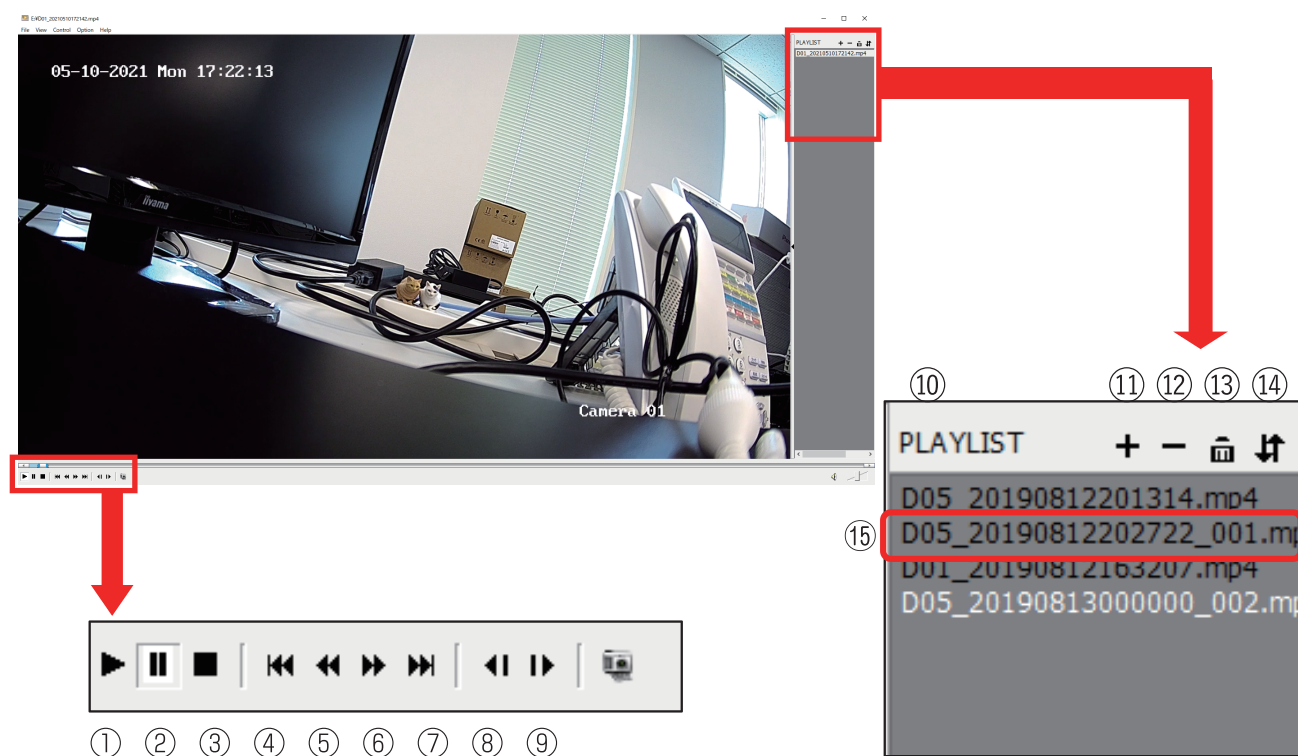
(4) エクスポートした映像が表示されます。再生は操作パネルから行います。



(5) 再生画面の上で右クリックするとメニューが表示され、volumeにマウスのポインタを当てると、音量の調節が行えます。※録音した映像の場合のみ。



エクスポート(バックアップ)映像の再生方法



① ▶	映像の再生を行います。
②	映像を一時停止します。
③ ■	映像を停止します。
④ ⏮	映像の一番最初へ移動します。
⑤ ⏪	再生速度のスピードをダウンします(最高1/16倍速)
⑥ ⏩	再生速度のスピードをアップします(最高16倍速)
⑦ ⏭	映像の一番最後へ移動します。
⑧ ⏮	コマ戻しします。
⑨ ⏭	コマ送りします。
⑩ PLAY LIST	映像のリストです。
⑪ +	ファイルの追加
⑫ -	ファイルの削除
⑬ ごみ箱	全削除
⑭ ↑↓	順次・単独・リピート再生のモードを切り替えます。
⑮ *****.mp4	再生したいリストをダブルクリックすると再生されます。

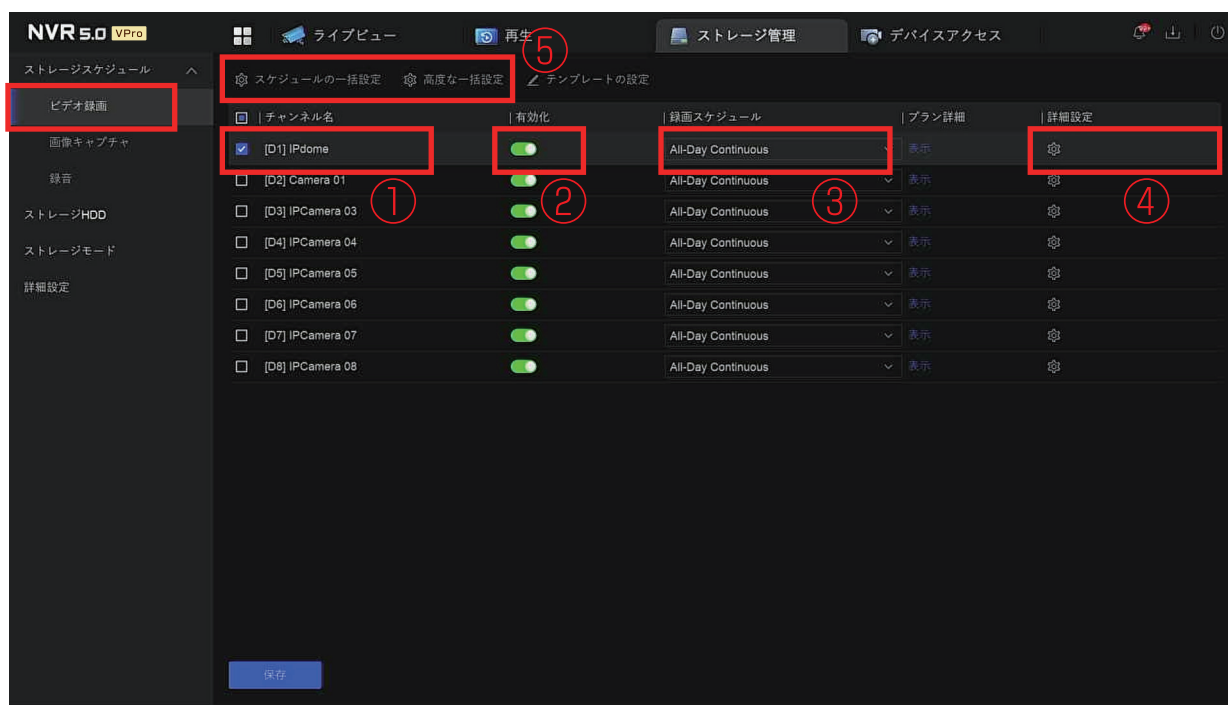
録画スケジュール設定（常時・スケジュール）

■ 常時録画の設定方法

（１）メインメニュー、もしくはタスクバーより「ストレージ管理」のアイコンをクリックします。



（２）「ストレージ管理」→「ストレージスケジュール」→「ビデオ録画」画面で設定を行います。



- ① 設定するカメラにチェックをいれます。
- ② スケジュール設定を行なうのに「有効化」をON（緑表示）に設定します。
- ③ 録画スケジュールを「All-Day Continuous（連続録画）」を選択します。
- ④ 詳細設定を行います。
オーディオ録音/事前録画時間/事後録画時間/ストリームタイプを設定します。
- ⑤ 他のカメラに同じ内容のスケジュールを適用する場合、一括設定したいチャンネルをチェックボックスで指定し「スケジュールの一括設定」「高度な一括設定」を行って下さい。
- ⑥ 設定完了後、「保存」をクリックします。

（３）録画が開始されると、ライブ映像画面の右上に赤色の録画マークが表示されます。



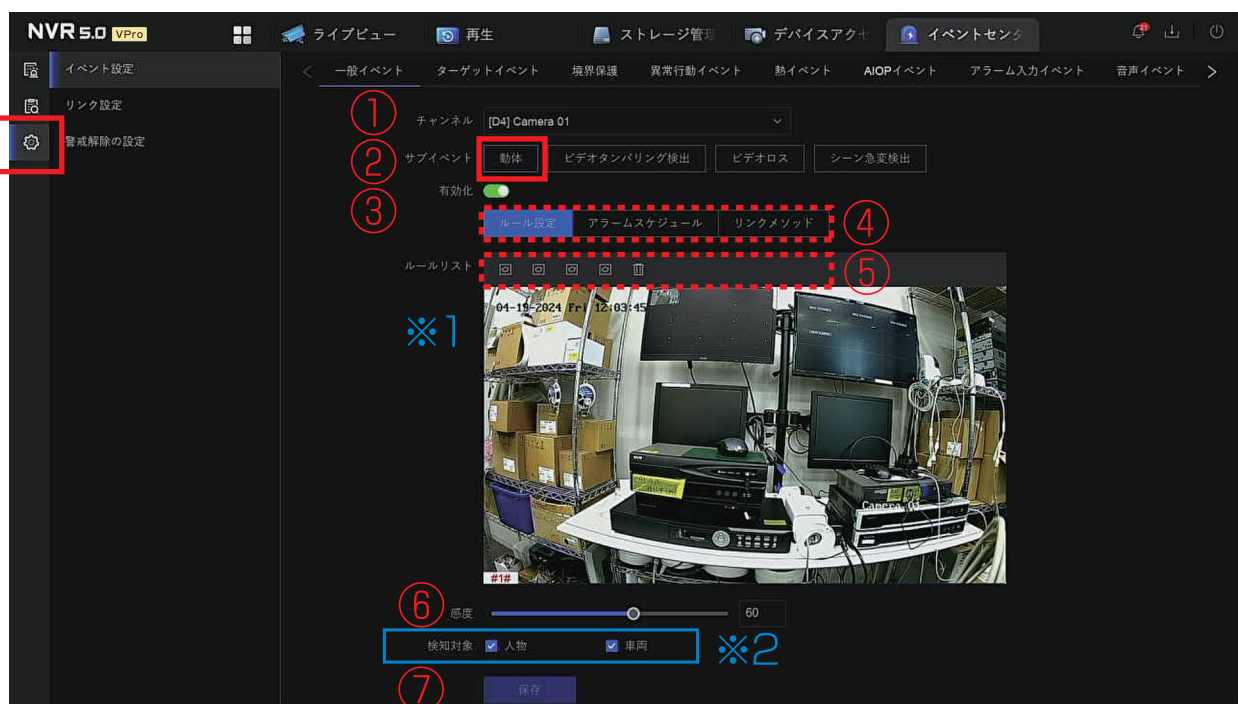
録画スケジュール設定（動体検知録画）

■ 動体検知録画の設定方法

（１）メインメニューより「イベントセンター」のアイコンを左クリックします。



（２）画面左上の  「イベント設定アイコン」をクリックします。



- ① 設定するカメラchを選択します。
- ② サブイベント「動体」を選択します。（青枠表示されます）
- ③ 「有効化」を設定（緑表示）します。
- ④ 必要に応じて処理方式を設定します。
※動きを検知した際に録画機で音を鳴らす、などの設定
- ⑤ 検知範囲を設定します。（初期値：全範囲）
- ⑥ 感度を設定します。左側が感度が低く、右側が感度が高くなります。
- ⑦ 「保存」をクリックすると完了です。

※１：接続カメラによって「赤格子」「青枠」表示、範囲指定方法が異なります。

「赤格子」ドラッグで範囲指定

「青枠」 矩形を描き範囲指定（終点は右クリック）

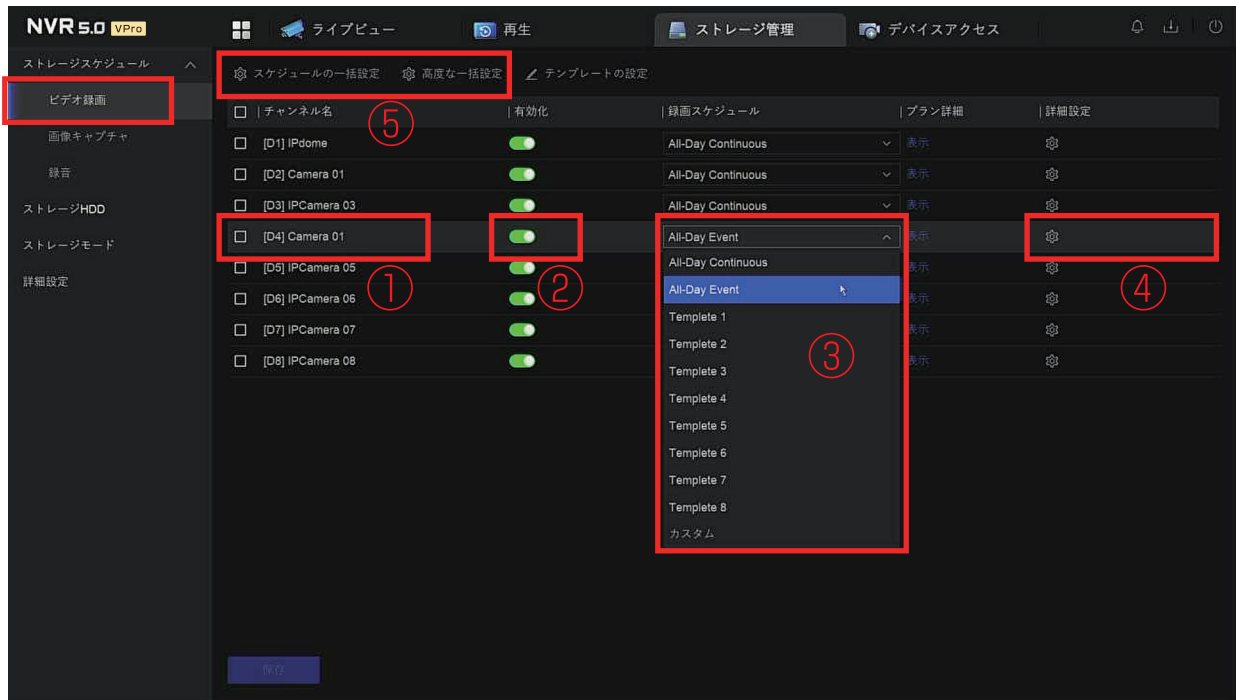
※２：検知対象「人体」「車両」はHITOCAシリーズカメラを接続した場合のみ表示されます。

録画スケジュール設定（動体検知録画）

（３）メインメニュー、もしくはタスクバーより「ストレージ管理」のアイコンをクリックします。

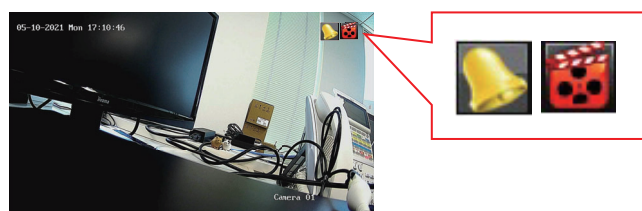


（４）「ストレージ管理」→「ストレージスケジュール」→「ビデオ録画」画面で設定を行います。



- ① 設定するカメラにチェックをいれます。
- ② スケジュール設定を行なうのに「有効化」をON（緑表示）に設定します。
- ③ 録画スケジュールを「All-Day Event（イベント録画）」を選択します。
※時間指定をしたい場合は、「カスタム」選択後「プラン詳細」にて設定ができます。
表示された画面で「イベント(録画)」ボタンを押し、タイムテーブル上をドラッグし範囲指定します。
- ④ 詳細設定を行います。
オーディオ録音/事前録画時間/事後録画時間/ストリームタイプを設定します。
- ⑤ 他のカメラに同じ内容のスケジュールを適用する場合、一括設定したいチャンネルをチェックボックスで指定し「スケジュールの一括設定」「高度な一括設定」を行って下さい。
- ⑥ 設定完了後、「保存」をクリックします。

（５）動体検知などの設定したイベントが発生した際に、ライブ映像画面の右上に赤色の録画マークが表示されます。



録画設定（パラメーター）

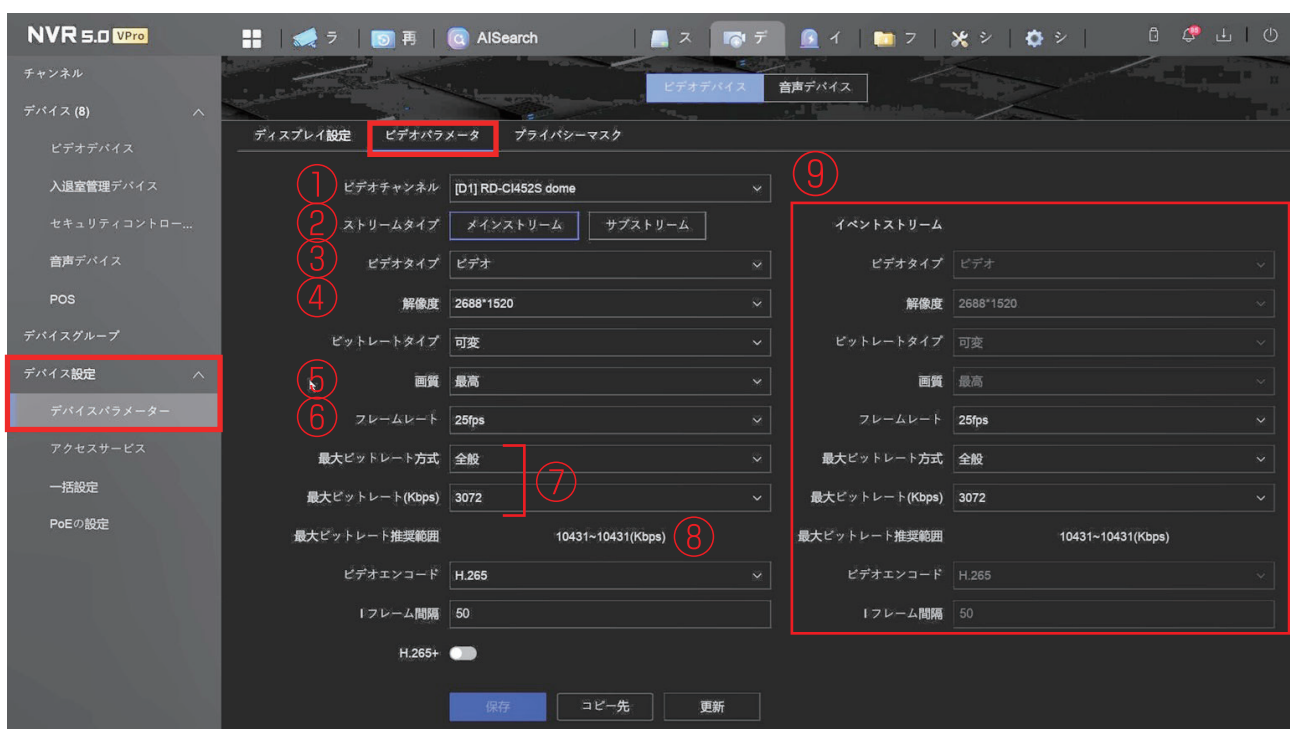
■ 録画する条件変更の設定方法

（１）メインメニュー、もしくはタスクバーより「デバイスアクセス」のアイコンをクリックします。



（２）メインストリーム設定

デバイス設定「デバイスパラメーター」→「ビデオパラメーター」を選択し、解像度、フレームレートの設定を行います。【メインストリーム】メインストリームは録画・１画面及び４分割の画面の際に使用される映像です。



- ① 設定するカメラを選択します。
- ② ストリームタイプ「メインストリーム」を選択。（青枠表示されます）
- ③ ビデオタイプを選択します。
※マイク付きカメラの場合は「ビデオ＆オーディオ」を選択します。
- ④ 解像度の設定項目です。プルダウンの中から選んでください。
- ⑤ 映像の圧縮の度合いを指定します。高くするほど圧縮率が低くなり、画質は良いままですがデータの量が増えます。
- ⑥ フレームレート（秒あたりのコマ数）の設定です。一般的に１０程度まで設定します。
- ⑦ 最大ビットレート・秒あたりのデータ量の上限を設定します。
一般的には⑧の数値の範囲内で指定します。
- ⑨ 動体検知やアラーム検知などの際の録画条件を設定します。
特に使用しない場合は、（スケジュール）と同じ設定を入力してください。

入力が完了したら、「保存」を押してください。

録画設定（パラメーター）

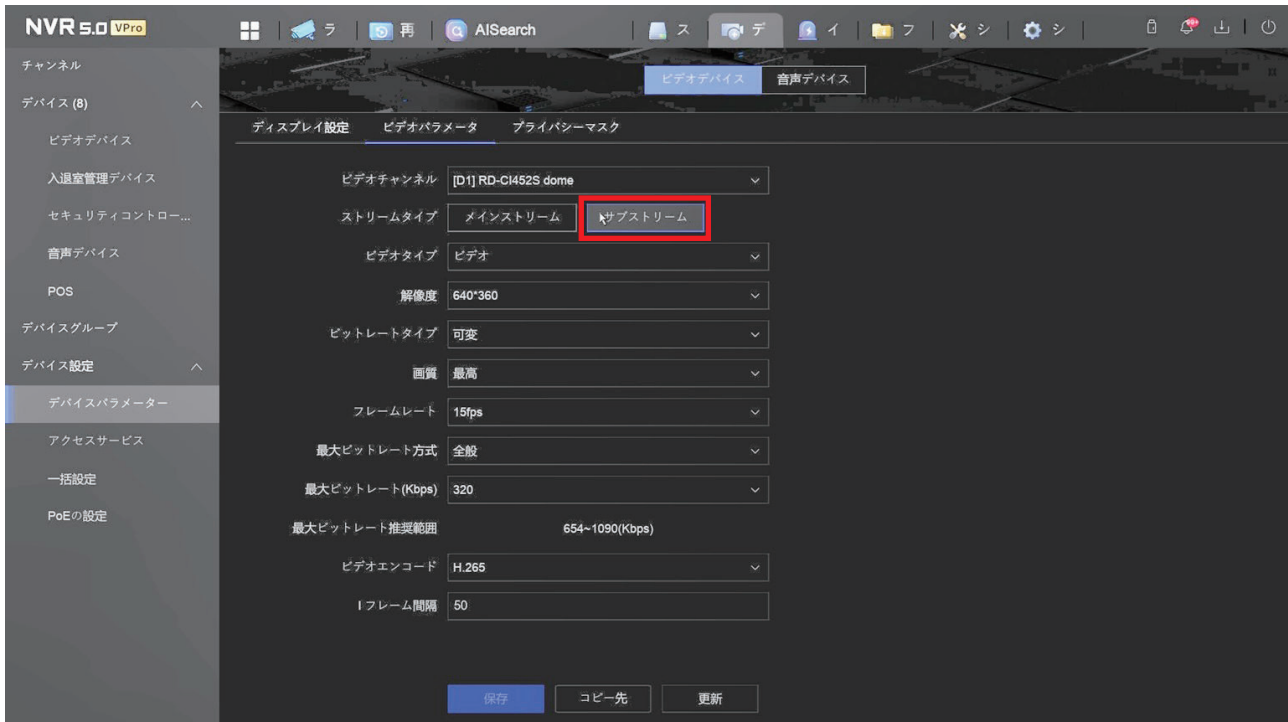
（3）サブストリーム設定

解像度、フレームレートの設定を行います。【サブストリーム】

サブストリームは4分割よりも多い分割画面の表示の際に使用される映像です。

ストリームタイプ「サブストリーム」を選択してください。

そのほかは前ページの「メインストリーム」と同じ要領で各カメラに設定します。



※レコーダーによりませんが、フレームレートはメインストリームと同じ設定にすることを推奨しています。

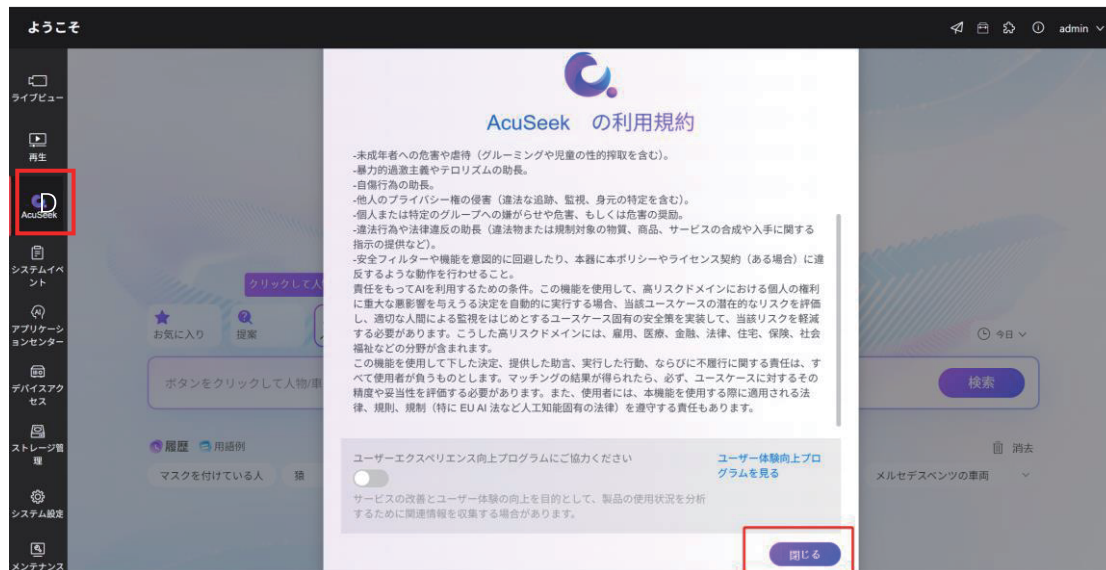
メインストリーム・サブストリームどちらも、最大ビットレート設定に注意してください。最大ビットレートの合計値の許容範囲が決められており、範囲を超えて設定された場合、映像が表示されないなどの症状が発生する場合がございます。

画面上に「No Resource」と表示されて映像が出ない場合は、この最大ビットレート設定が理由の場合が多いので、表示された場合はメインストリーム、サブストリームの設定を見直してください。

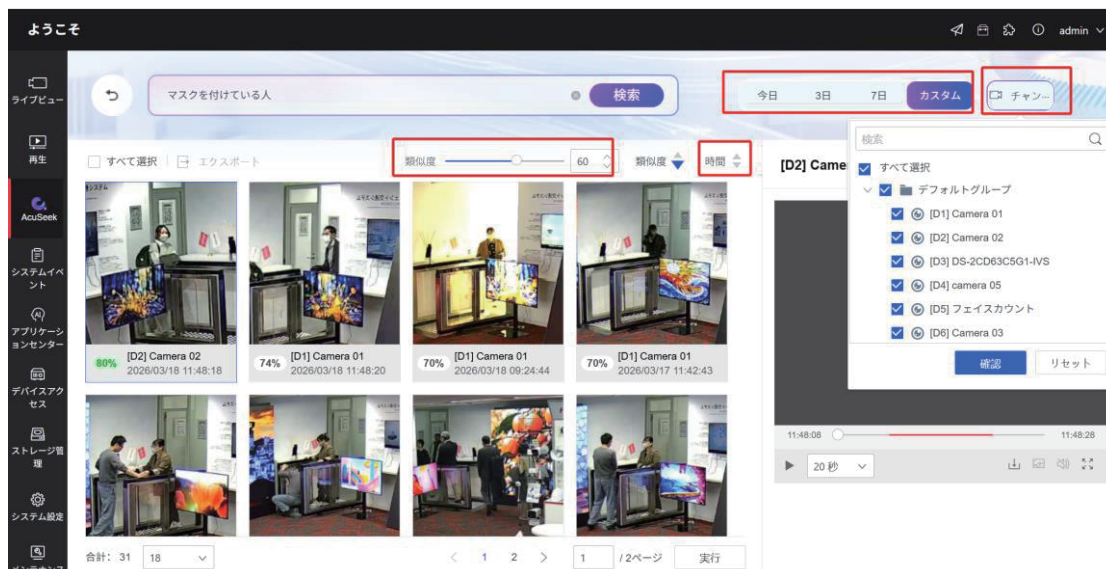
最大ビットレートの範囲は、「推奨範囲」以下の設定も可能です。ただし、この設定を行った場合、データ容量は少なくなりますがノイズなどが発生し、本来の解像度の効果を発揮できない可能性があります。

AI (AcuSeek機能) の設定および利用方法

(1) 利用規約を確認し「閉じる」を押します。

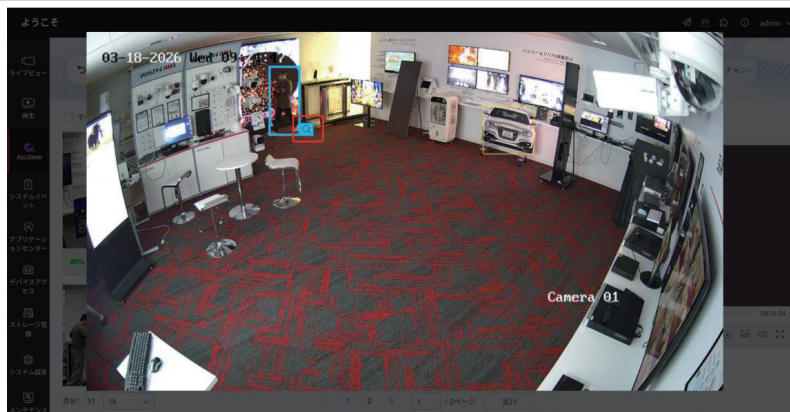
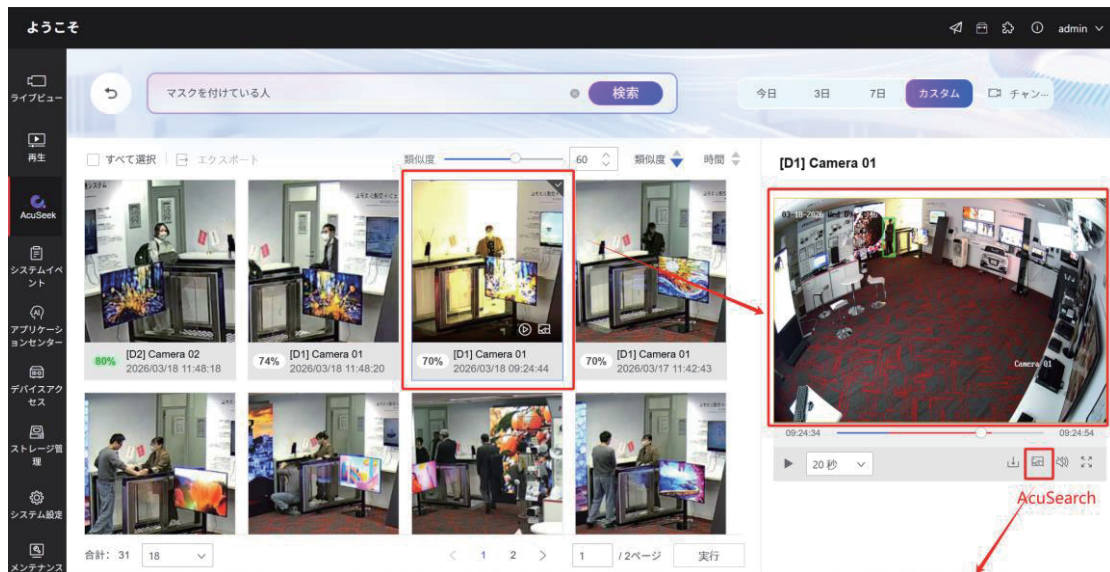


(2) 検索期間、類似度、該当チャンネルなどを調整し、検索することができます。また、「時間」をクリックすることで、検索結果を時間順で並べることも可能です。

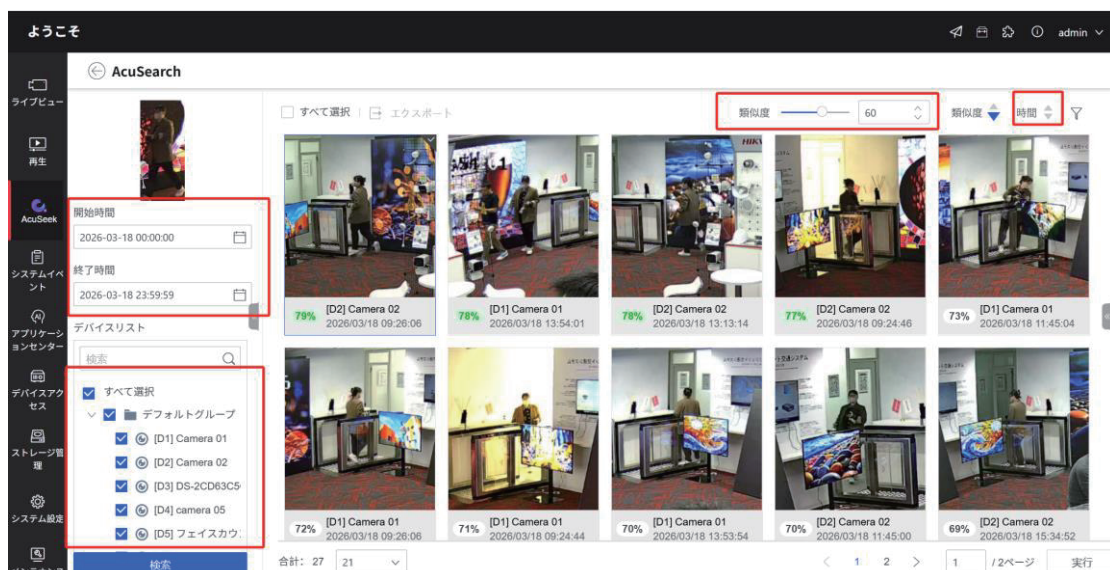


AI (AcuSeek機能) の設定および利用方法

(3) 任意の検索結果をクリックし、右側で録画を見ることができます。さらに、録画の再生画面から該当ターゲットに対し、AcuSearch機能を利用することも可能です。

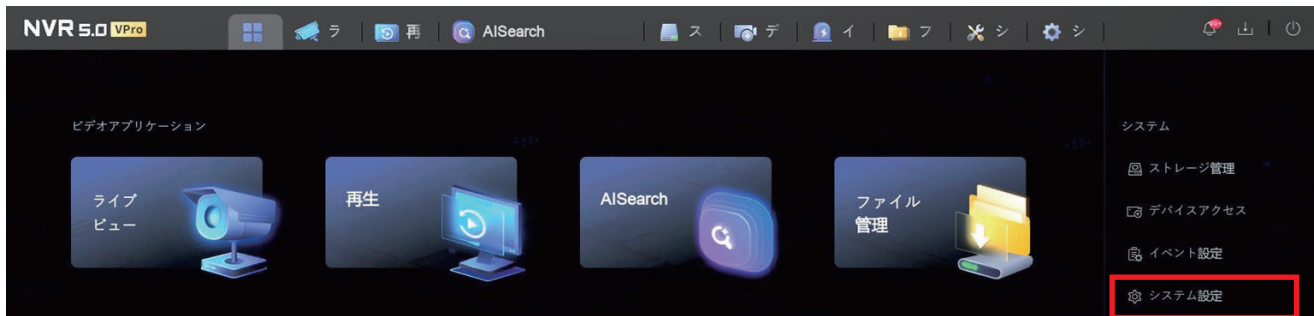


(4) 該当人物または車両のすべての映像が表示され、類似度を調整するか、時間順で並べるかが選べます。または左側に録画時間／期間とチャンネルでフィルタリングもできます。



NVRのネットワーク設定方法

(1) メインメニューより「システム設定」を選択します。

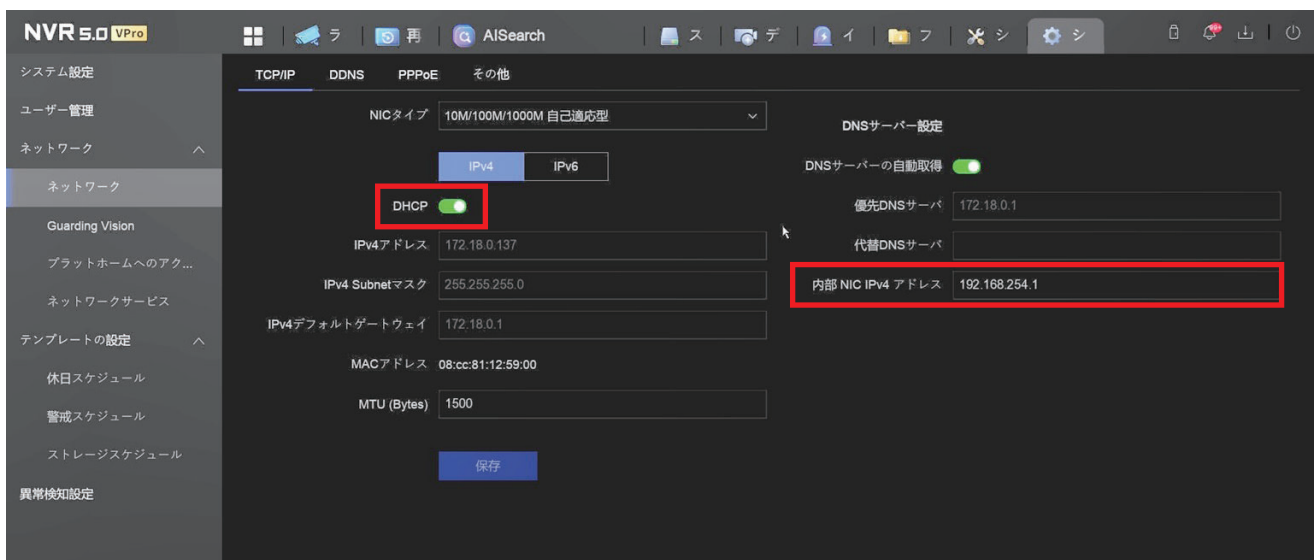


(2) 左側メニューのネットワークをクリックし表示される「ネットワーク」を左クリックします。

- ① DHCPを有効に設定します。※ボタンを右側に設定（緑表示）します。
- ② 「保存」を左クリックすると、各項目が自動的に入力されます。
- ③ DHCPを無効に設定します。※ボタンを左側に設定（グレー表示）します。
- ④ 「保存」を左クリックします。

(3) NVRに設定するIPアドレスが決まっている場合、IPアドレス・サブネットマスク等の手動設定を行ってください。また、「内部NIC IPV4アドレス」とは、NVR背面の内蔵PoEポート側のIPアドレスになります。

内蔵PoEポートにプラグアンドプレイでカメラを繋いでいる場合、このセグメントのIPアドレスがカメラに自動的に付与されます。



(4) 設定が終了しましたら「保存」をクリックすると、完了です。

PCから閲覧する時のPC設定手順

ネットワークに接続されたWEBブラウザを使用して、映像の閲覧ができます。

■対応ブラウザ（Edge / Chrome / Edge<IEモード>）

※事前に「ネットワーク」の設定、プラグインのインストールを行う必要があります。

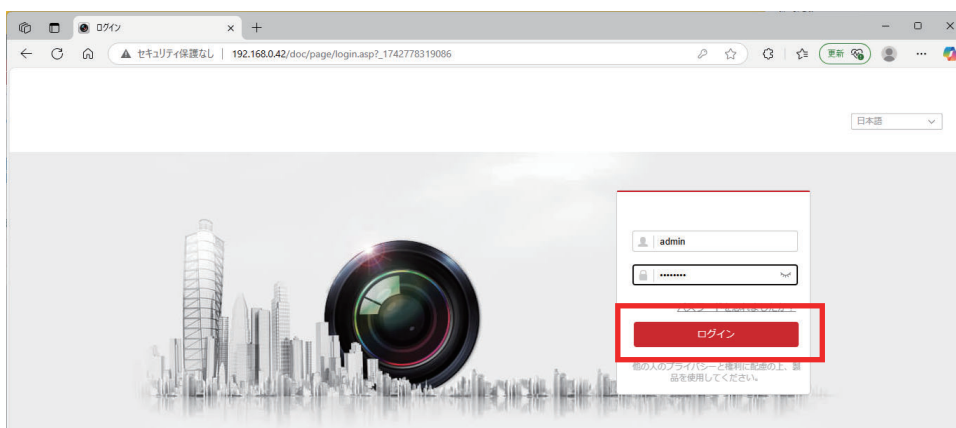
※同一ネットワーク（LAN）内のPCからのみ。

ネットワーク外部のPCから接続する場合は、ポート開放の設定が必要です。

(1) Microsoft Edgeを起動します。



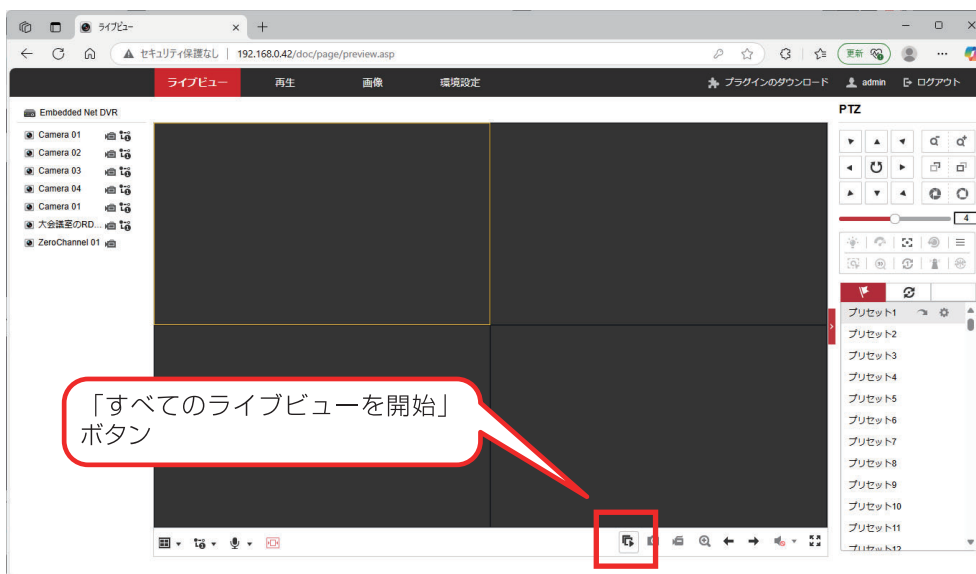
(2) アドレスバーへDVRへ設定したIPアドレスを入力するとログイン画面が表示されます。
DVRへ設定したIDとパスワードを入力し「ログイン」ボタンを押してください。



(3) ライブビュー画面が表示されます。

「すべてのライブビューを開始」ボタンを押すと接続カメラの映像を表示します。

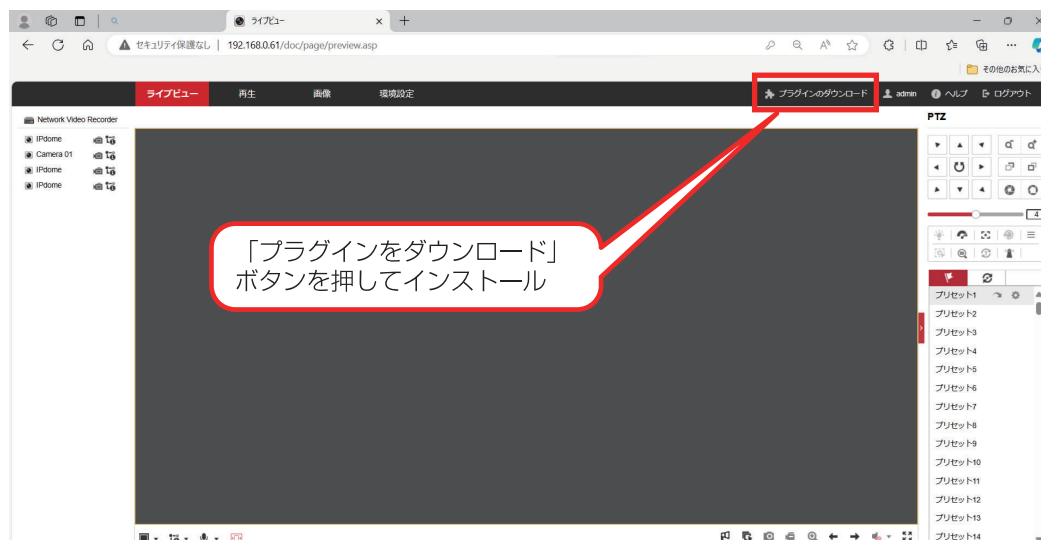
※プラグインのインストール手順は次ページを参照してください。



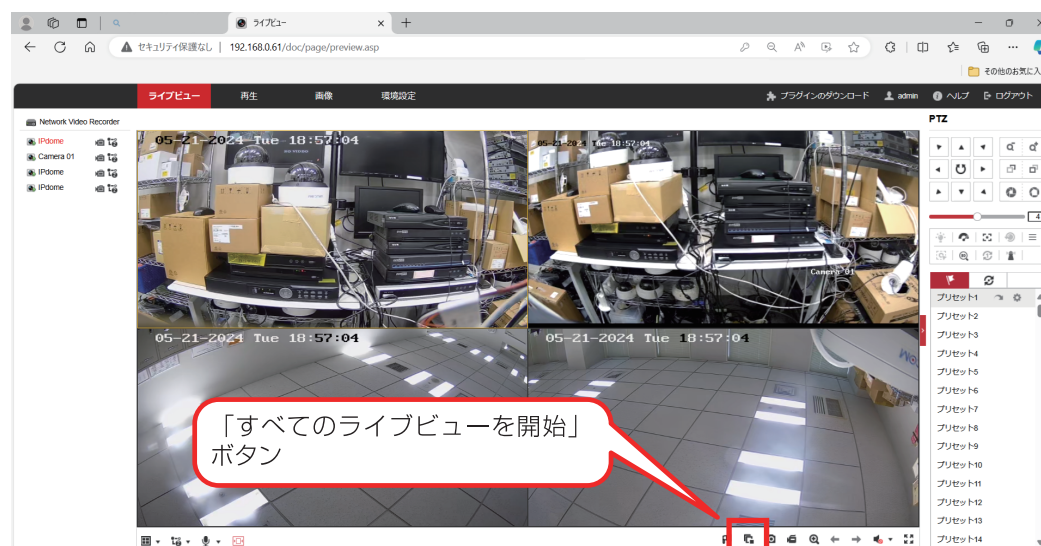
プラグインのインストール

ブラウザで接続カメラの映像を見るにはプラグインのインストールが必要です。
下記の手順でインストールを行って下さい

(1) NVRへ接続～ログイン後、画面右上に表示される「プラグインをダウンロード」ボタンを押し、お使いのPCへプラグインのインストールを行って下さい。



(2) インストール完了後、PCの再起動を行って下さい。起動後、接続画面の「すべてのライブビューを開始」ボタンを押すと接続カメラの映像を表示します。



■映像が表示されない場合

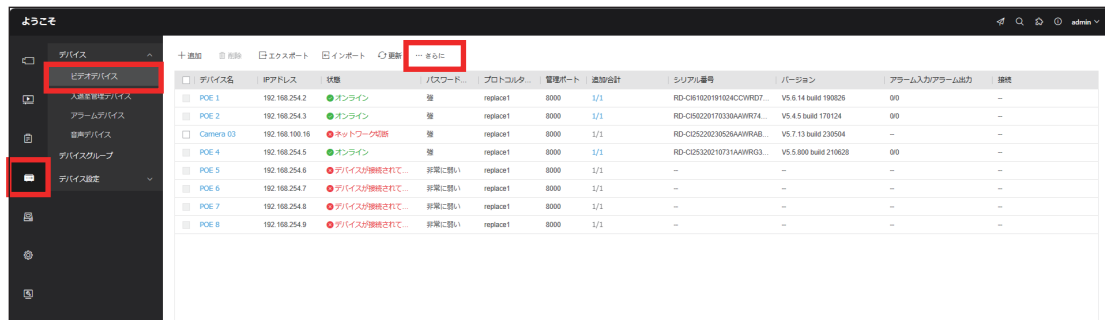
- ・「プラグインをダウンロード」ボタンを押しインストールを行ってください。
(インターネットに接続された環境下でダウンロードを行ってください。)
- ・プラグインインストール後は、PCの再起動を行ってください。
※PC起動時(もしくは再起動時)に、インストールしたプラグインを許可するかメッセージが表示されます。その場合は「許可する」を選択してください。

仮想ホスト(バーチャルホスト)機能

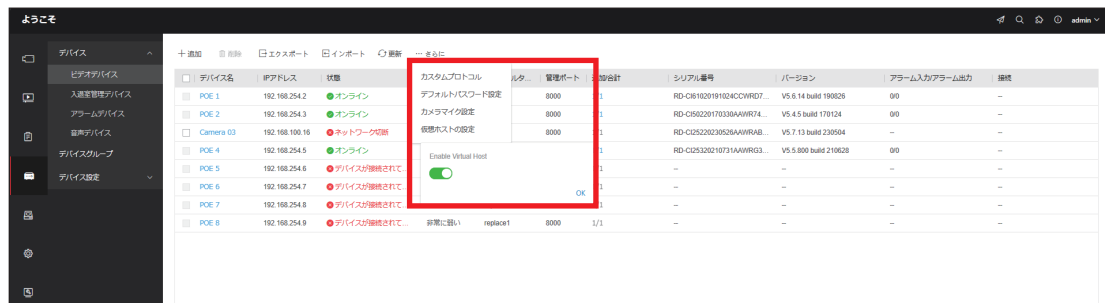
レコーダーを介して、接続したカメラの設定メニューの確認・変更を行うことができます。
下記の手順で設定をおこなってください。

※PCからブラウザを使用して、NVRへ接続した時のみ使用できる機能です。
※NVR本体での設定項目はありません。

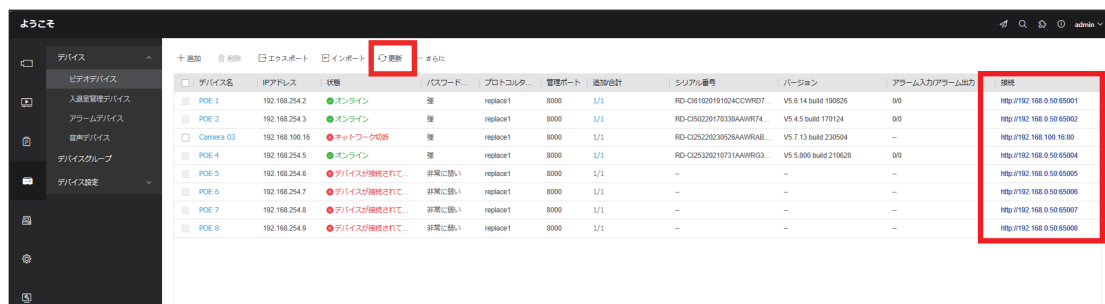
(1) 左メニュー「デバイスアクセス」>「ビデオデバイス」画面より「…さらに」を左クリックします。



(2) プルダウンメニューから「仮想ホスト」を選択し、バーチャルホストの設定を有効に設定（緑表示）し、「OK」ボタンを押します。



(3) 「更新」ボタンをクリックすると、「接続」項目へ各カメラの接続リンクが表示されます。リンクをクリックし個別のカメラへ接続ができます。



スマートフォンからの接続

スマホアプリ「Guardind Vision」(無料)にて、遠隔地から映像確認を行なえます。
下記の弊社HP (FAQサイト) にて手順をご参照ください。

■【GuardingVisionの使い方】RD-RN/RD-RV/RD-RXシリーズ
PC(ブラウザ)、スマホから接続手順をご確認いただけます。

①PC (ブラウザ) にて接続手順を確認したい場合は、下記リンクへアクセスしてください。
https://www.arucom.com/support/after/recoder-after/rd-rv30s/qrcodeaccess_rn-rv

②スマホから接続手順(静止画手順、動画手順)を確認したい場合は、右のQRコードを読み込み手順をご参照ください。

<静止画>



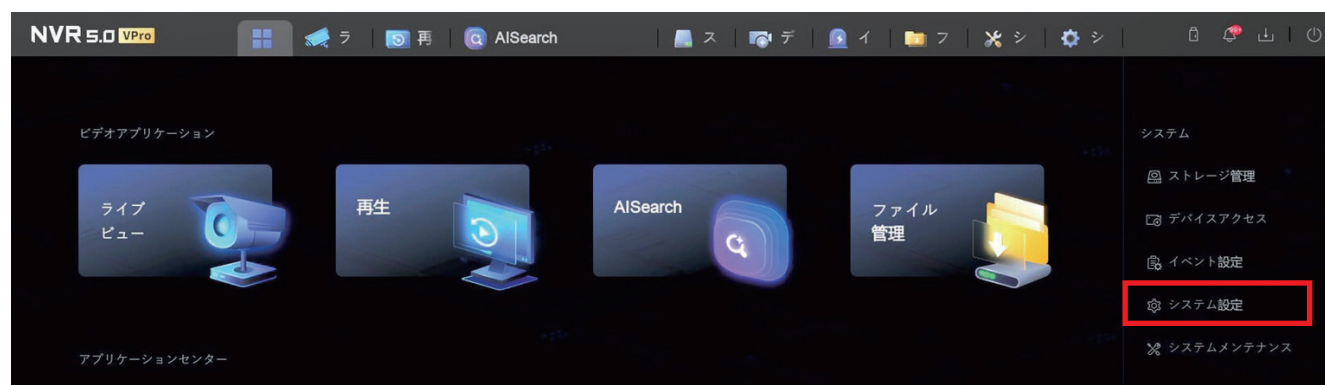
<動画>



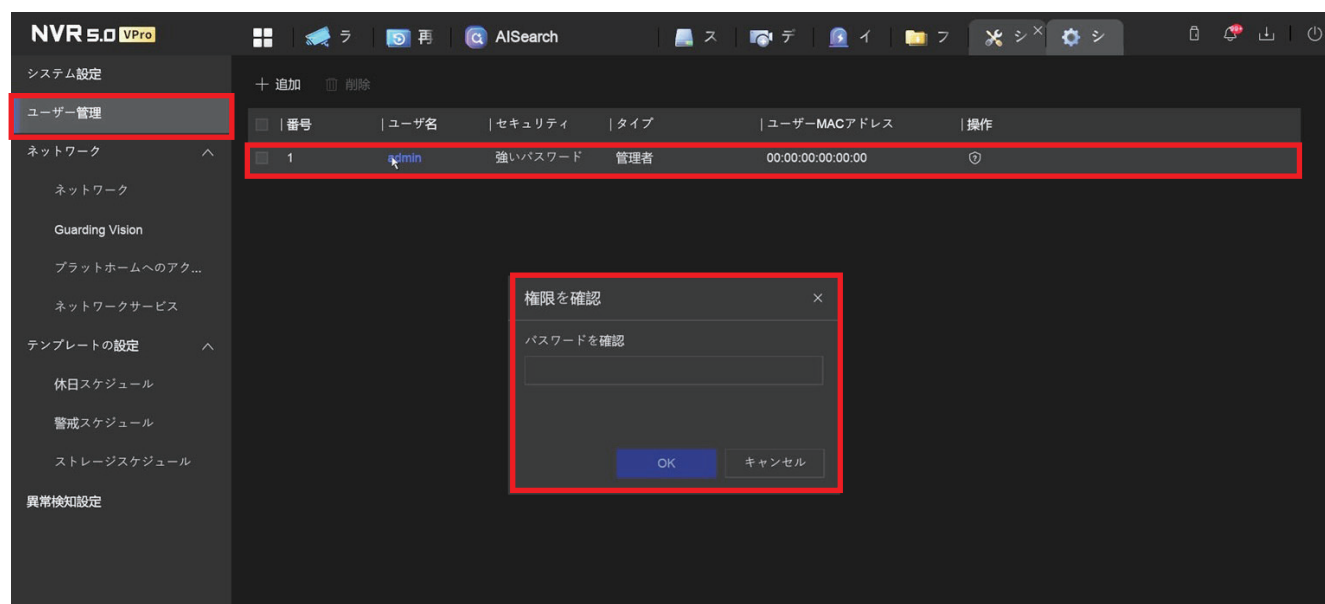
NVRのパスワード設定

■ NVRのパスワード変更方法

(1) メインメニューより「システム設定」を選択します。



(2) 左メニュー「ユーザー管理」を選択し、パスワード変更したい「ユーザー名」をクリックしてください。権限確認でパスワード入力すると編集画面(3)画面が表示されます。



NVRのパスワード・ロックパターン変更

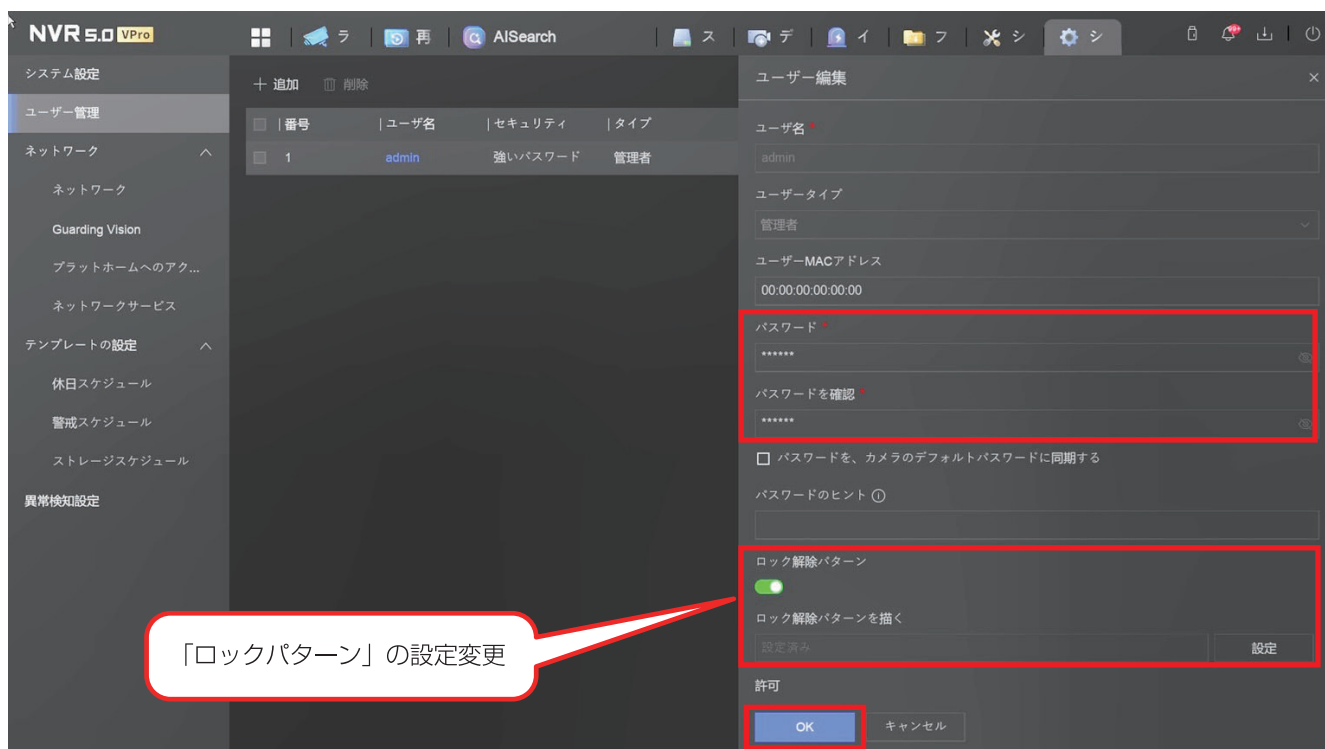
(3) 「パスワード」および「パスワードを確認」の項目で、新しく設定したいパスワードを2度入力してOKを押すと、変更が完了します。

※リスクのあるパスワードは許可されていません。
下記、注意点をお読みいただき設定を行なってください。

- ◎8文字以上～16文字以内で設定してください。
- ◎数字/大文字/小文字/特殊文字のうち、少なくとも2つを含む必要があります。

<注意：（次の文字列は使用できません）>

- ・ユーザー名/admin/123
- ・連続的に増減する4桁以上の数字
- ・連続した4個以上の文字



■ ロックパターンの設定変更

(1) 前項、パスワード変更画面（ユーザー編集）画面にて、「ロック解除パターン」の設定をON（緑表示）に設定し、「設定」ボタンを押すとロックパターンの変更を行うことができます。

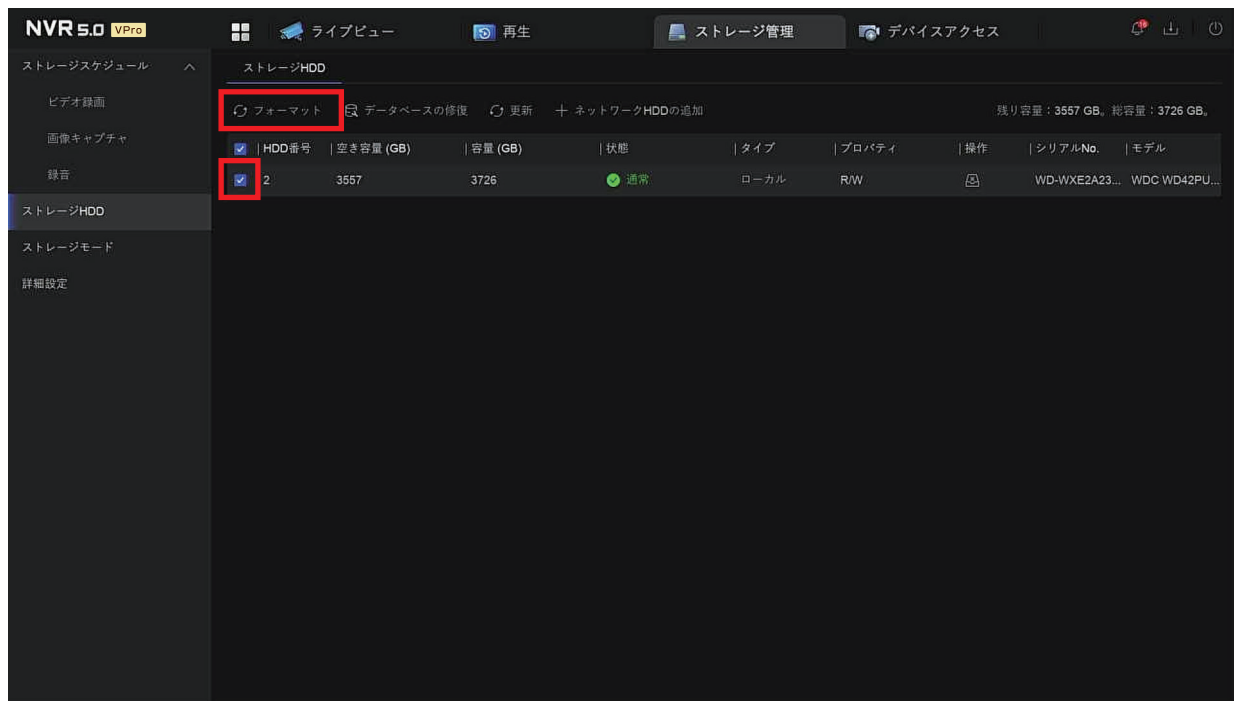
HDD初期化方法

■ HDD初期化方法

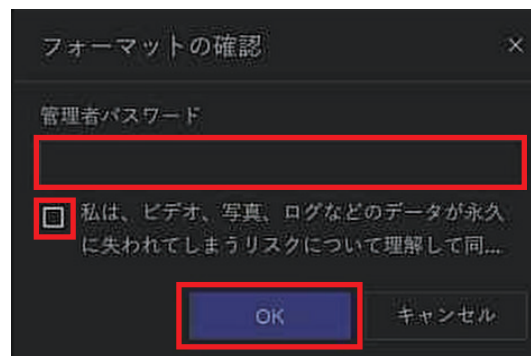
(1) メインメニュー、もしくはタスクバーより「ストレージ管理」のアイコンをクリックします。



(2) 初期化したいHDDのチェックボックスを左クリックして、上部の「フォーマット」を左クリックすると確認画面が表示されます。



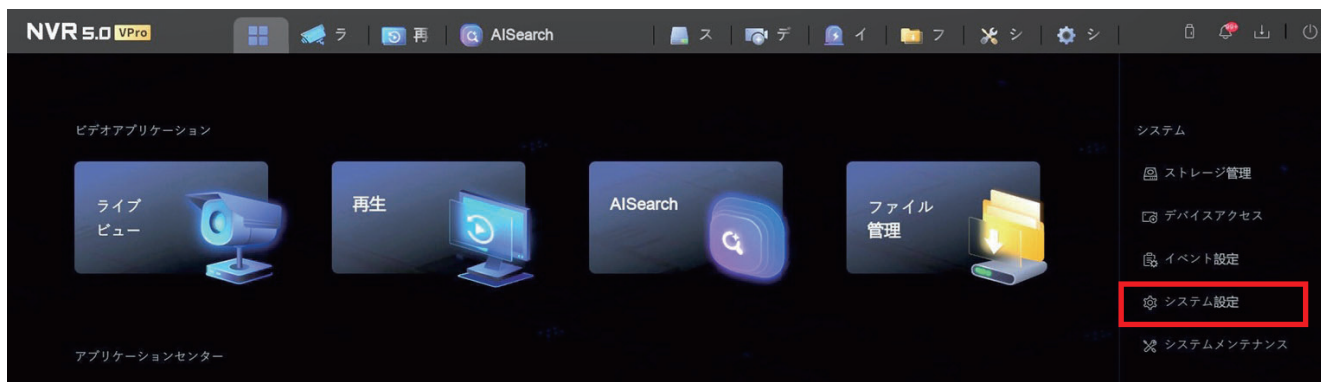
(3) 管理者パスワードを入力、またデータ削除についての承諾事項にチェックを入れ「OK」ボタンを押すとフォーマットが始まります。



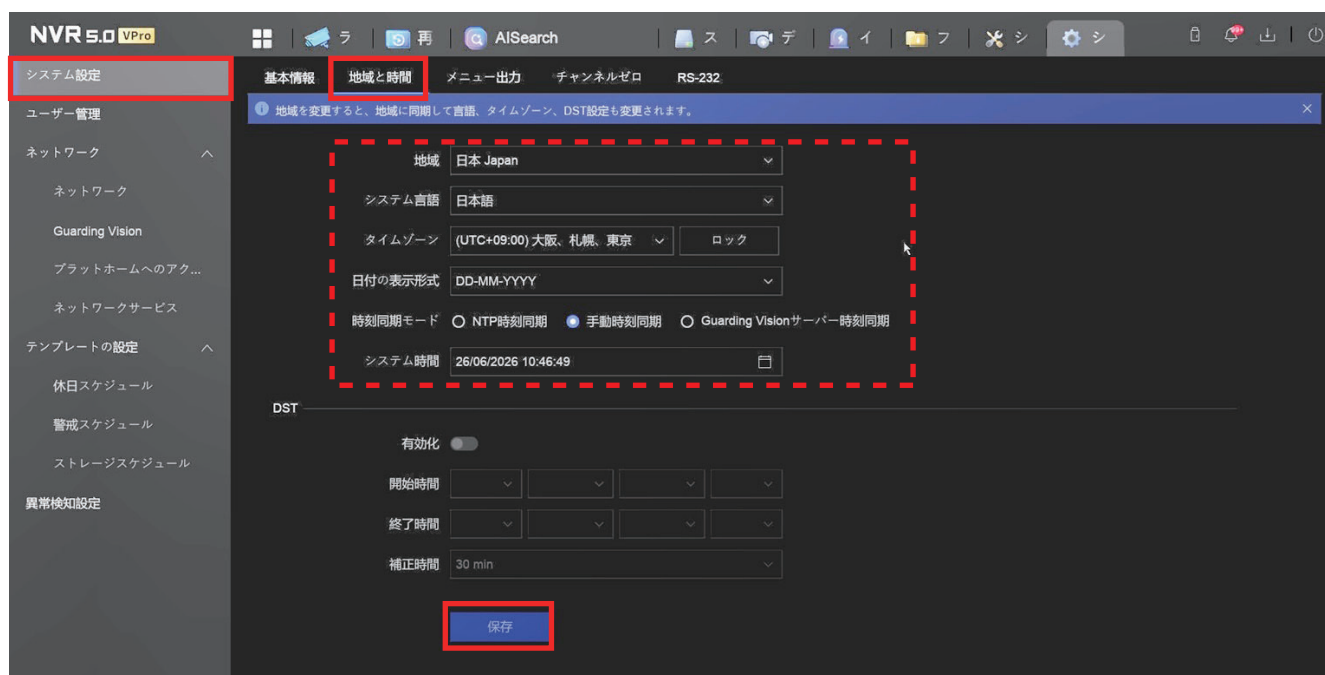
時計の設定方法

■ 時計の設定方法

(1) メインメニューより「システム設定」を選択します。



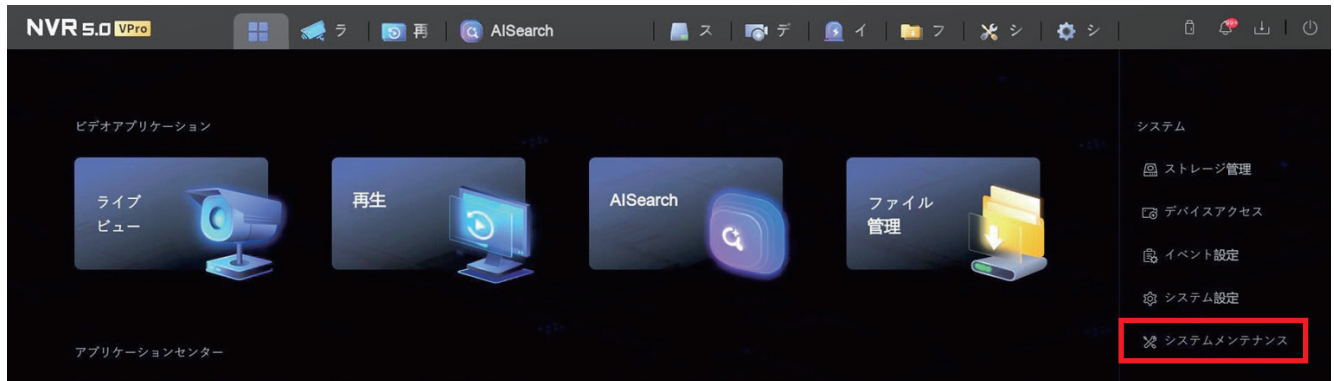
(2) 左メニュー「システム設定」→「地域と時間」を選択すると、各数値が変更可能となります。修正後、「保存」を押すと完了です。



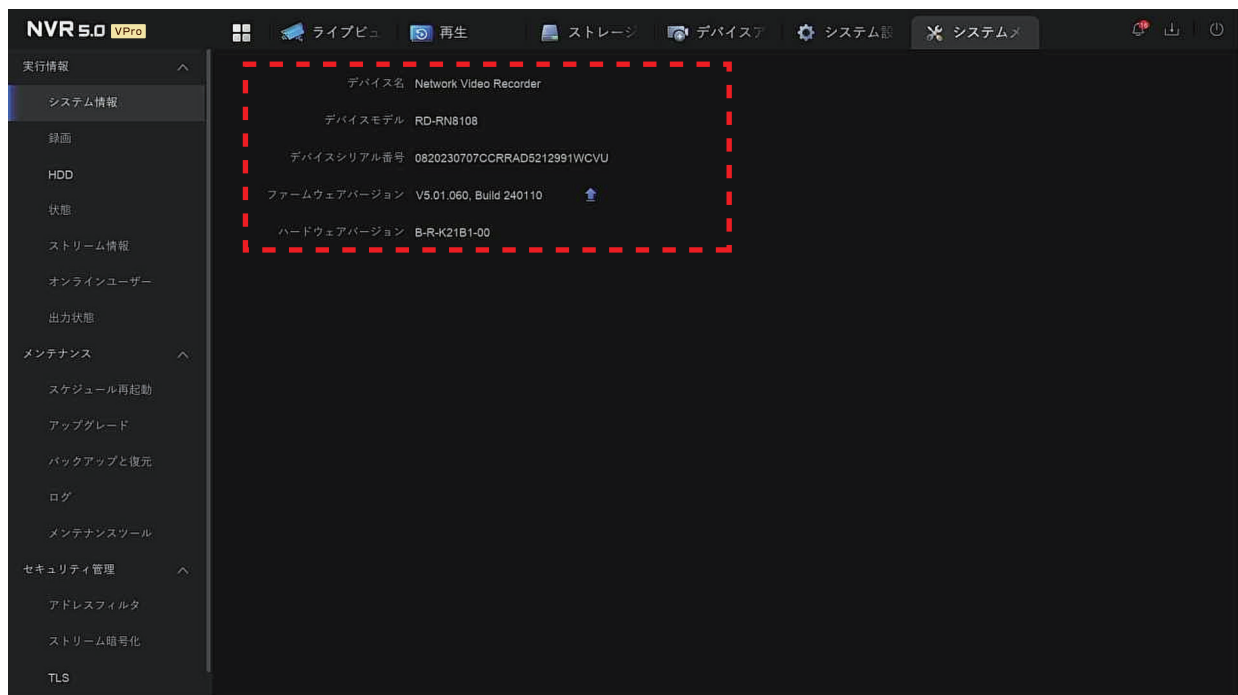
モデル・ファーム確認方法

■ モデルやファームウェアバージョンの確認方法

(1) メインメニューより「システムメンテナンス」を選択します。



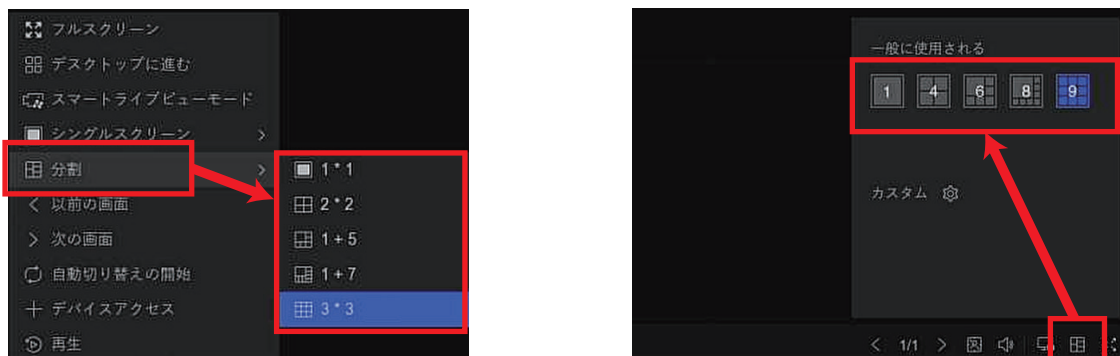
(2) 赤枠内にて、モデルやファームウェアのバージョン番号などが表示されますので、お問い合わせの際などにご確認ください。



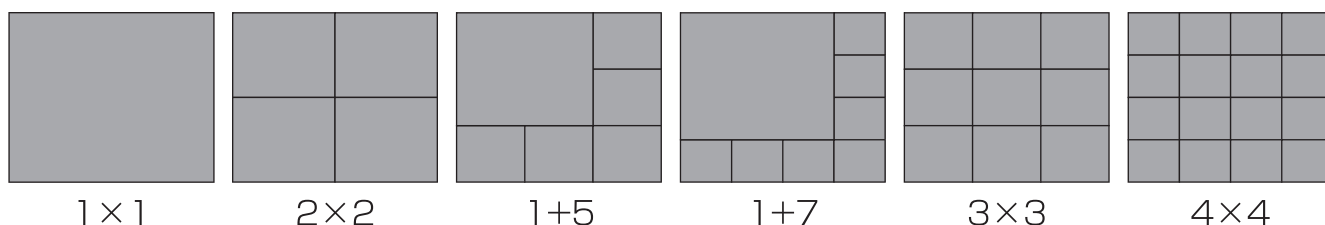
ライブ表示画面の変更、プライバシーマスク設定

■ ライブ表示画面の変更方法

(1) ライブビュー画面上でマウスを右クリック、もしくは画面右下にある  分割アイコンをクリックすることで変更することができます。

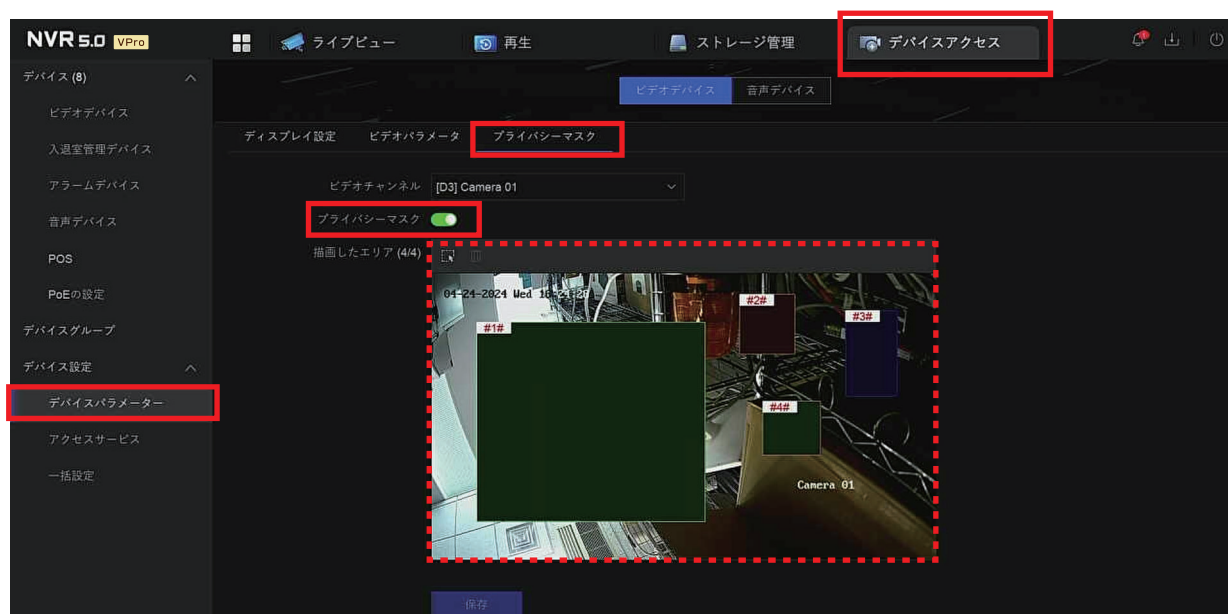


※設定の種類はch数によって変わりますが基本的な組み合わせは下記になります。



■ ライブ画面のプライバシーマスク設定方法

(1) メインメニュー > デバイスアクセス > デバイスパラメータ > プライバシーマスク画面にて設定ができます。



プライバシーマスク設定をON（緑表示）にすると、ライブビュー画面にて範囲指定箇所を非表示にした状態で表示します。

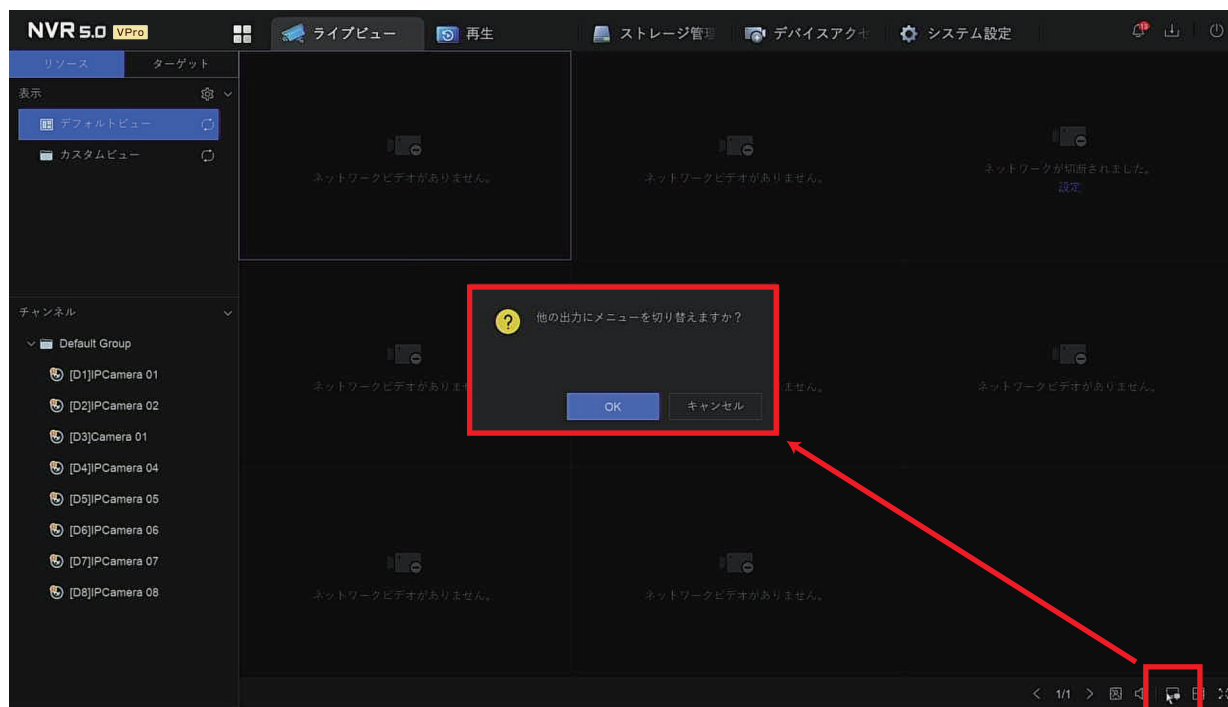
※マスクは最大4か所で、録画もマスクされた状態で録画されます。

メインモニタ出力切替

■ メインモニタの出力切替

HDMIモニターとVGAモニターを同時接続しているときに、どちらをメインモニターにするか、出力切替の設定ができます。※通常はメインモニターにのみマウスカーソルが表示されNVRの操作が可能です。

(1) ライブビュー画面の右下にある  出力切替アイコンをクリックすることで変更することができます。



<注意点>

モニターを1台しか接続していない時に、出力切替を行なうとマウスカーソルが表示されず、NVRの操作・設定ができなくなります。

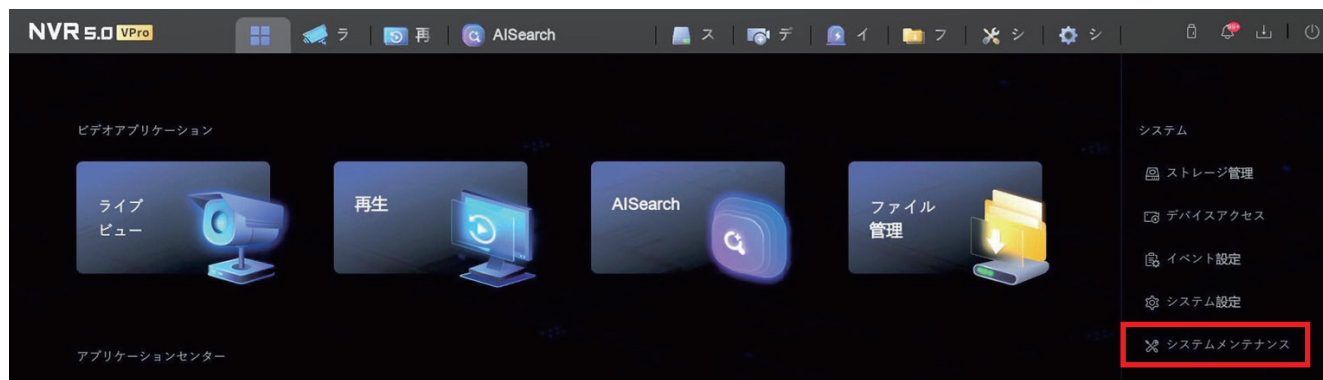
その場合はマウスホイールを「ダブルクリック」すると再度「出力切替」が行えます。



ログの確認方法

■ システムログの確認方法

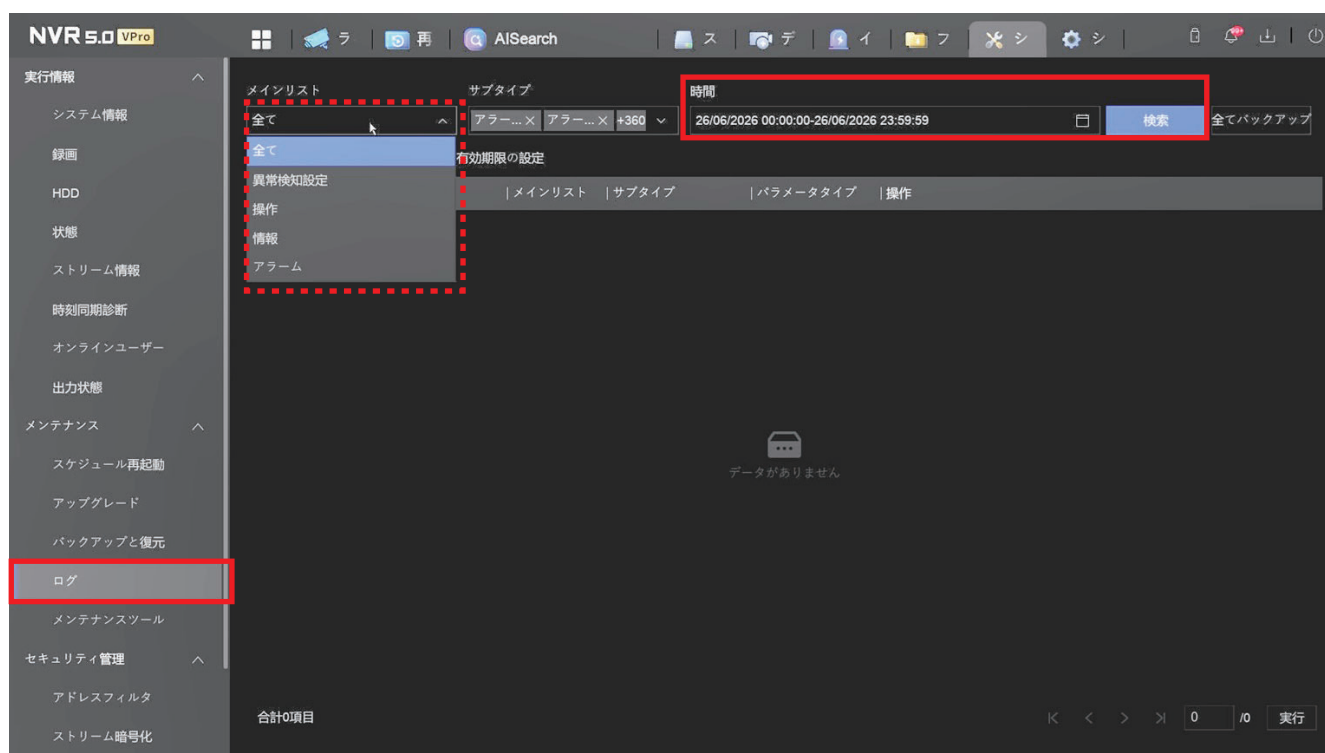
(1) メインメニューより「システムメンテナンス」を選択します。



(2) 左メニューより「ログ」をクリックします。

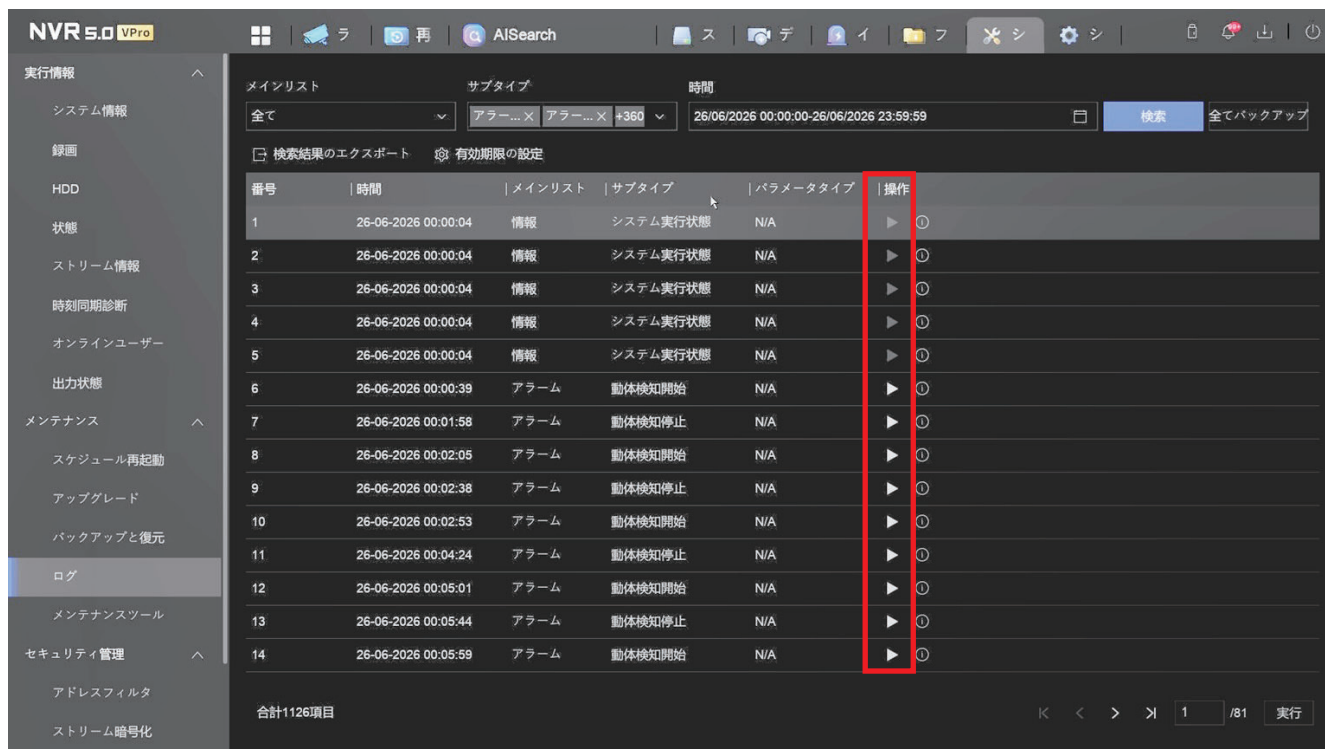
ログの検索範囲（日時）を指定して検索ボタンをクリックします。

※メインリストやサブタイプから確認したいログを絞り込んで選択することができます。



ログの確認方法

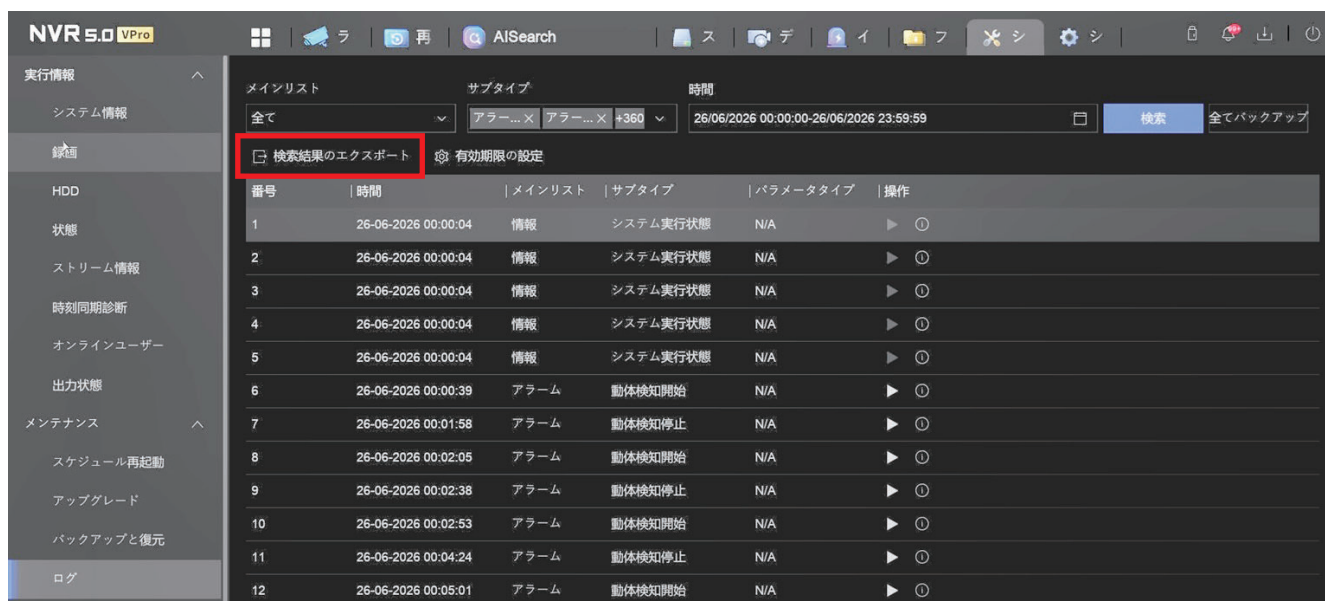
(3) 下記のようにログが表示されます。(ログは一度に2,000件までしか表示できません)
操作の項目に  アイコンがある場合は、クリックする事でその時の映像が表示されます。
また、 アイコンをクリックするとログの詳細を確認できます。



The screenshot shows the NVR 5.0 VPro interface. On the left is a sidebar with various system information and maintenance options. The main area displays a table of logs. The table has columns for '番号' (Number), '時間' (Time), 'メインリスト' (Main List), 'サブタイプ' (Sub Type), 'パラメータタイプ' (Parameter Type), and '操作' (Operation). The '操作' column is highlighted with a red box, showing play and info icons for each log entry. The logs are filtered by 'サブタイプ' (Sub Type) as 'アラーム' (Alarm) and 'パラメータタイプ' (Parameter Type) as 'N/A'. The table shows 14 log entries, with a total of 1126 items at the bottom.

番号	時間	メインリスト	サブタイプ	パラメータタイプ	操作
1	26-06-2026 00:00:04	情報	システム実行状態	N/A	▶ ⓘ
2	26-06-2026 00:00:04	情報	システム実行状態	N/A	▶ ⓘ
3	26-06-2026 00:00:04	情報	システム実行状態	N/A	▶ ⓘ
4	26-06-2026 00:00:04	情報	システム実行状態	N/A	▶ ⓘ
5	26-06-2026 00:00:04	情報	システム実行状態	N/A	▶ ⓘ
6	26-06-2026 00:00:39	アラーム	動体検知開始	N/A	▶ ⓘ
7	26-06-2026 00:01:58	アラーム	動体検知停止	N/A	▶ ⓘ
8	26-06-2026 00:02:05	アラーム	動体検知開始	N/A	▶ ⓘ
9	26-06-2026 00:02:38	アラーム	動体検知停止	N/A	▶ ⓘ
10	26-06-2026 00:02:53	アラーム	動体検知開始	N/A	▶ ⓘ
11	26-06-2026 00:04:24	アラーム	動体検知停止	N/A	▶ ⓘ
12	26-06-2026 00:05:01	アラーム	動体検知開始	N/A	▶ ⓘ
13	26-06-2026 00:05:44	アラーム	動体検知停止	N/A	▶ ⓘ
14	26-06-2026 00:05:59	アラーム	動体検知開始	N/A	▶ ⓘ

(4) バックアップデバイス (USBメモリ) をNVR本体USB接続口へセットし、下記画面で「検索結果のエクスポート」をクリックすると、ログを取り出すことができます。



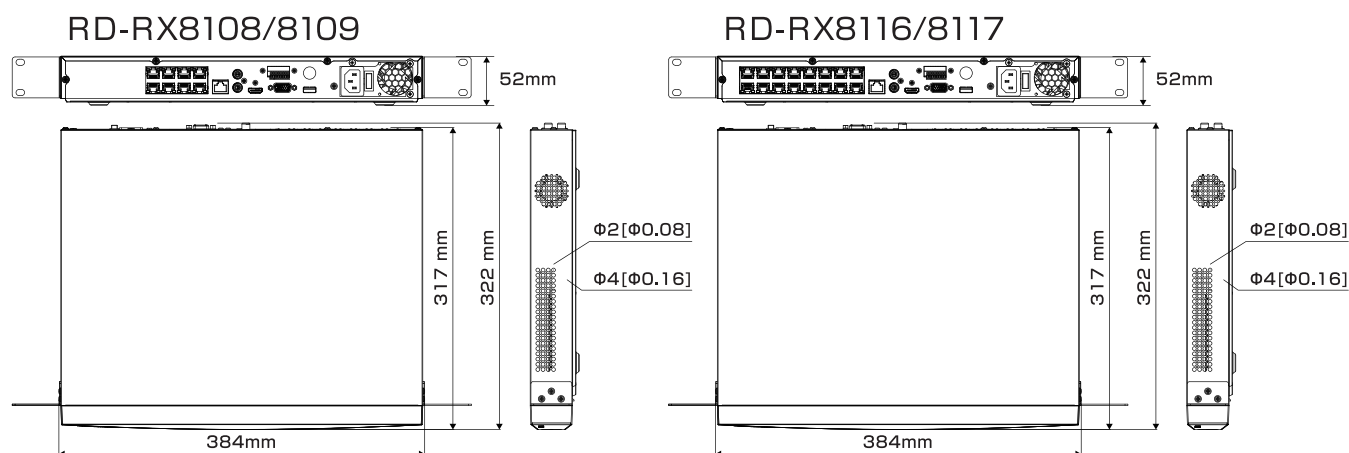
The screenshot shows the NVR 5.0 VPro interface. The '検索結果のエクスポート' (Export Search Results) button is highlighted with a red box. The interface is similar to the previous screenshot, but the '操作' (Operation) column is not highlighted. The table shows 12 log entries, with a total of 1126 items at the bottom.

番号	時間	メインリスト	サブタイプ	パラメータタイプ	操作
1	26-06-2026 00:00:04	情報	システム実行状態	N/A	▶ ⓘ
2	26-06-2026 00:00:04	情報	システム実行状態	N/A	▶ ⓘ
3	26-06-2026 00:00:04	情報	システム実行状態	N/A	▶ ⓘ
4	26-06-2026 00:00:04	情報	システム実行状態	N/A	▶ ⓘ
5	26-06-2026 00:00:04	情報	システム実行状態	N/A	▶ ⓘ
6	26-06-2026 00:00:39	アラーム	動体検知開始	N/A	▶ ⓘ
7	26-06-2026 00:01:58	アラーム	動体検知停止	N/A	▶ ⓘ
8	26-06-2026 00:02:05	アラーム	動体検知開始	N/A	▶ ⓘ
9	26-06-2026 00:02:38	アラーム	動体検知停止	N/A	▶ ⓘ
10	26-06-2026 00:02:53	アラーム	動体検知開始	N/A	▶ ⓘ
11	26-06-2026 00:04:24	アラーム	動体検知停止	N/A	▶ ⓘ
12	26-06-2026 00:05:01	アラーム	動体検知開始	N/A	▶ ⓘ

製品仕様

型番	RD-RX8108 / RD-RX8109	RD-RX8116 / RD-RX8117
録画解像度	32MP/8MP/4MP/3MP/1080p ※ネットワークカメラに寄る	
録画記録方式	H.265/H.265+/H.264/H.264+/MPEG4	
映像入力	LANポート8ch	LANポート16ch
映像出力	HDMI×1、VGA×1	
分割表示	全画面、4分割、9分割	全画面、4分割、9分割、16分割
同時表示数	4K画質の場合同時に8画面まで、Full HD画質の場合は接続台数分の表示が可能	
音声入力/出力	1入力(RCA) / 1出力(RCA)	
内蔵HDD容量	4TB/8TB	
録画モード	自動録画、手動録画、スケジュール録画、センサー録画、モーション録画	
バックアップ方法	USBフラッシュメモリー、HDD	
アラーム入力/出力	なし	
アラーム検出	なし	
モーション/ビデオロス	検知機能あり	
上書き機能	あり	
対応OS	Windows10・Windows11	
リモート操作	ライブ監視、再生、録画、システム設定	
モバイル監視	iPhone/iPad/Android	
対応アプリ	Guarding Vision	
外形寸法/重量	約384 (幅) × 322 (奥行) × 52 (高さ) mm / 約4kg (HDD未装着時)	
動作環境温度/湿度	-10度～55度/湿度:10～90% ※結露しないこと	
電源(PoE未使用時)	AC100V(付属ケーブル)/約50W(PoE未使用時)	
電源(PoE使用時)	電源容量120W	電源容量180W
付属品	取扱説明書、電源アダプター、HDMIケーブル、USBマウス、LANケーブル	

■ 外形寸法図(単位:mm)



本製品は下記 URL に掲載されている特許の
1つ以上の請求項の権利範囲に含まれています。
patentlist.accessadvance.com

故障かな?と思ったら

■電源が瞬断した場合

録画スピードや時刻が変化することがありますが、これは異常ではありません。
また、再生は停止しますが録画は電源が復帰するとふたたび録画状態になります。

■システムダウン

もし、まったく動作しなくなったときは、次の手順で確認してください。

- ① 電源を入切する。
- ② ①を繰り返しおこなっても動作しないときは、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

症状	原因	処置のしかた
電源が入らない	電源コンセントが外れている	確実にコンセントに差し込む ACアダプターの繋ぎめの確認
	ACアダプターの通電不良	レコーダーに接続していない状態でACアダプター単体のランプが点灯しているか確認
モニタに映像が出ない	解像度があっていない	設定にてモニター解像度の変更が可能です。
録画できない	ハードディスクが認識していない	ハードディスクの交換修理が必要です。
モーション録画ができない	設定の一部が間違っている	設定の見直しと、手動録画の解除
	手動録画になっている	
日付と時刻の表示がない	時計、日付表示がOFFになっている	設定の見直しが必要です。
フリーズする	ハードディスクが認識していない	ハードディスクもしくは基盤の交換修理が必要です。
	基盤不良の可能性	
本体から異音がする	ファンもしくはハードディスクの異音	ファンもしくはハードディスクの交換修理が必要です。

アフターサービスについて

この商品は「保証明細書」を別途添付しております。
記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

正常な使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証明細書への記載内容により、お買い上げの販売店（または工事店）が修理いたします。その他の詳細は保証明細書をご覧ください。

- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
- 本体（ハードディスクデジタルレコーダー）が故障した場合、稼働していない時間に対する営業損失は補償対象外になります。

修理を依頼されるときは

下記の事項をお買い上げ販売店にご連絡ください。

- ① 故障の状況（できるだけくわしく）
- ② 品名と品番（8chNVR RD-RX8108、RD-RX8116など）
- ③ お買い上げ年月日（保証明細書に記載）
- ④ お名前、おところ、電話番号

■定期点検・保守について

特に監視用などでご使用の場合は、定期点検・保守の実施をおすすめします。
詳しくは、お買い上げ販売店（または工事店）にご相談ください。

製品についての
お問い合わせ

ネット業界初！サポート専用ダイヤル

 **0120-366-333**

受付時間

9:15～17:00

※製品仕様および外観は予告なく変更することがあります。予めご了承ください。